

令和元年度
文部科学省委託調査

**令和元年度「先導的大学改革推進委託事業」
博士課程学生の経済的支援状況に係る調査研究**

報告書

令和2年3月

株式会社 リベルタス・コンサルティング

目次

第1章 調査概要	1
1-1 調査目的.....	1
1-2 調査方法.....	2
第2章 調査結果	4
2-1 回答結果.....	4
2-2 回答者の基本属性.....	5
2-3 社会人の就業状況.....	11
2-4 学位取得状況	15
2-5 博士課程(後期)の在籍期間.....	18
2-6 アルバイト状況.....	20
2-7 TA・RAの実施状況	30
2-8 経済的支援（奨学金・授業料減免等）について.....	46
2-9 一人当たりの総受給額（貸与型奨学金除く）	72
参考資料	74

第1章 調査概要

本調査研究は、文部科学省高等教育局からの委託を受けて実施したものである。調査概要は、以下のとおり。

1-1 調査目的

我が国の大学院教育は、昭和 62 年に設置された旧大学審議会による大学院制度の弾力化、学位制度の見直し、大学院の評価、大学院の量的整備等、大学院の抱える様々な課題に対する累次の答申を踏まえ、その質的・量的整備等が進められてきた。一方で、人材養成の目的に沿った教育の組織的展開が弱く、急速な量的拡大に伴う諸課題に対応しきれていないなど、国際的にも信頼される魅力ある大学院教育が展開されているとは言い難いといった指摘がなされてきた。これを踏まえ、大学院教育の実質化、国際的な通用性・信頼性の向上、グローバルに活躍する博士の養成等に取り組むため、文部科学省は「大学院教育振興施策要綱」を平成 18 年度に、「第 2 次大学院教育振興施策要綱」を平成 23 年度に、「第 3 次大学院教育振興施策要綱」を平成 28 年度に策定し、各種制度改革や優れた取組への財政的支援等を行ってきた。

また、平成 31 年 1 月には、中央教育審議会大学分科会において「2040 年を見据えた大学院教育のあるべき姿～社会を先導する人材の育成に向けた体質改善の方策～」(審議まとめ)が取りまとめられ、2040 年の社会の需要に応じていくため、社会のニーズへのより一層の対応をはじめとした大学院の体質改善に取り組むことが必要であると提言された。

上記の審議まとめにおいて示されているとおり、「知のプロフェッショナル」を育成するためには、大学院(とりわけ博士後期課程)を志望する優秀な人材を増やすことが重要である一方、修士課程又は博士前期課程から博士後期課程への進学率が低下しているという現状にある。

進学にあたっては経済面に不安を感じている学生が多い中、優秀な学生が適切な経済的支援を受けられるようにするため、様々な手法を通じた支援が必要である。

本調査は、こうした動向を踏まえ、博士後期課程に在籍する学生への経済的支援状況に関する調査研究を行う。

1-2 調査方法

国内の大学院の博士課程を設置する全ての大学に対し、平成 30 年度の各大学における博士課程学生の経済的支援状況について、アンケート調査を行った。

1-2-1 調査対象

博士課程を設置する国公立大学において、平成 30 年度に在籍していた全ての博士課程の学生（平成 30 年度中に博士号を取得した者の他、所定の単位を取得し、学位を取得せず退学した者（いわゆる満期退学者）も含む）を対象とした。ただし、休学者や（満退以外の）退学・除籍者は調査対象外としている。

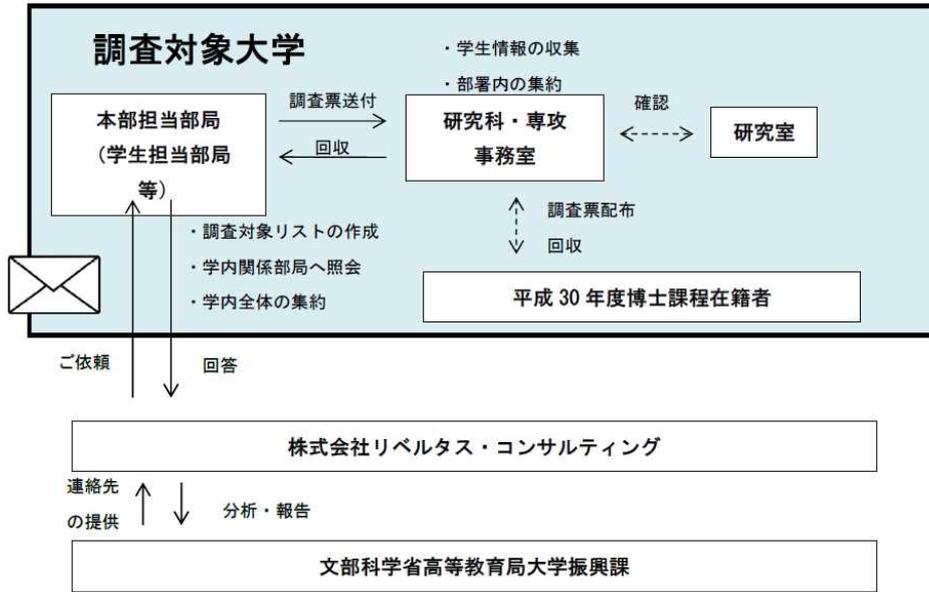
なお、本調査における博士課程とは、前期・後期に区分する博士課程の後期の課程（前期・後期の区分を設けない博士課程についてはこれに相当する 3 年間、医歯薬獣医学についてはこれに相当する 4 年間）とした。従って、修士課程、博士前期課程（一貫性博士課程の 1・2 年次の課程を含む）の学生は調査の対象外とした。また、通信制については対象外とした。

回収率は 86.8%（453 大学中 393 大学が回答）。

1-2-2 実施体制

本調査は、株式会社リバルタス・コンサルティングが調査対象大学に対して調査を依頼し、各大学の学生担当部局が学内関係部署・対象学生等と連絡を取り調査項目を把握し、同社に対して回答を行うこととした。

基本的な実施体制・フローは、下記の通りとし、学内における情報の把握・整理は、各大学の実情に合わせて関係部署が連携して実施した。なお、学内のとりまとめは、基本的には、本部学生担当部局（学務部の学生課、奨学生課、教務課等）が行った。



1-2-3 回答方法

eメールによる調査票の発送及び回答票回収

1-2-4 調査時期

令和元年12月26日～令和2年3月19日

第2章 調査結果

2-1 回答結果

本調査の各大学の回答状況は、下記の通りである。調査対象は、博士課程を設置する全ての国公立大学である。

図表 2-1 アンケート調査の回答状況

	計	国立大学	公立大学	私立大学
対象数	453	77	62	313
回収数	393	74	51	268
回収率	86.8%	96.1%	82.3%	85.6%

図表 2-2 大学種別にみた回答者数

	博士課程 計		調査対象者数
		うち修了者	
国立大学	32,354	21,602	50,678
公立大学	1,716	813	4,851
私立大学	7,213	3,482	18,838
計	41,283	25,897	74,367

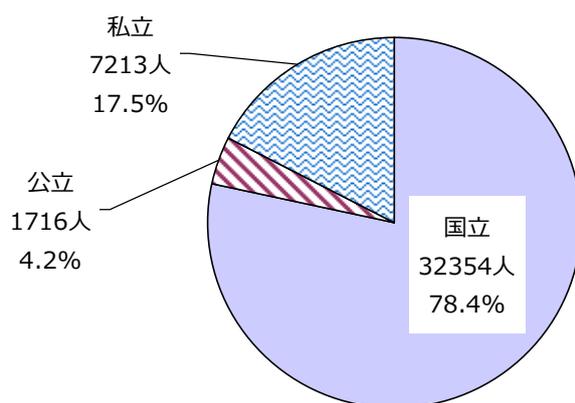
※調査対象数は、平成30年度学校基本調査より。

2-2 回答者の基本属性

2-2-1 国公立

回答者の国公立の区分は、全体の7割以上（78.4%）が「国立」である。

図表 2-3 国公立：n=41,283



2-2-2 専攻分野

回答者の専攻分野の種別は、下記の通りである。「保健」が14,343人で最も多い。なお、「商船」は0人であるため、以降のページでは専攻分野から「商船」を除外している。

図表 2-4 専攻分野（全体）：n=41,283

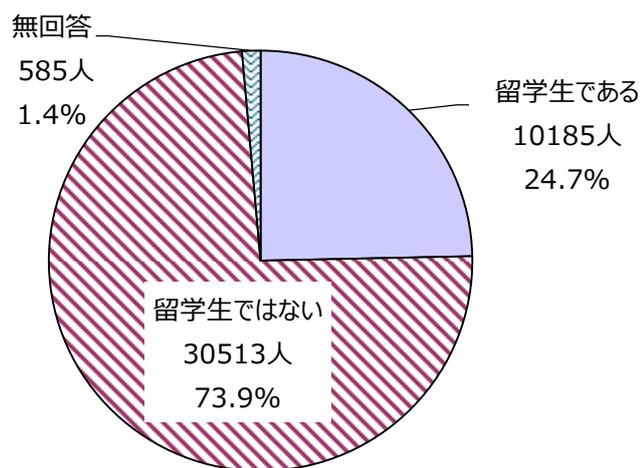
(単位：人)

専門分野	人数
人文科学	3,278
社会科学	3,035
理学	3,341
工学	9,434
農学	1,708
保健	14,343
商船	0
家政	109
教育	1,144
美術	217
その他	4,583
無回答	91
計	41,283

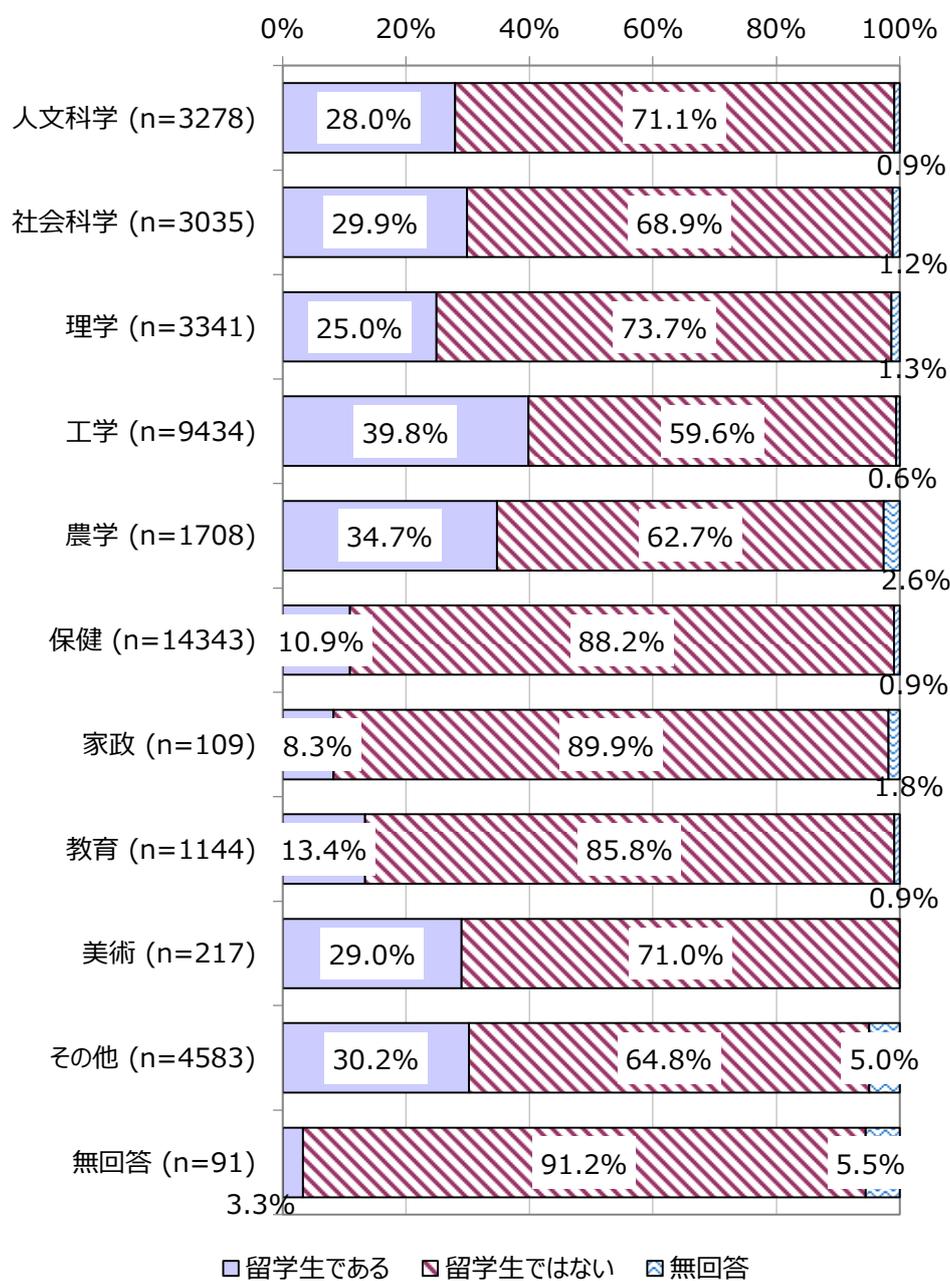
2-2-3 留学生

全体の73.9%が「留学生ではない」と回答している。専攻分野別にみると、「留学生である」の割合が最も高かったのは「工学」の39.8%で、全体の24.7%を大きく上回っている。

図表 2-5 留学生か否か（全体）：n=41,283



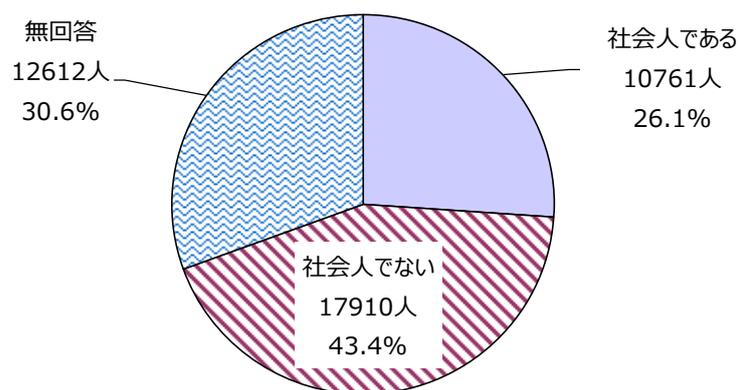
図表 2-6 留学生か否か（専攻分野別）



2-2-4 社会人

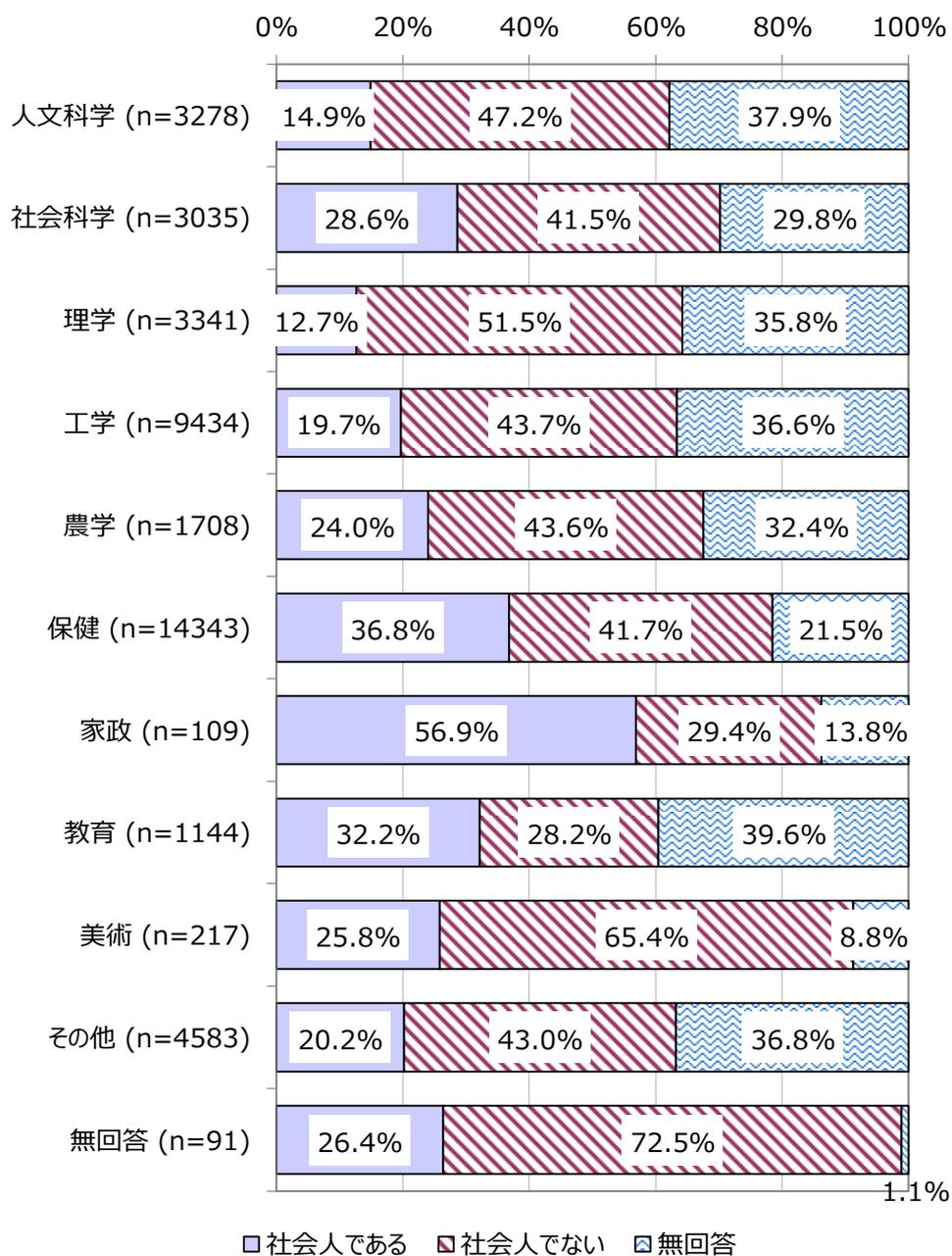
平成 30 年 5 月 1 日時点で社会人かどうかについてきいたところ、「社会人でない」(43.4%) が「社会人である」(26.1%) よりも多くなっている。

図表 2-7 社会人か否か (全体) : n=41,283



※この調査における「社会人」は、平成 30 年 5 月 1 日時点で、①職に就いている者（給料、賃金、その他の経常的な収入を得る仕事に現に就いている者）、②給料、賃金、その他の経常的な仕事を得る仕事から既に退職した者、③主婦・主夫を指します。なお、臨時的な収入を得る仕事であり、雇用期間が 1 年未満又は雇用期間の長さに関わらず短時間の勤務（アルバイト・パート等）については、「社会人就業」に該当しないものとしている。

図表 2-8 社会人か否か（専攻分野別）

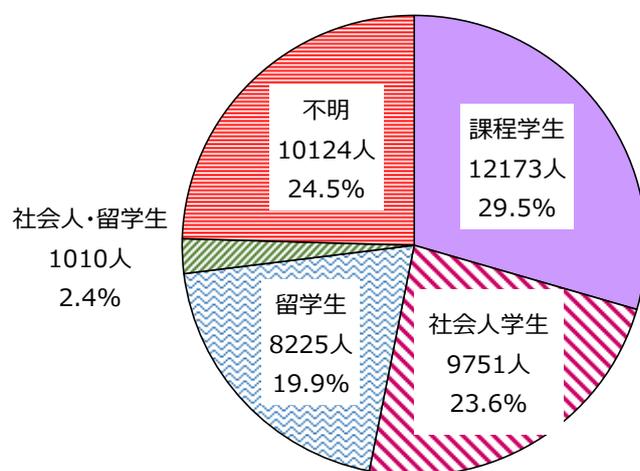


2-2-5 学生種別

「留学生かどうか」と「社会人かどうか」についての質問を組み合わせ、学生種別の状況をみた。

回答者の学生種別は「課程学生」が29.5%次いで「社会人学生」が23.6%、と課程学生が全体の約3割を占めている。

図表 2-9 学生種別：n=41,283



■学生種別の定義

- ・課程学生・・・「社会人でない」「留学生でない」
- ・社会人学生・・・「社会人である」「留学生でない」
- ・留学生・・・「社会人でない」「留学生である」
- ・社会人・留学生・・・「社会人である」「留学生である」

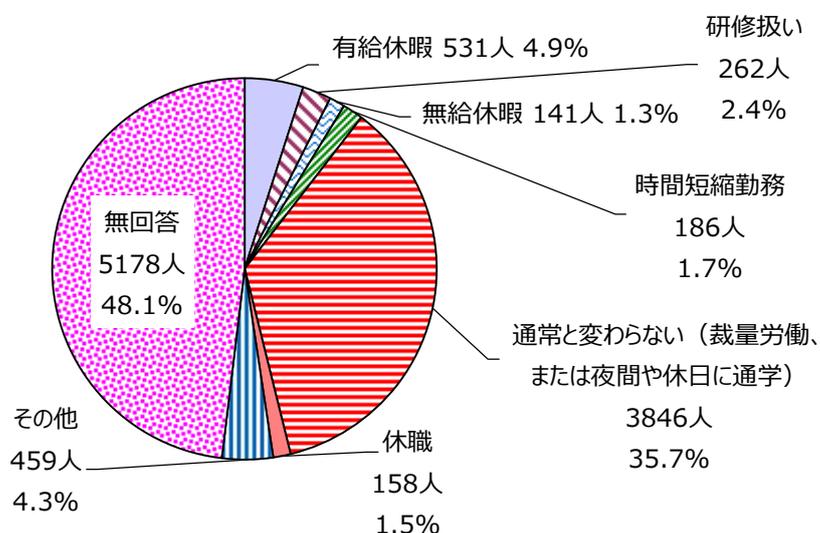
2-3 社会人の就業状況

2-3-1 修学中のサービス上の扱い（社会人で職に就いている方のみ）

平成30年5月1日時点での社会人で職に就いている方の修学中の雇用先におけるサービスの扱いについては、無回答を除くと「通常と変わらない（裁量労働、または夜間や休日に通学）」が35.7%で最も割合が高い。

図表 2-10 修学中のサービス上の扱い（全体）：n=10,761

（社会人で職に就いている方のみ）



図表 2-11 修学中の服務上の扱い（学生種別）（社会人で職に就いている方のみ）

学生種別	全体	有給休暇	研修扱い	無給休暇	時間短縮勤務	通常と変わらない（裁量労働、または夜間や休日に通学）	休職	その他	無回答
全体	10761 (100.0%)	531 (4.9%)	262 (2.4%)	141 (1.3%)	186 (1.7%)	3846 (35.7%)	158 (1.5%)	459 (4.3%)	5178 (48.1%)
社会人学生	9751 (100.0%)	410 (4.2%)	244 (2.5%)	80 (0.8%)	169 (1.7%)	3796 (38.9%)	68 (0.7%)	387 (4.0%)	4597 (47.1%)
社会人・留学生	1010 (100.0%)	121 (12.0%)	18 (1.8%)	61 (6.0%)	17 (1.7%)	50 (5.0%)	90 (8.9%)	72 (7.1%)	581 (57.5%)

※上段：回答人数

下段：回答割合（以下同様）

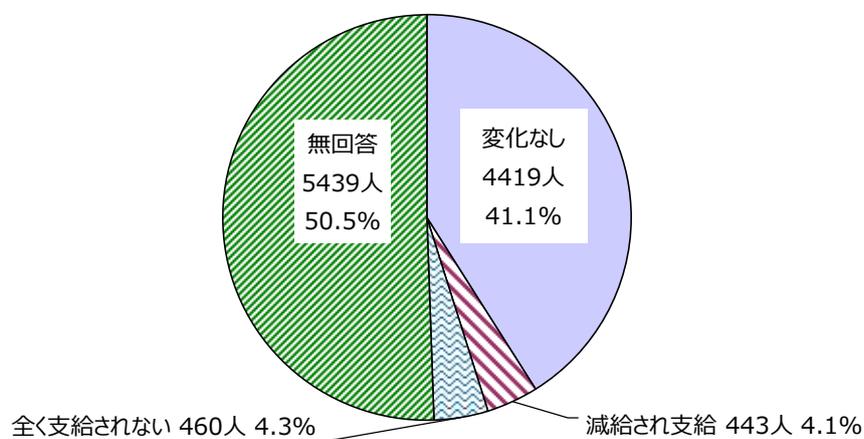
図表 2-12 修学中の服務上の扱い（専攻分野別）（社会人で職に就いている方のみ）

専攻分野別	全体	有給休暇	研修扱い	無給休暇	時間短縮勤務	通常と変わらない（裁量労働、または夜間や休日に通学）	休職	その他	無回答
全体	10761 (100.0%)	531 (4.9%)	262 (2.4%)	141 (1.3%)	186 (1.7%)	3846 (35.7%)	158 (1.5%)	459 (4.3%)	5178 (48.1%)
人文科学	489 (100.0%)	18 (3.7%)	7 (1.4%)	10 (2.0%)	8 (1.6%)	156 (31.9%)	3 (0.6%)	53 (10.8%)	234 (47.9%)
社会科学	869 (100.0%)	33 (3.8%)	26 (3.0%)	11 (1.3%)	7 (0.8%)	488 (56.2%)	19 (2.2%)	43 (4.9%)	242 (27.8%)
理学	424 (100.0%)	19 (4.5%)	7 (1.7%)	5 (1.2%)	0 (0.0%)	70 (16.5%)	4 (0.9%)	10 (2.4%)	309 (72.9%)
工学	1857 (100.0%)	116 (6.2%)	53 (2.9%)	29 (1.6%)	12 (0.6%)	641 (34.5%)	44 (2.4%)	53 (2.9%)	909 (48.9%)
農学	410 (100.0%)	44 (10.7%)	16 (3.9%)	11 (2.7%)	6 (1.5%)	103 (25.1%)	14 (3.4%)	15 (3.7%)	201 (49.0%)
保健	5276 (100.0%)	237 (4.5%)	126 (2.4%)	56 (1.1%)	136 (2.6%)	1807 (34.2%)	57 (1.1%)	207 (3.9%)	2650 (50.2%)
家政	62 (100.0%)	6 (9.7%)	1 (1.6%)	1 (1.6%)	2 (3.2%)	36 (58.1%)	0 (0.0%)	8 (12.9%)	8 (12.9%)
教育	368 (100.0%)	13 (3.5%)	8 (2.2%)	3 (0.8%)	1 (0.3%)	189 (51.4%)	7 (1.9%)	24 (6.5%)	123 (33.4%)
美術	56 (100.0%)	5 (8.9%)	2 (3.6%)	0 (0.0%)	1 (1.8%)	27 (48.2%)	1 (1.8%)	7 (12.5%)	13 (23.2%)
その他	926 (100.0%)	39 (4.2%)	13 (1.4%)	14 (1.5%)	12 (1.3%)	317 (34.2%)	9 (1.0%)	37 (4.0%)	485 (52.4%)
無回答	24 (100.0%)	1 (4.2%)	3 (12.5%)	1 (4.2%)	1 (4.2%)	12 (50.0%)	0 (0.0%)	2 (8.3%)	4 (16.7%)

2-3-2 博士課程在学を契機とした雇用先からの基本給の取り扱いの状況（社会人で職に就いている方のみ）

平成30年5月1日時点での社会人で職に就いている方の博士課程在学を契機とした雇用先からの基本給の取り扱いの状況については、無回答を除くと「変化なし」が41.1%と最も割合が高い。

図表 2-13 博士課程在学を契機とした基本給取り扱いの状況（全体）：n=10,761
（社会人で職に就いている方のみ）



図表 2-14 博士課程在学を契機とした基本給取り扱いの状況（学生種別）

（社会人で職に就いている方のみ）

学生種別	全体	変化なし	減給され支給	全く支給されない	無回答
全体	10761 (100.0%)	4419 (41.1%)	443 (4.1%)	460 (4.3%)	5439 (50.5%)
社会人学生	9751 (100.0%)	4274 (43.8%)	316 (3.2%)	314 (3.2%)	4847 (49.7%)
社会人・留学生	1010 (100.0%)	145 (14.4%)	127 (12.6%)	146 (14.5%)	592 (58.6%)

図表 2-15 博士課程在学を契機とした基本給取り扱いの状況（専攻分野別）

（社会人で職に就いている方のみ）

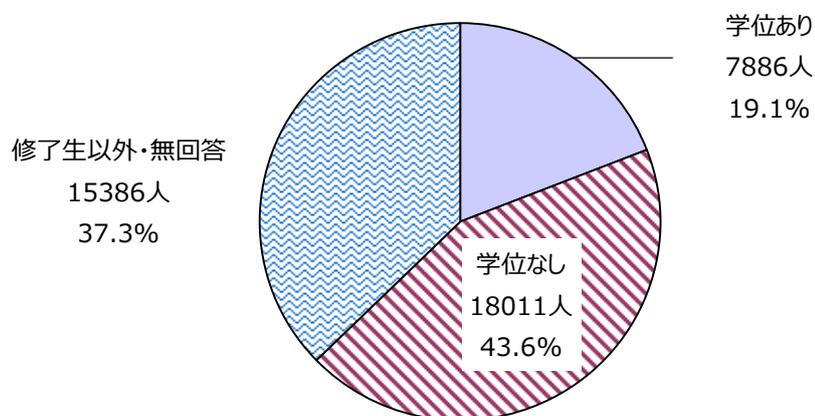
専攻分野別	全体	変化なし	減給され支給	全く支給されない	無回答
全体	10761 (100.0%)	4419 (41.1%)	443 (4.1%)	460 (4.3%)	5439 (50.5%)
人文科学	489 (100.0%)	206 (42.1%)	15 (3.1%)	22 (4.5%)	246 (50.3%)
社会科学	869 (100.0%)	543 (62.5%)	28 (3.2%)	46 (5.3%)	252 (29.0%)
理学	424 (100.0%)	91 (21.5%)	7 (1.7%)	14 (3.3%)	312 (73.6%)
工学	1857 (100.0%)	790 (42.5%)	56 (3.0%)	98 (5.3%)	913 (49.2%)
農学	410 (100.0%)	165 (40.2%)	19 (4.6%)	22 (5.4%)	204 (49.8%)
保健	5276 (100.0%)	1950 (37.0%)	271 (5.1%)	196 (3.7%)	2859 (54.2%)
家政	62 (100.0%)	46 (74.2%)	4 (6.5%)	2 (3.2%)	10 (16.1%)
教育	368 (100.0%)	218 (59.2%)	4 (1.1%)	19 (5.2%)	127 (34.5%)
美術	56 (100.0%)	34 (60.7%)	3 (5.4%)	6 (10.7%)	13 (23.2%)
その他	926 (100.0%)	363 (39.2%)	33 (3.6%)	33 (3.6%)	497 (53.7%)
無回答	24 (100.0%)	13 (54.2%)	3 (12.5%)	2 (8.3%)	6 (25.0%)

2-4 学位取得状況

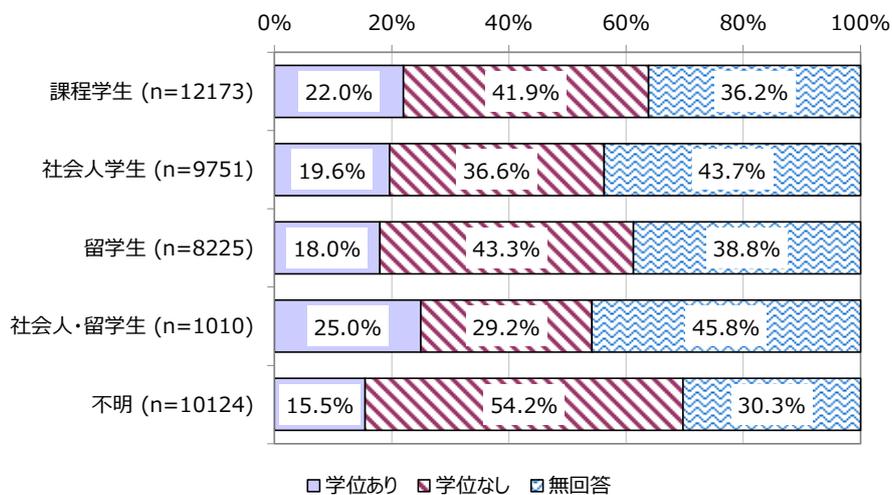
2-4-1 博士課程の学位の取得有無

平成 31 年度 3 月末時点における博士課程の学位の取得有無については半数以上が「修了生以外・無回答（平成 30 年度修了生のみが回答する質問のため、無回答者は平成 30 年度修了者以外となる）」であったが、回答があった者では「学位なし」が 43.6%で「学位あり」の 19.1%を上回っている。

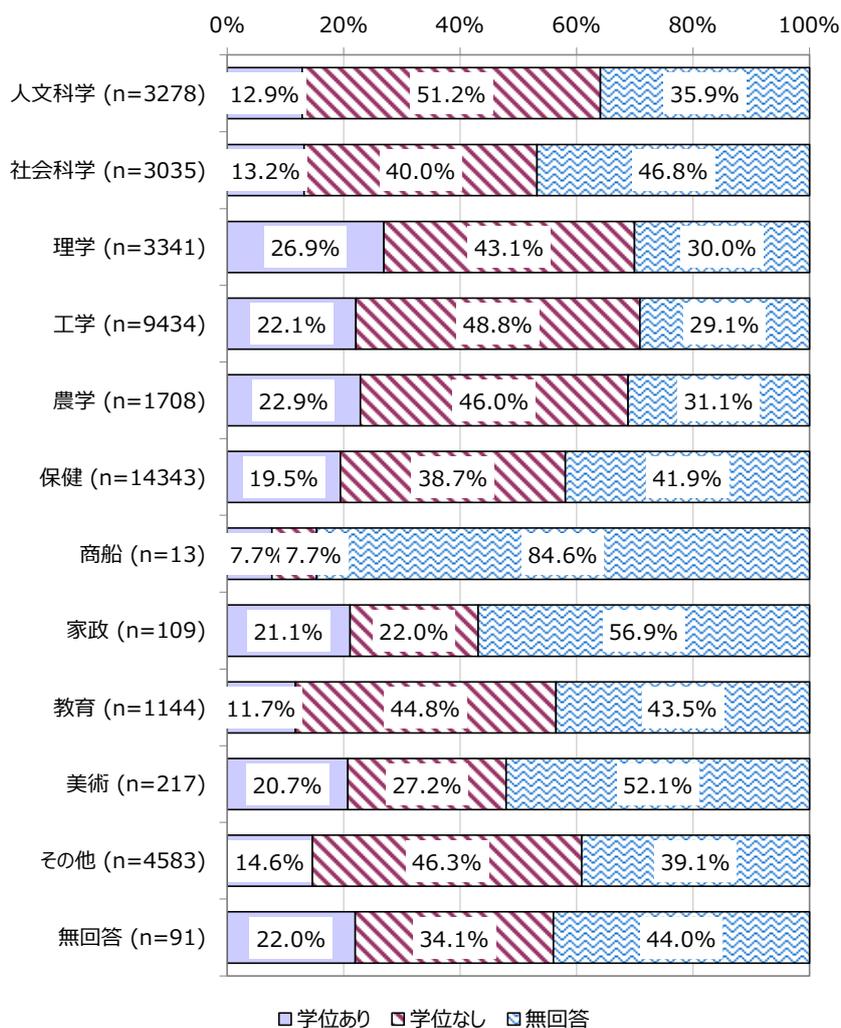
図表 2-16 博士課程の学位の取得有無（全体）：n=41,283



図表 2-17 博士課程の学位の取得有無（学生種別）



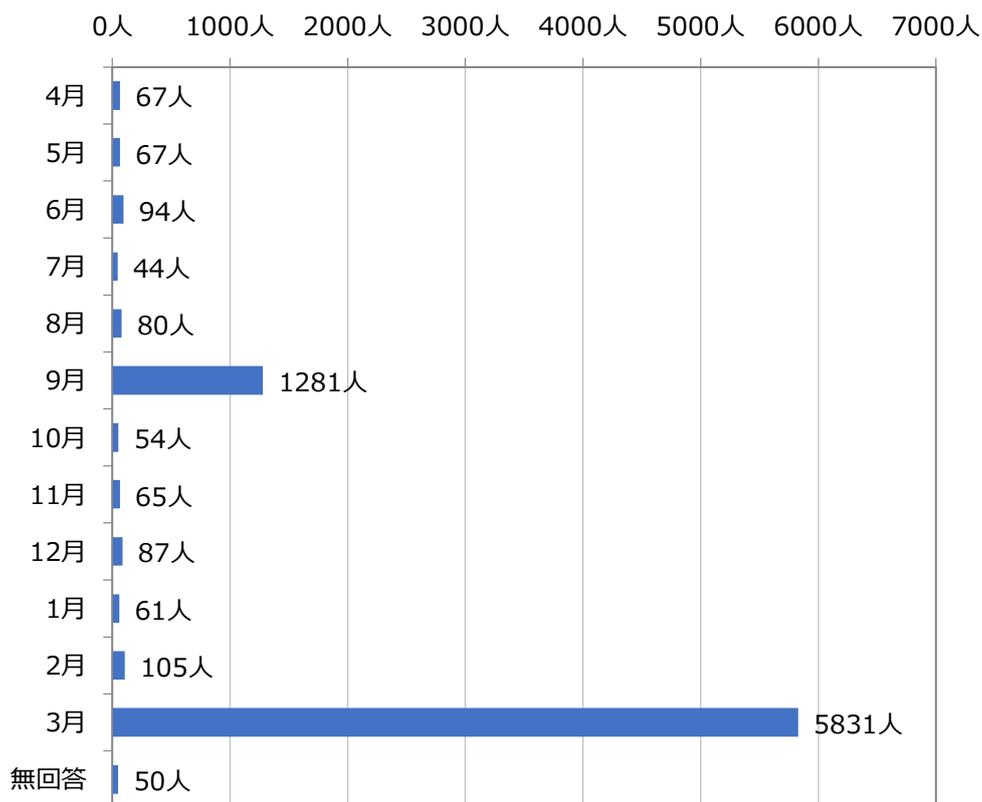
図表 2-18 博士課程の学位の取得有無（専攻分野別）



2-4-2 学位を取得した月（平成 30 年度修了生、かつ学位取得者のみ）

平成 30 年度に博士課程を修了し学位を取得した者の学位を取得した月は、3 月が最も多く、次いで 9 月が多い。

図表 2-19 学位を取得した月：n=7,886
(平成 30 年度修了生、かつ学位取得者のみ)

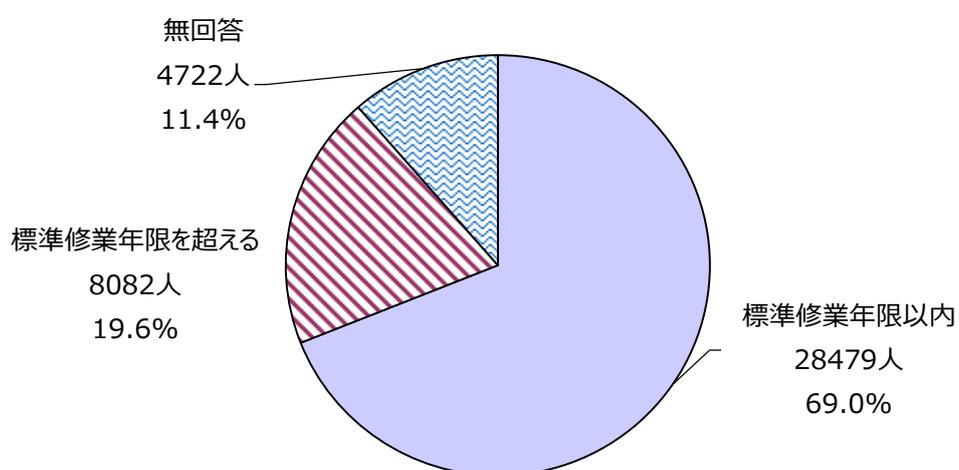


2-5 博士課程(後期)の在籍期間

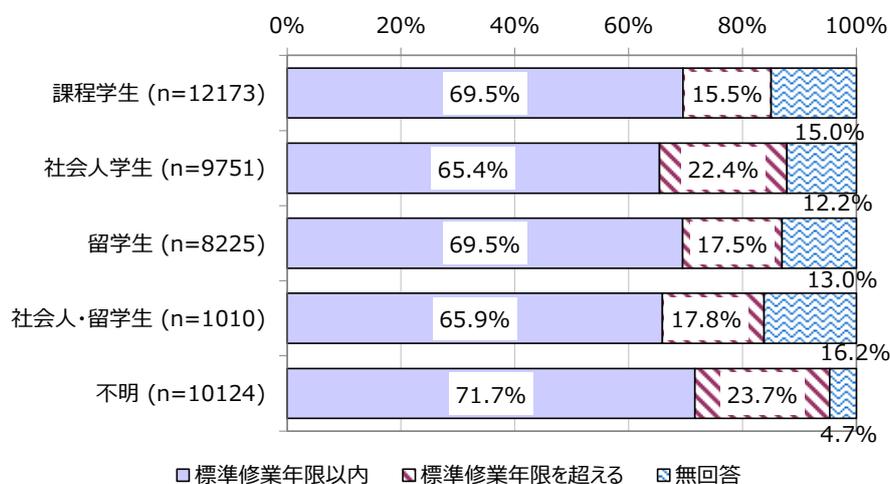
平成30年度末時点(修了者は修了時点)における博士課程(後期)在籍期間が標準修業年限以内か否かについては、「標準修業年限以内」の回答が69.0%である。

専攻分野別にみると、「人文科学」、「社会科学」について、「標準修業年限を超える」の回答が3割以上と全体平均よりやや高い。

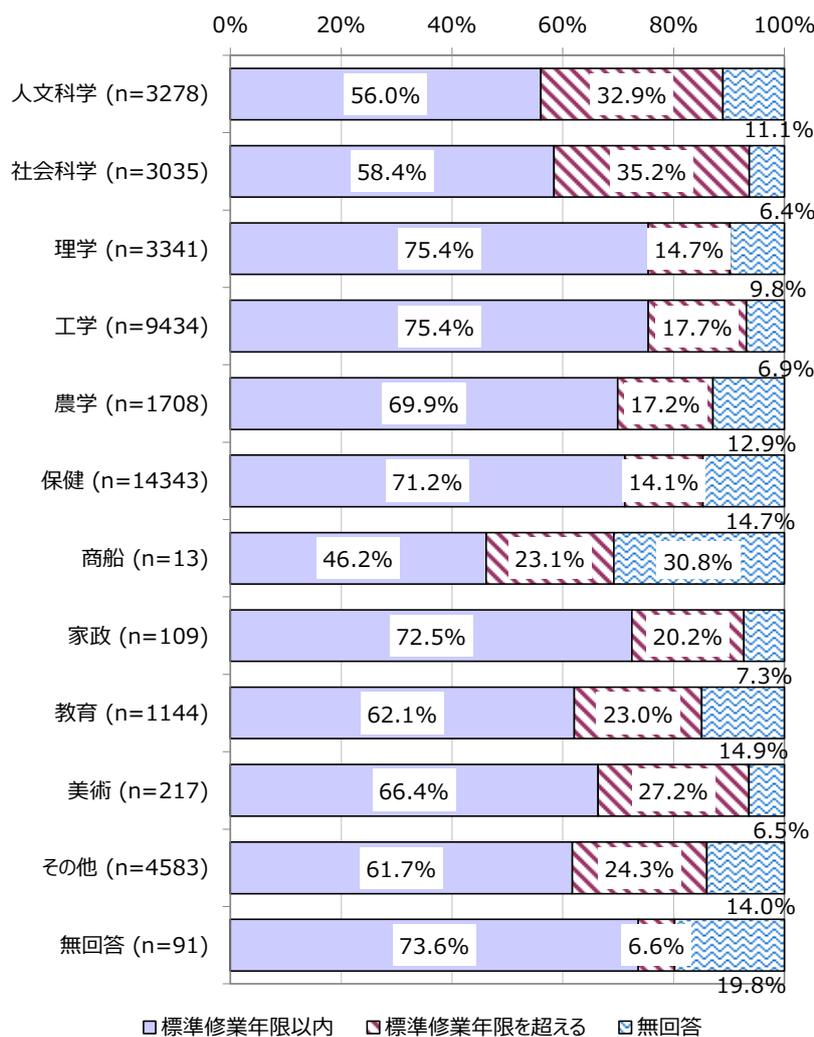
図表 2-20 博士課程(後期)在籍の標準修業年限以内か否か(全体) : n=41,283



図表 2-9-1 博士課程(後期)在籍の標準修業年限以内か否か (学生種別)



図表 2-21 博士課程(後期)在籍の標準修業年限以内か否か (専攻分野別)

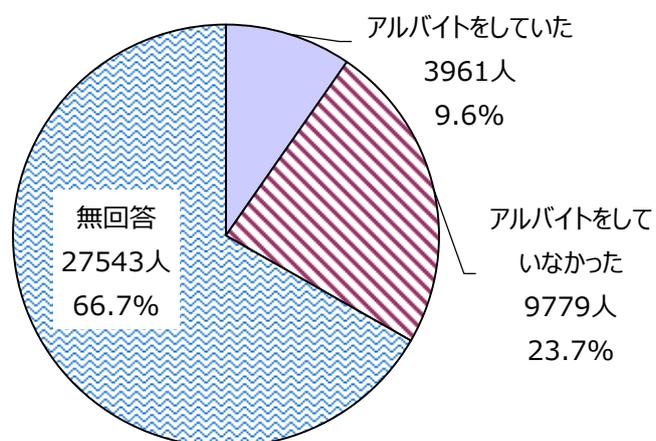


2-6 アルバイト状況

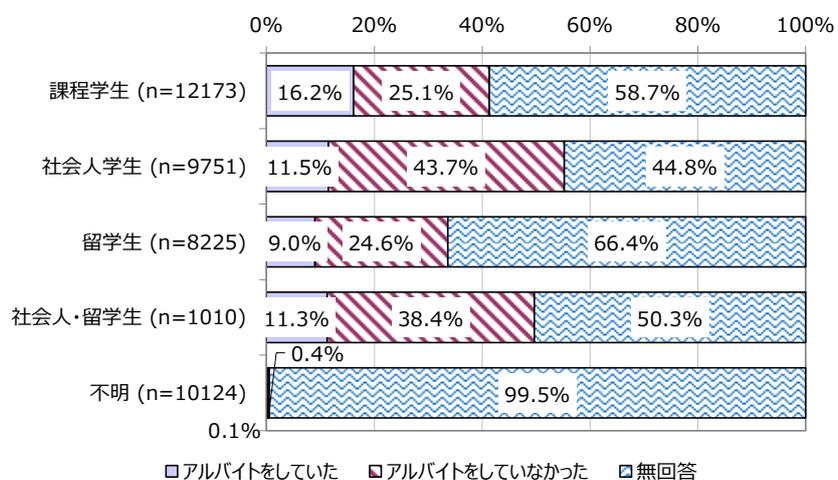
2-6-1 アルバイトの実施状況

平成30年度のアルバイトの実施状況（TA業務・RA業務を除く）について無回答を除くと、「アルバイトをしていなかった」（23.7%）が「アルバイトをしていた」（9.6%）より2倍以上多くなっている。

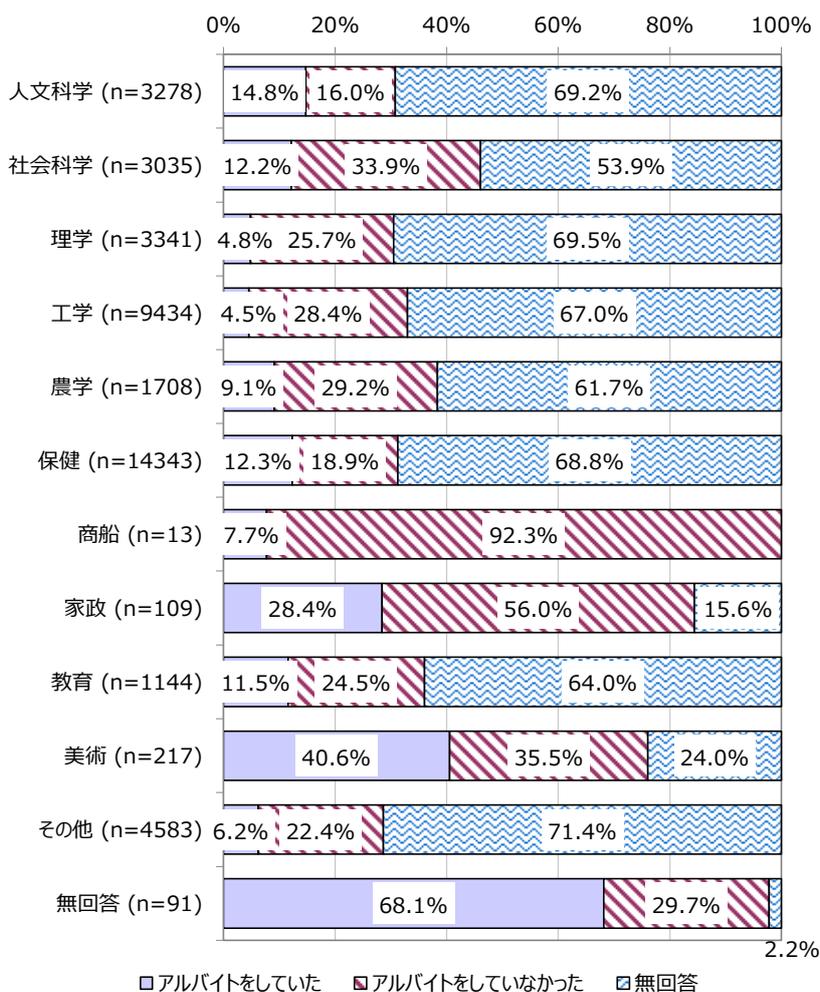
図表 2-22 アルバイトの実施状況（TA業務・RA業務を除く）（全体）：n=41,283



図表 2-23 アルバイトの実施状況（TA 業務・RA 業務を除く）（学生種別）



図表 2-24 アルバイトの実施状況（TA 業務・RA 業務を除く）（専攻分野別）

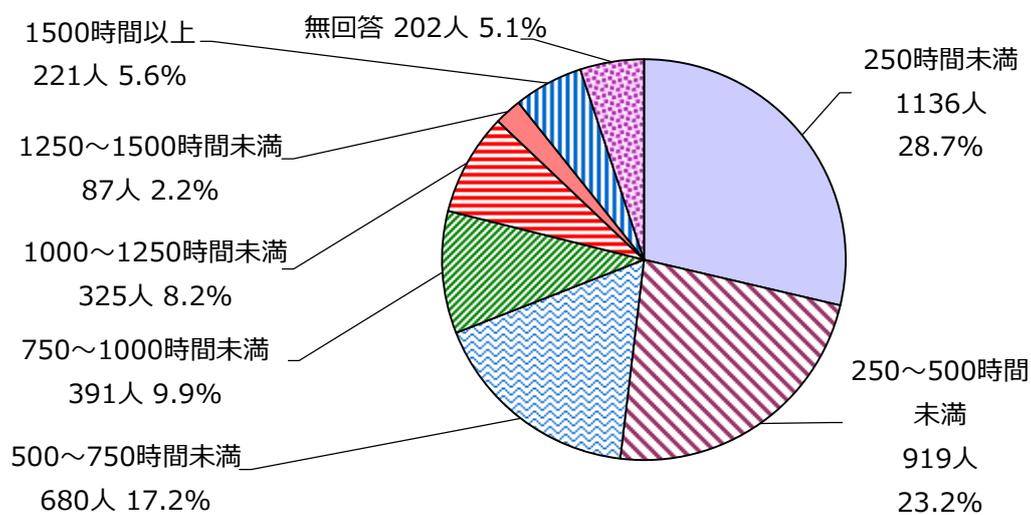


2-6-2 アルバイト実施時間（アルバイトを実施していた人のみ）

アルバイトの年間実施時間については「250 時間未満」が 28.7%と最も割合が高く、次いで「250～500 時間」が 23.2%と続く。「500 時間未満」の回答が全体の約半数（51.9%）となっている。

図表 2-25 アルバイト実施時間（全体）：n=3,961

（アルバイトを実施していた人のみ）



図表 2-26 アルバイト実施時間（学生種別）

（アルバイトを実施していた人のみ）

学生種別	全体	250時間未満	250～500時間未満	500～750時間未満	750～1000時間未満	1000～1250時間未満	1250～1500時間未満	1500時間以上	無回答
全体	3961 (100.0%)	1136 (28.7%)	919 (23.2%)	680 (17.2%)	391 (9.9%)	325 (8.2%)	87 (2.2%)	224 (5.7%)	199 (5.0%)
課程学生	1972 (100.0%)	597 (30.3%)	505 (25.6%)	328 (16.6%)	188 (9.5%)	143 (7.3%)	34 (1.7%)	99 (5.0%)	78 (4.0%)
社会人学生	1121 (100.0%)	270 (24.1%)	230 (20.5%)	190 (16.9%)	111 (9.9%)	104 (9.3%)	31 (2.8%)	110 (9.8%)	75 (6.7%)
留学生	740 (100.0%)	226 (30.5%)	156 (21.1%)	138 (18.6%)	82 (11.1%)	69 (9.3%)	20 (2.7%)	11 (1.5%)	38 (5.1%)
社会人・留学生	114 (100.0%)	38 (33.3%)	24 (21.1%)	21 (18.4%)	9 (7.9%)	9 (7.9%)	2 (1.8%)	1 (0.9%)	10 (8.8%)
不明	14 (100.0%)	5 (35.7%)	4 (28.6%)	3 (21.4%)	1 (7.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (7.1%)

図表 2-27 アルバイト実施時間（専攻分野別）

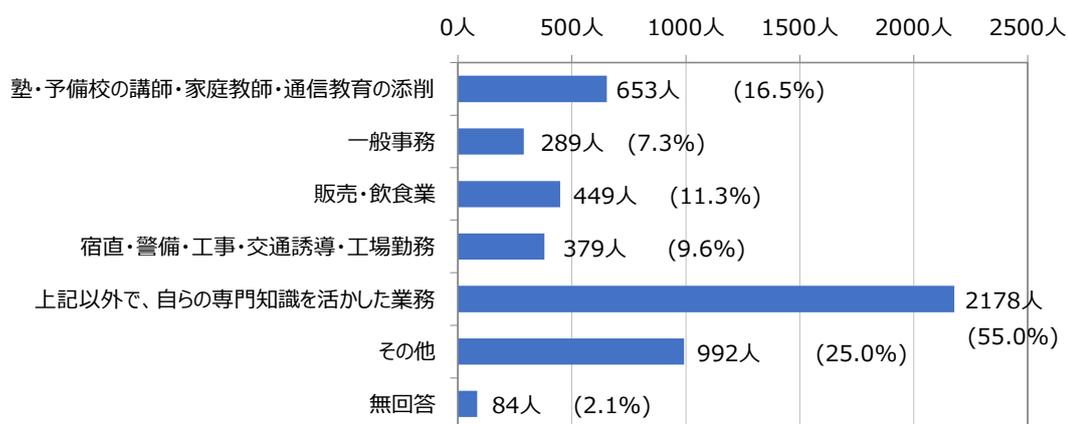
（アルバイトを実施していた人のみ）

専攻分野別	全体	250時間未満	250～500時間未満	500～750時間未満	750～1000時間未満	1000～1250時間未満	1250～1500時間未満	1500時間以上	無回答
全体	3961 (100.0%)	1136 (28.7%)	919 (23.2%)	680 (17.2%)	391 (9.9%)	325 (8.2%)	87 (2.2%)	224 (5.7%)	199 (5.0%)
人文科学	484 (100.0%)	151 (31.2%)	95 (19.6%)	93 (19.2%)	45 (9.3%)	42 (8.7%)	11 (2.3%)	21 (4.3%)	26 (5.4%)
社会科学	369 (100.0%)	113 (30.6%)	69 (18.7%)	50 (13.6%)	35 (9.5%)	48 (13.0%)	14 (3.8%)	16 (4.3%)	24 (6.5%)
理学	161 (100.0%)	76 (47.2%)	40 (24.8%)	20 (12.4%)	5 (3.1%)	7 (4.3%)	4 (2.5%)	3 (1.9%)	6 (3.7%)
工学	428 (100.0%)	179 (41.8%)	101 (23.6%)	68 (15.9%)	31 (7.2%)	23 (5.4%)	5 (1.2%)	4 (0.9%)	17 (4.0%)
農学	155 (100.0%)	65 (41.9%)	41 (26.5%)	15 (9.7%)	11 (7.1%)	7 (4.5%)	4 (2.6%)	8 (5.2%)	4 (2.6%)
保健	1766 (100.0%)	360 (20.4%)	434 (24.6%)	326 (18.5%)	203 (11.5%)	156 (8.8%)	38 (2.2%)	150 (8.5%)	99 (5.6%)
家政	31 (100.0%)	12 (38.7%)	5 (16.1%)	8 (25.8%)	1 (3.2%)	2 (6.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (9.7%)
教育	132 (100.0%)	54 (40.9%)	28 (21.2%)	20 (15.2%)	9 (6.8%)	6 (4.5%)	4 (3.0%)	5 (3.8%)	6 (4.5%)
美術	88 (100.0%)	23 (26.1%)	14 (15.9%)	12 (13.6%)	18 (20.5%)	11 (12.5%)	3 (3.4%)	3 (3.4%)	4 (4.5%)
その他	285 (100.0%)	95 (33.3%)	62 (21.8%)	54 (18.9%)	30 (10.5%)	16 (5.6%)	4 (1.4%)	11 (3.9%)	13 (4.6%)
無回答	62 (100.0%)	8 (12.9%)	30 (48.4%)	14 (22.6%)	3 (4.8%)	7 (11.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

2-6-3 アルバイトの種類（アルバイトを実施していた人のみ）

実施していたアルバイトの種類は、「上記以外で、自らの専門知識を活かした業務」が55.0%で最も割合が高い。

図表 2-28 アルバイトの種類（複数回答）（全体）：n=3,961
（アルバイトを実施していた人のみ）



図表 2-29 アルバイトの種類（複数回答）（学生種別）

（アルバイトを実施していた人のみ）

学生種別	全体	塾・予備校の 講師・家庭教 師・通信教育 の添削	一般事務	販売・飲食業	宿直・警備・ 工事・交通誘 導・工場勤務	上記以外で、 自らの専門知 識を活かした 業務	その他	無回答
全体	3961 (1.27)	653 (16.5%)	289 (7.3%)	449 (11.3%)	379 (9.6%)	2178 (55.0%)	992 (25.0%)	84 (2.1%)
課程学生	1972 (1.25)	354 (18.0%)	143 (7.3%)	170 (8.6%)	104 (5.3%)	1127 (57.2%)	535 (27.1%)	27 (1.4%)
社会人学生	1121 (1.24)	63 (5.6%)	36 (3.2%)	16 (1.4%)	223 (19.9%)	743 (66.3%)	278 (24.8%)	30 (2.7%)
留学生	740 (1.37)	206 (27.8%)	96 (13.0%)	244 (33.0%)	42 (5.7%)	251 (33.9%)	151 (20.4%)	21 (2.8%)
社会人・留学生	114 (1.29)	27 (23.7%)	11 (9.6%)	17 (14.9%)	9 (7.9%)	49 (43.0%)	28 (24.6%)	6 (5.3%)
不明	14 (1.21)	3 (21.4%)	3 (21.4%)	2 (14.3%)	1 (7.1%)	8 (57.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

図表 2-30 アルバイトの種類（複数回答）（専攻分野別）

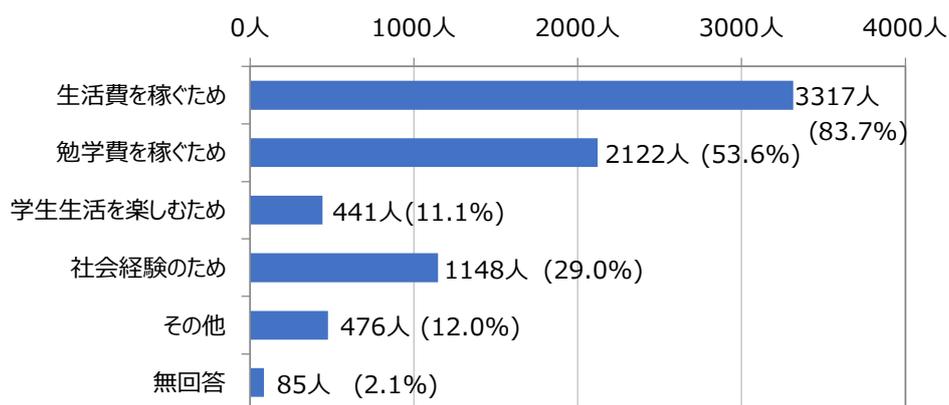
（アルバイトを実施していた人のみ）

専攻分野別	全体	塾・予備校の 講師・家庭教 師・通信教育 の添削	一般事務	販売・飲食業	宿直・警備・ 工事・交通誘 導・工場勤務	上記以外で、 自らの専門知 識を活かした 業務	その他	無回答
全体	3691 (1.36)	653 (17.7%)	289 (7.8%)	449 (12.2%)	379 (10.3%)	2178 (59.0%)	992 (26.9%)	84 (2.3%)
人文科学	484 (1.46)	152 (31.4%)	84 (17.4%)	83 (17.1%)	12 (2.5%)	244 (50.4%)	125 (25.8%)	7 (1.4%)
社会科学	369 (1.41)	109 (29.5%)	59 (16.0%)	72 (19.5%)	10 (2.7%)	168 (45.5%)	89 (24.1%)	12 (3.3%)
理学	161 (1.29)	54 (33.5%)	22 (13.7%)	32 (19.9%)	7 (4.3%)	51 (31.7%)	36 (22.4%)	6 (3.7%)
工学	428 (1.19)	98 (22.9%)	31 (7.2%)	89 (20.8%)	30 (7.0%)	141 (32.9%)	108 (25.2%)	13 (3.0%)
農学	155 (1.28)	26 (16.8%)	13 (8.4%)	36 (23.2%)	15 (9.7%)	64 (41.3%)	39 (25.2%)	5 (3.2%)
保健	1766 (1.18)	70 (4.0%)	19 (1.1%)	52 (2.9%)	282 (16.0%)	1197 (67.8%)	441 (25.0%)	22 (1.2%)
家政	31 (1.23)	2 (6.5%)	4 (12.9%)	7 (22.6%)	0 (0.0%)	14 (45.2%)	9 (29.0%)	2 (6.5%)
教育	132 (1.39)	40 (30.3%)	11 (8.3%)	11 (8.3%)	1 (0.8%)	84 (63.6%)	34 (25.8%)	3 (2.3%)
美術	88 (1.53)	30 (34.1%)	7 (8.0%)	13 (14.8%)	4 (4.5%)	49 (55.7%)	28 (31.8%)	4 (4.5%)
その他	285 (1.31)	68 (23.9%)	38 (13.3%)	54 (18.9%)	16 (5.6%)	118 (41.4%)	69 (24.2%)	10 (3.5%)
無回答	62 (1.11)	4 (6.5%)	1 (1.6%)	0 (0.0%)	2 (3.2%)	48 (77.4%)	14 (22.6%)	0 (0.0%)

2-6-4 アルバイトを実施した理由（アルバイトを実施していた人のみ）

アルバイトを実施した理由については、「生活費を稼ぐため」が83.7%と最も割合が高く、次いで「勉学費を稼ぐため」（53.6%）、「社会経験のため」（29.0%）となっている。

図表 2-31 アルバイトを実施した理由（複数回答）（全体）：n=3,961
（アルバイトを実施していた人のみ）



図表 2-32 アルバイトを実施した理由（複数回答）（学生種別）

（アルバイトを実施していた人のみ）

学生種別	全体	生活費を稼ぐため	勉強費を稼ぐため	学生生活を楽しむため	社会経験のため	その他	無回答
全体	3961 (1.92)	3317 (83.7%)	2122 (53.6%)	441 (11.1%)	1148 (29.0%)	476 (12.0%)	92 (2.3%)
課程学生	1972 (2.04)	1684 (85.4%)	1154 (58.5%)	255 (12.9%)	668 (33.9%)	243 (12.3%)	20 (1.0%)
社会人学生	1121 (1.71)	941 (83.9%)	560 (50.0%)	49 (4.4%)	168 (15.0%)	169 (15.1%)	33 (2.9%)
留学生	740 (1.93)	600 (81.1%)	361 (48.8%)	121 (16.4%)	265 (35.8%)	50 (6.8%)	31 (4.2%)
社会人・留学生	114 (1.75)	82 (71.9%)	39 (34.2%)	16 (14.0%)	41 (36.0%)	14 (12.3%)	8 (7.0%)
不明	14 (1.71)	10 (71.4%)	8 (57.1%)	0 (0.0%)	6 (42.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

図表 2-33 アルバイトを実施した理由（複数回答）（専攻分野別）

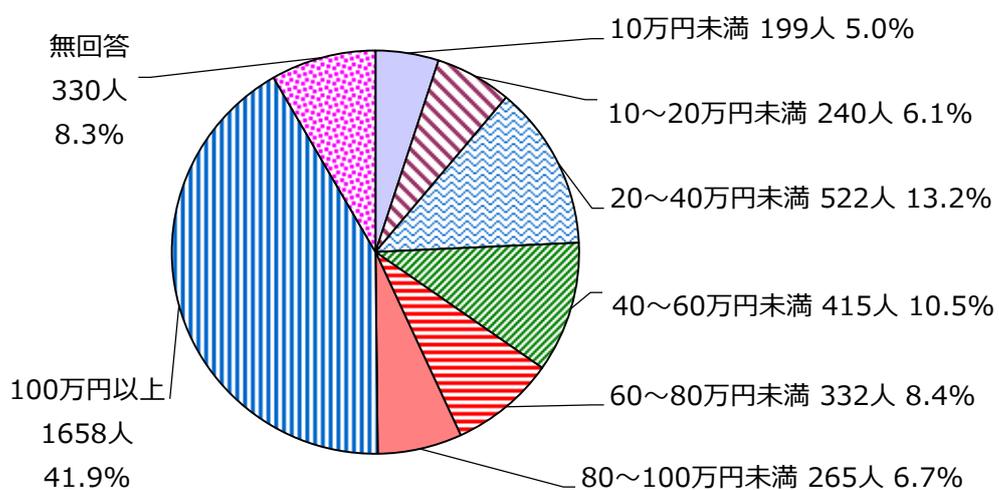
（アルバイトを実施していた人のみ）

専攻分野別	全体	生活費を稼ぐため	勉強費を稼ぐため	学生生活を楽しむため	社会経験のため	その他	無回答
全体	3691 (1.91)	3317 (83.7%)	2122 (53.1%)	441 (11.2%)	1148 (29.0%)	476 (12.0%)	92 (2.3%)
人文科学	484 (2.08)	387 (79.5%)	325 (66.5%)	54 (11.6%)	166 (34.8%)	63 (13.4%)	13 (2.7%)
社会科学	369 (2.04)	294 (79.3%)	228 (62.5%)	50 (13.5%)	123 (32.9%)	48 (13.0%)	13 (3.2%)
理学	161 (1.95)	132 (81.2%)	81 (51.0%)	23 (14.1%)	56 (34.9%)	16 (10.7%)	4 (3.4%)
工学	428 (1.80)	333 (77.6%)	176 (42.1%)	57 (12.6%)	143 (32.6%)	52 (11.8%)	14 (2.9%)
農学	155 (1.89)	117 (76.0%)	76 (50.4%)	29 (18.6%)	48 (31.0%)	17 (9.3%)	5 (3.9%)
保健	1766 (1.85)	1582 (89.3%)	894 (49.9%)	158 (9.0%)	421 (24.2%)	195 (11.0%)	23 (1.4%)
家政	31 (2.00)	19 (61.3%)	17 (54.8%)	4 (12.9%)	12 (38.7%)	8 (25.8%)	2 (6.5%)
教育	132 (2.03)	102 (78.2%)	90 (67.9%)	5 (3.8%)	44 (32.1%)	24 (17.9%)	3 (2.6%)
美術	88 (2.15)	73 (83.0%)	62 (70.5%)	9 (10.2%)	32 (36.4%)	9 (10.2%)	4 (4.5%)
その他	285 (1.86)	224 (78.4%)	146 (48.7%)	37 (14.0%)	80 (28.4%)	34 (13.1%)	10 (3.4%)
無回答	62 (2.10)	54 (87.1%)	27 (43.5%)	15 (24.2%)	23 (37.1%)	10 (16.1%)	1 (1.6%)

2-6-5 アルバイトによる収入（アルバイトを実施していた人のみ）

アルバイトにより得られた年間の収入については、「100万円以上」が41.9%と最も割合が高い。アルバイトを実施している者の半数以上（57%）が年間60万円以上の収入となっている。

図表 2-34 アルバイトによる収入（全体）：n=3,961
（アルバイトを実施していた人のみ）



図表 2-35 アルバイトによる収入（学生種別）

（アルバイトを実施していた人のみ）

学生種別	全体	10万円未満	10～20万円未満	20～40万円未満	40～60万円未満	60～80万円未満	80～100万円未満	100万円以上	無回答
全体	3961 (100.0%)	199 (5.0%)	240 (6.1%)	522 (13.2%)	415 (10.5%)	332 (8.4%)	265 (6.7%)	1658 (41.9%)	330 (8.3%)
課程学生	1972 (100.0%)	105 (5.3%)	132 (6.7%)	272 (13.8%)	216 (11.0%)	197 (10.0%)	154 (7.8%)	753 (38.2%)	143 (7.3%)
社会人学生	1121 (100.0%)	22 (2.0%)	41 (3.7%)	70 (6.2%)	53 (4.7%)	36 (3.2%)	28 (2.5%)	759 (67.7%)	112 (10.0%)
留学生	740 (100.0%)	58 (7.8%)	56 (7.6%)	154 (20.8%)	130 (17.6%)	85 (11.5%)	66 (8.9%)	131 (17.7%)	60 (8.1%)
社会人・留学生	114 (100.0%)	13 (11.4%)	9 (7.9%)	24 (21.1%)	14 (12.3%)	11 (9.6%)	15 (13.2%)	14 (12.3%)	14 (12.3%)
不明	14 (100.0%)	1 (7.1%)	2 (14.3%)	2 (14.3%)	2 (14.3%)	3 (21.4%)	2 (14.3%)	1 (7.1%)	1 (7.1%)

図表 2-36 アルバイトによる収入（専攻分野別）

（アルバイトを実施していた人のみ）

専攻分野別	全体	10万円未満	10～20万円未満	20～40万円未満	40～60万円未満	60～80万円未満	80～100万円未満	100万円以上	無回答
全体	3961 (100.0%)	199 (5.0%)	240 (6.1%)	522 (13.2%)	415 (10.5%)	332 (8.4%)	265 (6.7%)	1658 (41.9%)	330 (8.3%)
人文科学	484 (100.0%)	16 (3.3%)	36 (7.4%)	71 (14.7%)	75 (15.5%)	67 (13.8%)	50 (10.3%)	126 (26.0%)	43 (8.9%)
社会科学	369 (100.0%)	27 (7.3%)	29 (7.9%)	50 (13.6%)	47 (12.7%)	38 (10.3%)	36 (9.8%)	113 (30.6%)	29 (7.9%)
理学	161 (100.0%)	22 (13.7%)	16 (9.9%)	42 (26.1%)	28 (17.4%)	15 (9.3%)	13 (8.1%)	14 (8.7%)	11 (6.8%)
工学	428 (100.0%)	55 (12.9%)	32 (7.5%)	117 (27.3%)	74 (17.3%)	44 (10.3%)	28 (6.5%)	50 (11.7%)	28 (6.5%)
農学	155 (100.0%)	14 (9.0%)	20 (12.9%)	31 (20.0%)	29 (18.7%)	22 (14.2%)	8 (5.2%)	20 (12.9%)	11 (7.1%)
保健	1766 (100.0%)	36 (2.0%)	53 (3.0%)	121 (6.9%)	91 (5.2%)	83 (4.7%)	70 (4.0%)	1154 (65.3%)	158 (8.9%)
家政	31 (100.0%)	1 (3.2%)	3 (9.7%)	6 (19.4%)	5 (16.1%)	5 (16.1%)	5 (16.1%)	4 (12.9%)	2 (6.5%)
教育	132 (100.0%)	12 (9.1%)	12 (9.1%)	17 (12.9%)	14 (10.6%)	13 (9.8%)	14 (10.6%)	35 (26.5%)	15 (11.4%)
美術	88 (100.0%)	2 (2.3%)	4 (4.5%)	11 (12.5%)	6 (6.8%)	10 (11.4%)	14 (15.9%)	35 (39.8%)	6 (6.8%)
その他	285 (100.0%)	14 (4.9%)	31 (10.9%)	53 (18.6%)	43 (15.1%)	30 (10.5%)	21 (7.4%)	67 (23.5%)	26 (9.1%)
無回答	62 (100.0%)	0 (0.0%)	4 (6.5%)	3 (4.8%)	3 (4.8%)	5 (8.1%)	6 (9.7%)	40 (64.5%)	1 (1.6%)

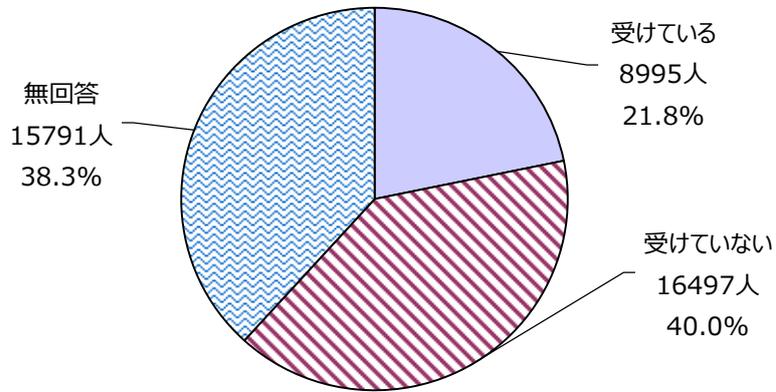
2-7 TA・RAの実施状況

2-7-1 TA、RA業務による給与・謝金の受給の有無

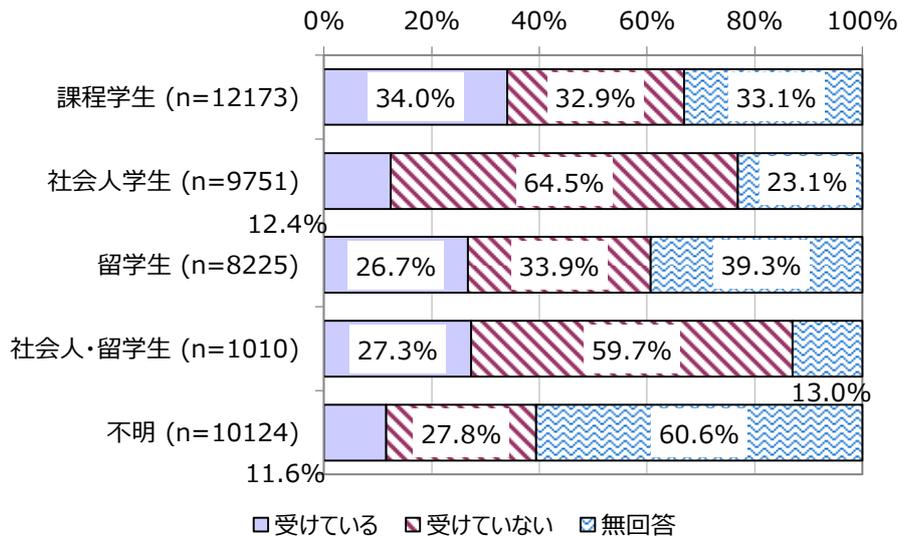
平成30年度におけるTA、RA業務による給与・謝金の受給の有無については、「受けていない」が40.0%で、「受けている」(21.8%)よりも割合が高い。

学生種別では、課程学生において「受けている」割合が高い。

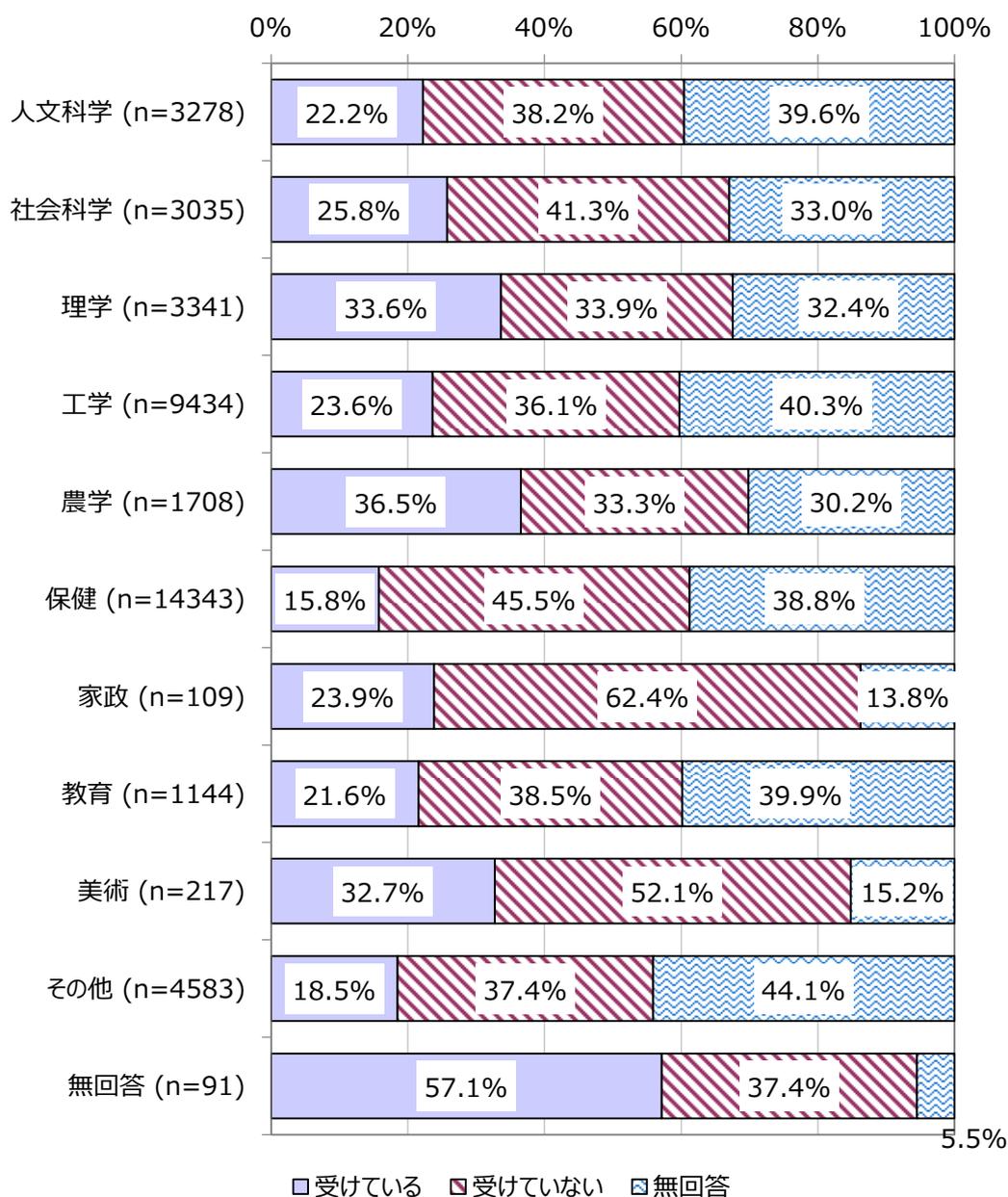
図表 2-37 TA、RA業務による給与・謝金の受給の有無（全体）：n=41,283



図表 2-38 TA、RA業務による給与・謝金の受給の有無（学生種別）



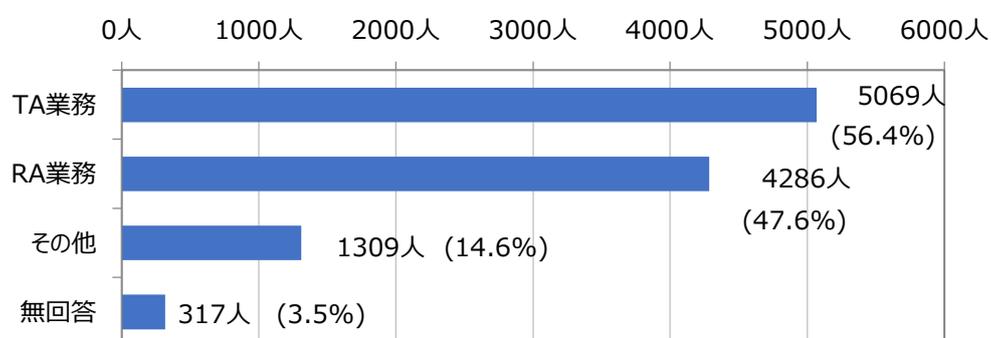
図表 2-39 TA、RA 業務による給与・謝金の受給の有無（専攻分野別）



2-7-2 給与・謝金の受給にあたり義務付けられている業務の内容 (TA、RA 業務による
給与・謝金を受けている人のみ)

給与・謝金の受給にあたり義務付けられている業務の内容については、「TA 業務」が 56.4%、
次いで「RA 業務」が 47.6%となっている。なお、TA、RA 両方行っているものもいる (本問
は複数回答可能となっているため、いずれも該当するものがある)。

図表 2-40 義務付けられている業務の内容 (複数回答) (全体) : n=8,995
(TA、RA 業務による給与・謝金を受けている人のみ)



図表 2-41 義務付けられている業務の内容（複数回答）（学生種別）

（TA、RA 業務による給与・謝金を受けている人のみ）

学生種別	全体	TA業務	RA業務	その他	無回答
全体	8995 (1.22)	5069 (56.4%)	4286 (47.6%)	1309 (14.6%)	317 (3.5%)
課程学生	4138 (1.26)	2619 (63.3%)	1953 (47.2%)	502 (12.1%)	130 (3.1%)
社会人学生	1209 (1.16)	585 (48.4%)	516 (42.7%)	277 (22.9%)	30 (2.5%)
留学生	2200 (1.23)	1089 (49.5%)	1244 (56.5%)	270 (12.3%)	112 (5.1%)
社会人・留学生	276 (1.26)	151 (54.7%)	162 (58.7%)	23 (8.3%)	12 (4.3%)
不明	1172 (1.11)	625 (53.3%)	411 (35.1%)	237 (20.2%)	33 (2.8%)

図表 2-42 義務付けられている業務の内容（複数回答）（専攻分野別）

（TA、RA 業務による給与・謝金を受けている人のみ）

専攻分野別	全体	TA業務	RA業務	その他	無回答
全体	8995 (1.22)	5069 (56.4%)	4286 (47.6%)	1309 (14.6%)	317 (3.5%)
人文科学	728 (1.17)	494 (67.9%)	184 (25.3%)	140 (19.2%)	31 (4.3%)
社会科学	782 (1.27)	481 (61.5%)	301 (38.5%)	200 (25.6%)	11 (1.4%)
理学	1124 (1.22)	522 (46.4%)	693 (61.7%)	75 (6.7%)	83 (7.4%)
工学	2230 (1.27)	945 (42.4%)	1472 (66.0%)	297 (13.3%)	111 (5.0%)
農学	624 (1.22)	490 (78.5%)	204 (32.7%)	62 (9.9%)	3 (0.5%)
保健	2262 (1.17)	1258 (55.6%)	982 (43.4%)	372 (16.4%)	41 (1.8%)
家政	26 (1.08)	19 (73.1%)	2 (7.7%)	6 (23.1%)	1 (3.8%)
教育	247 (1.21)	189 (76.5%)	67 (27.1%)	35 (14.2%)	7 (2.8%)
美術	71 (1.08)	48 (67.6%)	13 (18.3%)	12 (16.9%)	4 (5.6%)
その他	849 (1.26)	578 (68.1%)	359 (42.3%)	109 (12.8%)	24 (2.8%)
無回答	52 (1.08)	45 (86.5%)	9 (17.3%)	1 (1.9%)	1 (1.9%)

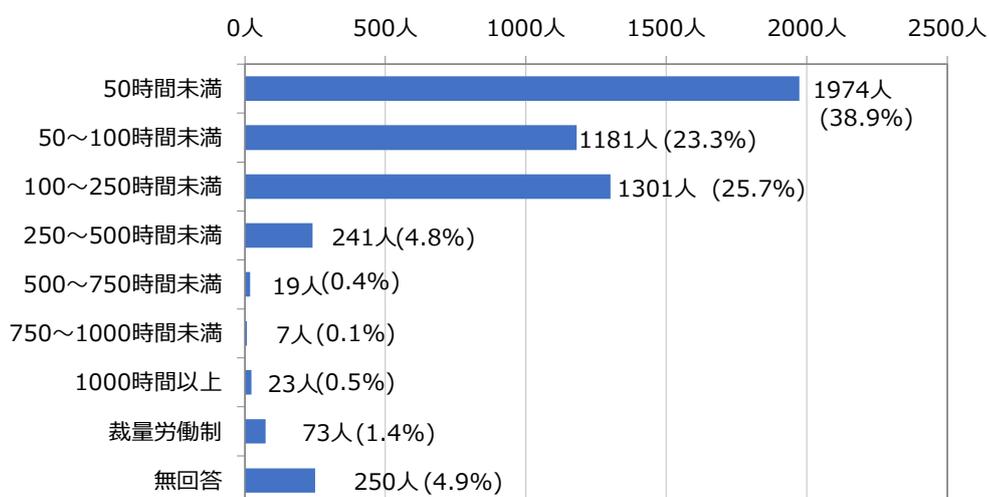
2-7-3 TA 業務の詳細 (TA 業務従事者のみ)

(1)TA 業務の従事時間 (年間)

年間の TA 業務の従事時間については「50 時間未満」が 38.9%と最も割合が高く、次いで「100～250 時間未満」(25.7%)、「50～100 時間未満」(23.3%) となっている。

図表 2-43 TA 業務の従事時間 (全体) : n=5,069

(TA 業務従事者のみ)



図表 2-44 TA 業務の従事時間（学生種別）

（TA 業務従事者のみ）

学生種別	全体	50時間未満	50～100時間未満	100～250時間未満	250～500時間未満	500～750時間未満	750～1000時間未満	1000時間以上	裁量労働制	無回答
全体	5069 (100.0%)	1974 (38.9%)	1181 (23.3%)	1301 (25.7%)	241 (4.8%)	19 (0.4%)	7 (0.1%)	23 (0.5%)	73 (1.4%)	250 (4.9%)
課程学生	2619 (100.0%)	1078 (41.2%)	606 (23.1%)	653 (24.9%)	135 (5.2%)	9 (0.3%)	2 (0.1%)	9 (0.3%)	28 (1.1%)	99 (3.8%)
社会人学生	585 (100.0%)	233 (39.8%)	110 (18.8%)	149 (25.5%)	27 (4.6%)	3 (0.5%)	2 (0.3%)	11 (1.9%)	6 (1.0%)	44 (7.5%)
留学生	1089 (100.0%)	437 (40.1%)	267 (24.5%)	232 (21.3%)	45 (4.1%)	5 (0.5%)	1 (0.1%)	3 (0.3%)	31 (2.8%)	68 (6.2%)
社会人・留学生	151 (100.0%)	60 (39.7%)	30 (19.9%)	33 (21.9%)	4 (2.6%)	1 (0.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	8 (5.3%)	15 (9.9%)
不明	625 (100.0%)	166 (26.6%)	168 (26.9%)	234 (37.4%)	30 (4.8%)	1 (0.2%)	2 (0.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	24 (3.8%)

図表 2-45 TA 業務の従事時間（専攻分野別）

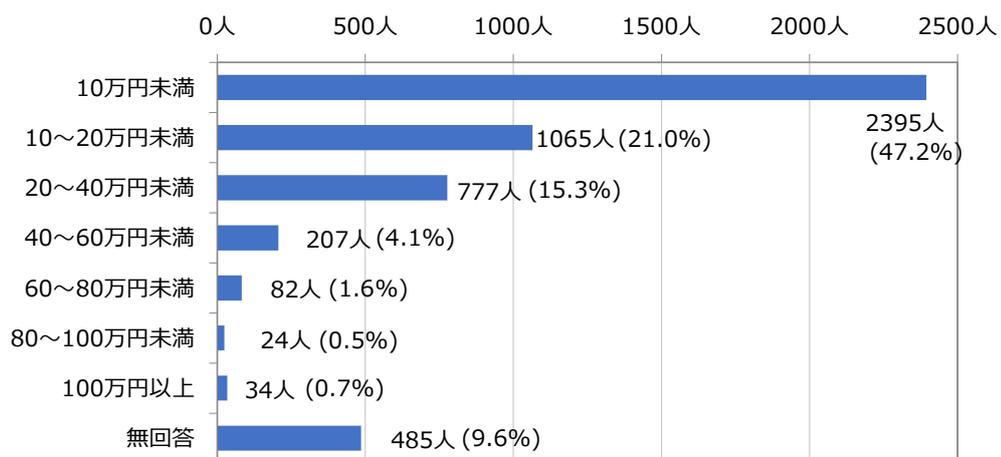
（TA 業務従事者のみ）

専攻分野別	全体	50時間未満	50～100時間未満	100～250時間未満	250～500時間未満	500～750時間未満	750～1000時間未満	1000時間以上	裁量労働制	無回答
全体	5069 (100.0%)	1974 (38.9%)	1181 (23.3%)	1301 (25.7%)	241 (4.8%)	19 (0.4%)	7 (0.1%)	23 (0.5%)	73 (1.4%)	250 (4.9%)
人文科学	494 (100.0%)	208 (42.1%)	143 (28.9%)	88 (17.8%)	26 (5.3%)	2 (0.4%)	4 (0.8%)	2 (0.4%)	4 (0.8%)	17 (3.4%)
社会科学	481 (100.0%)	148 (30.8%)	135 (28.1%)	132 (27.4%)	27 (5.6%)	4 (0.8%)	1 (0.0%)	1 (0.2%)	11 (2.3%)	23 (4.8%)
理学	522 (100.0%)	201 (38.5%)	107 (20.5%)	148 (28.4%)	17 (3.3%)	2 (0.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (1.0%)	42 (8.0%)
工学	945 (100.0%)	421 (44.6%)	207 (21.9%)	175 (18.5%)	55 (5.8%)	5 (0.5%)	0 (0.0%)	2 (0.2%)	15 (1.6%)	65 (6.9%)
農学	490 (100.0%)	149 (30.4%)	176 (35.9%)	136 (27.8%)	7 (1.4%)	0 (0.0%)	1 (0.2%)	0 (0.0%)	6 (1.2%)	15 (3.1%)
保健	1258 (100.0%)	446 (35.5%)	214 (17.0%)	453 (36.0%)	44 (3.5%)	3 (0.2%)	1 (0.1%)	17 (1.4%)	14 (1.1%)	66 (5.2%)
家政	19 (100.0%)	8 (42.1%)	3 (15.8%)	4 (21.1%)	3 (15.8%)	1 (5.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
教育	189 (100.0%)	86 (45.5%)	44 (23.3%)	46 (24.3%)	11 (5.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (1.1%)
美術	48 (100.0%)	22 (45.8%)	11 (22.9%)	10 (20.8%)	4 (8.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (2.1%)
その他	578 (100.0%)	280 (48.4%)	138 (23.9%)	105 (18.2%)	18 (3.1%)	1 (0.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	18 (3.1%)	18 (3.1%)
無回答	45 (100.0%)	5 (11.1%)	3 (6.7%)	4 (8.9%)	29 (64.4%)	1 (2.2%)	1 (2.2%)	1 (2.2%)	0 (0.0%)	1 (2.2%)

(2)TA 業務の受給額（年間）

年間の TA 業務の受給額については、「10 万円未満」が 47.2%と最も割合が高く、次いで「10～20 万円未満」（21.0%）、「20～40 万円未満」（15.3%）となっている。

図表 2-46 TA 業務の受給額（全体）：n=5,069
（TA 業務従事者のみ）



図表 2-47 TA 業務の受給額（学生種別）

（TA 業務従事者のみ）

学生種別	全体	10万円未満	10～20万円 未満	20～40万円 未満	40～60万円 未満	60～80万円 未満	80～100万 円未満	100万円以上	無回答
全体	5069 (100.0%)	2395 (47.2%)	1065 (21.0%)	777 (15.3%)	207 (4.1%)	82 (1.6%)	24 (0.5%)	34 (0.7%)	485 (9.6%)
課程学生	2619 (100.0%)	1258 (48.0%)	546 (20.8%)	388 (14.8%)	131 (5.0%)	43 (1.6%)	16 (0.6%)	14 (0.5%)	223 (8.5%)
社会人学生	585 (100.0%)	263 (45.0%)	110 (18.8%)	98 (16.8%)	15 (2.6%)	6 (1.0%)	3 (0.5%)	14 (2.4%)	76 (13.0%)
留学生	1089 (100.0%)	550 (50.5%)	215 (19.7%)	139 (12.8%)	33 (3.0%)	9 (0.8%)	2 (0.2%)	4 (0.4%)	137 (12.6%)
社会人・留学生	151 (100.0%)	68 (45.0%)	22 (14.6%)	16 (10.6%)	3 (2.0%)	1 (0.7%)	0 (0.0%)	1 (0.7%)	40 (26.5%)
不明	625 (100.0%)	256 (41.0%)	172 (27.5%)	136 (21.8%)	25 (4.0%)	23 (3.7%)	3 (0.5%)	1 (0.2%)	9 (1.4%)

図表 2-48 TA 業務の受給額（専攻分野別）

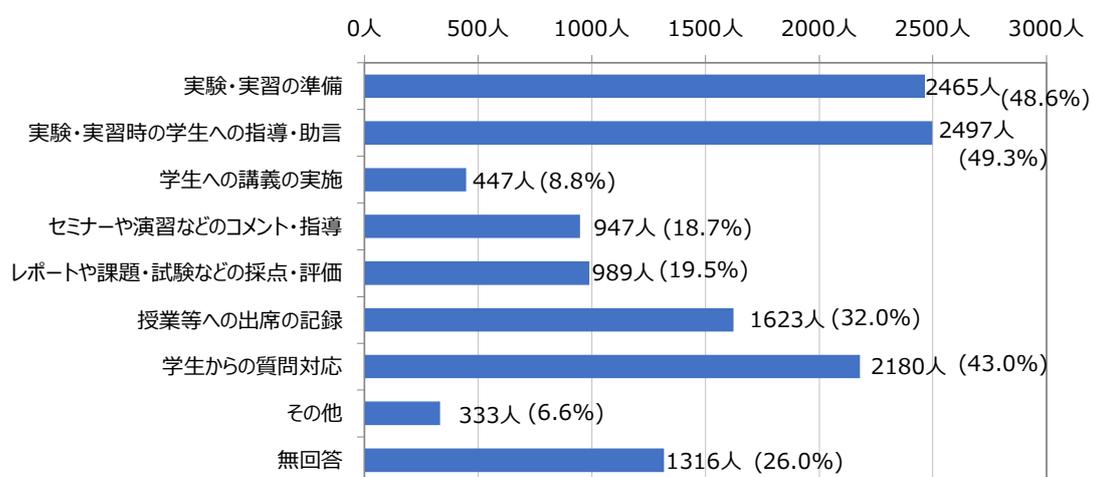
（TA 業務従事者のみ）

専攻分野別	全体	10万円未満	10～20万円 未満	20～40万円 未満	40～60万円 未満	60～80万円 未満	80～100万 円未満	100万円以上	無回答
全体	5069 (100.0%)	2395 (47.2%)	1065 (21.0%)	777 (15.3%)	207 (4.1%)	82 (1.6%)	24 (0.5%)	34 (0.7%)	485 (9.6%)
人文科学	494 (100.0%)	272 (55.1%)	108 (21.9%)	54 (10.9%)	12 (2.4%)	9 (1.8%)	6 (1.2%)	2 (0.4%)	31 (6.3%)
社会科学	481 (100.0%)	203 (42.2%)	117 (24.3%)	84 (17.5%)	23 (4.8%)	11 (2.3%)	2 (0.4%)	4 (0.8%)	37 (7.7%)
理学	522 (100.0%)	230 (44.1%)	108 (20.7%)	94 (18.0%)	20 (3.8%)	3 (0.6%)	2 (0.4%)	1 (0.2%)	64 (12.3%)
工学	945 (100.0%)	501 (53.0%)	162 (17.1%)	101 (10.7%)	56 (5.9%)	23 (2.4%)	8 (0.8%)	3 (0.3%)	91 (9.6%)
農学	490 (100.0%)	247 (50.4%)	96 (19.6%)	64 (13.1%)	20 (4.1%)	25 (5.1%)	0 (0.0%)	1 (0.2%)	37 (7.6%)
保健	1258 (100.0%)	474 (37.7%)	308 (24.5%)	275 (21.9%)	18 (1.4%)	9 (0.7%)	4 (0.3%)	21 (1.7%)	149 (11.8%)
家政	19 (100.0%)	6 (31.6%)	4 (21.1%)	4 (21.1%)	1 (5.3%)	1 (5.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (15.8%)
教育	189 (100.0%)	103 (54.5%)	33 (17.5%)	38 (20.1%)	6 (3.2%)	0 (0.0%)	1 (0.5%)	0 (0.0%)	8 (4.2%)
美術	48 (100.0%)	27 (56.3%)	8 (16.7%)	9 (18.8%)	1 (2.1%)	0 (0.0%)	1 (2.1%)	0 (0.0%)	2 (4.2%)
その他	578 (100.0%)	329 (56.9%)	118 (20.4%)	49 (8.5%)	17 (2.9%)	1 (0.2%)	0 (0.0%)	2 (0.3%)	62 (10.7%)
無回答	45 (100.0%)	3 (6.7%)	3 (6.7%)	5 (11.1%)	33 (73.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (2.2%)

(3)TA 業務の内容

TA 業務の内容については、「実験・実習時の学生への指導・助言」が 49.3%と最も割合が高く、次いで「実験・実習の準備」(48.6%)、「学生からの質問対応」(43.0%)となっている。

図表 2-49 TA 業務の内容 (複数回答) (全体) : n=5,069
(TA 業務従事者のみ)



図表 2-50 TA 業務の内容（複数回答）（学生種別）

（TA 業務従事者のみ）

学生種別	全体	実験・実習の準備	実験・実習時の学生への指導・助言	学生への講義の実施	セミナーや演習などのコメント・指導	レポートや課題・試験などの採点・評価	授業等への出席の記録	学生からの質問対応	その他	無回答
全体	5069 (2.52)	2465 (48.6%)	2497 (49.3%)	447 (8.8%)	947 (18.7%)	989 (19.5%)	1623 (32.0%)	2180 (43.0%)	333 (6.6%)	1316 (26.0%)
課程学生	2619 (2.87)	1513 (57.8%)	1585 (60.5%)	247 (9.4%)	575 (22.0%)	620 (23.7%)	1006 (38.4%)	1377 (52.6%)	199 (7.6%)	384 (14.7%)
社会人学生	585 (2.24)	217 (37.1%)	256 (43.8%)	64 (10.9%)	93 (15.9%)	111 (19.0%)	131 (22.4%)	224 (38.3%)	37 (6.3%)	175 (29.9%)
留学生	1089 (2.58)	586 (53.8%)	531 (48.8%)	114 (10.5%)	236 (21.7%)	216 (19.8%)	392 (36.0%)	461 (42.3%)	60 (5.5%)	212 (19.5%)
社会人・留学生	151 (2.31)	66 (43.7%)	58 (38.4%)	18 (11.9%)	37 (24.5%)	35 (23.2%)	39 (25.8%)	48 (31.8%)	23 (15.2%)	25 (16.6%)
不明	625 (1.32)	83 (13.3%)	67 (10.7%)	4 (0.6%)	6 (1.0%)	7 (1.1%)	55 (8.8%)	70 (11.2%)	14 (2.2%)	520 (83.2%)

図表 2-51 TA 業務の内容（複数回答）（専攻分野別）

（TA 業務従事者のみ）

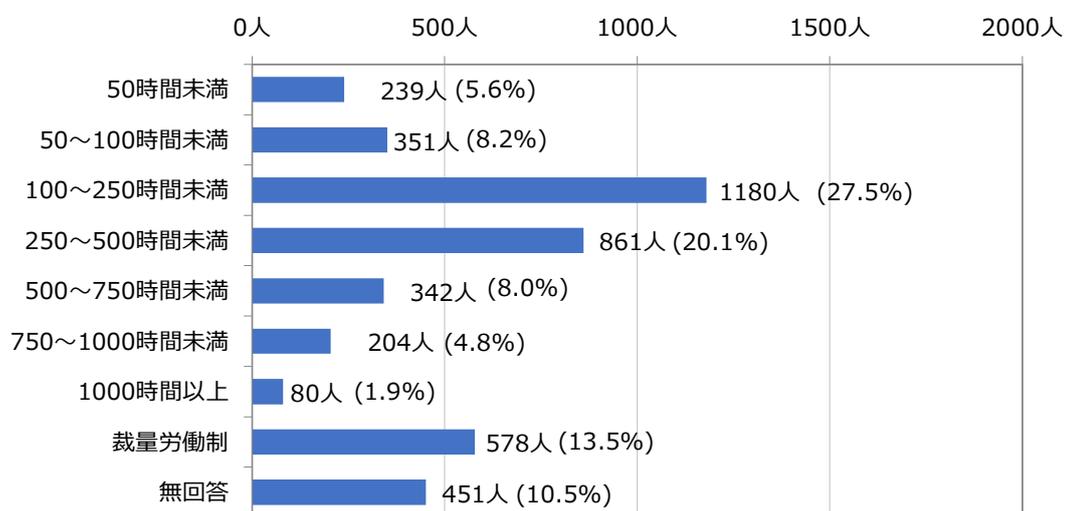
専攻分野別	全体	実験・実習の準備	実験・実習時の学生への指導・助言	学生への講義の実施	セミナーや演習などのコメント・指導	レポートや課題・試験などの採点・評価	授業等への出席の記録	学生からの質問対応	その他	無回答
全体	5069 (2.63)	2465 (48.6%)	2497 (49.3%)	447 (8.8%)	947 (18.7%)	989 (19.5%)	1623 (32.0%)	2180 (43.0%)	333 (6.6%)	1316 (26.0%)
人文科学	494 (2.46)	167 (33.8%)	154 (31.2%)	31 (6.3%)	102 (20.6%)	99 (20.0%)	176 (35.6%)	218 (44.1%)	45 (9.1%)	142 (28.7%)
社会科学	481 (2.68)	187 (38.9%)	171 (35.6%)	53 (11.0%)	155 (32.2%)	177 (36.8%)	195 (40.5%)	239 (49.7%)	47 (9.8%)	96 (20.0%)
理学	522 (2.37)	224 (42.9%)	242 (46.4%)	35 (6.7%)	113 (21.6%)	137 (26.2%)	127 (24.3%)	247 (47.3%)	11 (2.1%)	153 (29.3%)
工学	945 (2.71)	508 (53.8%)	566 (59.9%)	91 (9.6%)	208 (22.0%)	218 (23.1%)	261 (27.6%)	441 (46.7%)	49 (5.2%)	201 (21.3%)
農学	490 (2.82)	259 (52.9%)	227 (46.3%)	27 (5.5%)	82 (16.7%)	37 (7.6%)	103 (21.0%)	162 (33.1%)	31 (6.3%)	190 (38.8%)
保健	1258 (2.65)	708 (56.3%)	729 (57.9%)	109 (8.7%)	134 (10.7%)	138 (11.0%)	380 (30.2%)	525 (41.7%)	102 (8.1%)	300 (23.8%)
家政	19 (2.84)	12 (63.2%)	12 (63.2%)	2 (10.5%)	4 (21.1%)	3 (15.8%)	9 (47.4%)	12 (63.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
教育	189 (3.22)	66 (34.9%)	55 (29.1%)	29 (15.3%)	36 (19.0%)	67 (35.4%)	99 (52.4%)	114 (60.3%)	13 (6.9%)	47 (24.9%)
美術	48 (3.02)	33 (68.8%)	34 (70.8%)	9 (18.8%)	7 (14.6%)	5 (10.4%)	20 (41.7%)	33 (68.8%)	4 (8.3%)	0 (0.0%)
その他	578 (2.27)	265 (45.8%)	267 (46.2%)	50 (8.7%)	92 (15.9%)	81 (14.0%)	222 (38.4%)	151 (26.1%)	31 (5.4%)	186 (32.2%)
無回答	45 (4.36)	36 (80.0%)	40 (88.9%)	11 (24.4%)	12 (26.7%)	27 (60.0%)	31 (68.9%)	38 (84.4%)	0 (0.0%)	1 (2.2%)

2-7-4 RA 業務の詳細 (RA 業務従事者のみ)

(1) RA 業務の従事時間 (年間)

年間の TA 業務の従事時間については「100～250 時間未満」が 27.5%と最も割合が高く、次いで「250～500 時間未満」(20.1%) となっている。また、TA 業務の従事時間では最も割合が高かった「50 時間未満」の回答については、RA 業務ではわずか 5.6%にとどまっている。

図表 2-52 RA 業務の従事時間 (全体) : n=4,286
(RA 業務従事者のみ)



図表 2-53 RA 業務の従事時間（学生種別）

（RA 業務従事者のみ）

学生種別	全体	50時間未満	50～100時間未満	100～250時間未満	250～500時間未満	500～750時間未満	750～1000時間未満	1000時間以上	裁量労働制	無回答
全体	4286 (100.0%)	239 (5.6%)	351 (8.2%)	1180 (27.5%)	861 (20.1%)	342 (8.0%)	204 (4.8%)	80 (1.9%)	578 (13.5%)	451 (10.5%)
課程学生	1953 (100.0%)	100 (5.1%)	159 (8.1%)	532 (27.2%)	438 (22.4%)	153 (7.8%)	125 (6.4%)	34 (1.7%)	256 (13.1%)	156 (8.0%)
社会人学生	516 (100.0%)	37 (7.2%)	51 (9.9%)	153 (29.7%)	82 (15.9%)	35 (6.8%)	19 (3.7%)	9 (1.7%)	20 (3.9%)	110 (21.3%)
留学生	1244 (100.0%)	66 (5.3%)	103 (8.3%)	334 (26.8%)	272 (21.9%)	106 (8.5%)	55 (4.4%)	32 (2.6%)	202 (16.2%)	74 (5.9%)
社会人・留学生	162 (100.0%)	13 (8.0%)	17 (10.5%)	46 (28.4%)	28 (17.3%)	14 (8.6%)	3 (1.9%)	5 (3.1%)	13 (8.0%)	23 (14.2%)
不明	411 (100.0%)	23 (5.6%)	21 (5.1%)	115 (28.0%)	41 (10.0%)	34 (8.3%)	2 (0.5%)	0 (0.0%)	87 (21.2%)	88 (21.4%)

図表 2-54 RA 業務の従事時間（専攻分野別）

（RA 業務従事者のみ）

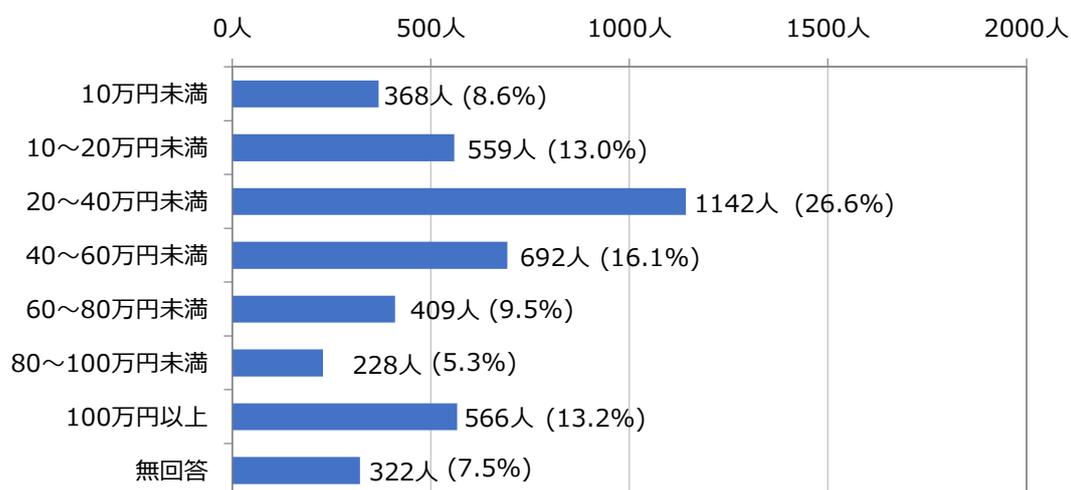
専攻分野別	全体	50時間未満	50～100時間未満	100～250時間未満	250～500時間未満	500～750時間未満	750～1000時間未満	1000時間以上	裁量労働制	無回答
全体	4286 (100.0%)	239 (5.6%)	351 (8.2%)	1180 (27.5%)	861 (20.1%)	342 (8.0%)	204 (4.8%)	80 (1.9%)	578 (13.5%)	451 (10.5%)
人文科学	184 (100.0%)	18 (9.8%)	25 (13.6%)	33 (17.9%)	23 (12.5%)	7 (3.8%)	10 (5.4%)	1 (0.5%)	45 (24.5%)	22 (12.0%)
社会科学	301 (100.0%)	50 (16.6%)	56 (18.6%)	74 (24.6%)	37 (12.3%)	44 (14.6%)	8 (2.7%)	4 (1.3%)	16 (5.3%)	12 (4.0%)
理学	693 (100.0%)	18 (2.6%)	44 (6.3%)	185 (26.7%)	103 (14.9%)	45 (6.5%)	33 (4.8%)	14 (2.0%)	177 (25.5%)	74 (10.7%)
工学	1472 (100.0%)	58 (3.9%)	101 (6.9%)	405 (27.5%)	454 (30.8%)	135 (9.2%)	67 (4.6%)	37 (2.5%)	113 (7.7%)	102 (6.9%)
農学	204 (100.0%)	13 (6.4%)	15 (7.4%)	69 (33.8%)	44 (21.6%)	13 (6.4%)	4 (2.0%)	1 (0.5%)	17 (8.3%)	28 (13.7%)
保健	982 (100.0%)	33 (3.4%)	51 (5.2%)	271 (27.6%)	162 (16.5%)	66 (6.7%)	63 (6.4%)	13 (1.3%)	177 (18.0%)	146 (14.9%)
家政	2 (100.0%)	0 (0.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (50.0%)
教育	67 (100.0%)	6 (9.0%)	8 (11.9%)	36 (53.7%)	2 (3.0%)	2 (3.0%)	1 (1.5%)	0 (0.0%)	6 (9.0%)	6 (9.0%)
美術	13 (100.0%)	3 (23.1%)	2 (15.4%)	2 (15.4%)	3 (23.1%)	1 (7.7%)	1 (7.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (7.7%)
その他	359 (100.0%)	40 (11.1%)	48 (13.4%)	104 (29.0%)	33 (9.2%)	26 (7.2%)	14 (3.9%)	9 (2.5%)	27 (7.5%)	58 (16.2%)
無回答	9 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (11.1%)	0 (0.0%)	3 (33.3%)	3 (33.3%)	1 (11.1%)	0 (0.0%)	1 (11.1%)

(2)RA 業務の受給額 (年間)

年間の RA 業務の受給額については、「20～40 万円未満」が 26.6%と最も割合が高く、次いで「40～60 万円未満」(16.1%)、「100 万円以上」(13.2%) となっている。

また、TA 業務の受給額では最も割合が高かった「10 万円未満」が 8.6%にとどまっている。一方で、「100 万円以上」の回答は TA 業務では 0.7%であったが、RA 業務では 13.2%となっている。

図表 2-55 RA 業務の受給額 : n=4,286
(RA 業務従事者のみ)



図表 2-56 RA 業務の受給額（学生種別）

（RA 業務従事者のみ）

学生種別	全体	10万円未満	10～20万円未満	20～40万円未満	40～60万円未満	60～80万円未満	80～100万円未満	100万円以上	無回答
全体	4286 (100.0%)	368 (8.6%)	559 (13.0%)	1142 (26.6%)	692 (16.1%)	409 (9.5%)	228 (5.3%)	566 (13.2%)	322 (7.5%)
課程学生	1953 (100.0%)	151 (7.7%)	270 (13.8%)	515 (26.4%)	370 (18.9%)	173 (8.9%)	101 (5.2%)	242 (12.4%)	131 (6.7%)
社会人学生	516 (100.0%)	52 (10.1%)	58 (11.2%)	151 (29.3%)	64 (12.4%)	34 (6.6%)	56 (10.9%)	49 (9.5%)	52 (10.1%)
留学生	1244 (100.0%)	114 (9.2%)	160 (12.9%)	295 (23.7%)	199 (16.0%)	142 (11.4%)	38 (3.1%)	202 (16.2%)	94 (7.6%)
社会人・留学生	162 (100.0%)	14 (8.6%)	23 (14.2%)	42 (25.9%)	16 (9.9%)	15 (9.3%)	7 (4.3%)	10 (6.2%)	35 (21.6%)
不明	411 (100.0%)	37 (9.0%)	48 (11.7%)	139 (33.8%)	43 (10.5%)	45 (10.9%)	26 (6.3%)	63 (15.3%)	10 (2.4%)

図表 2-57 RA 業務の受給額（専攻分野別）

（RA 業務従事者のみ）

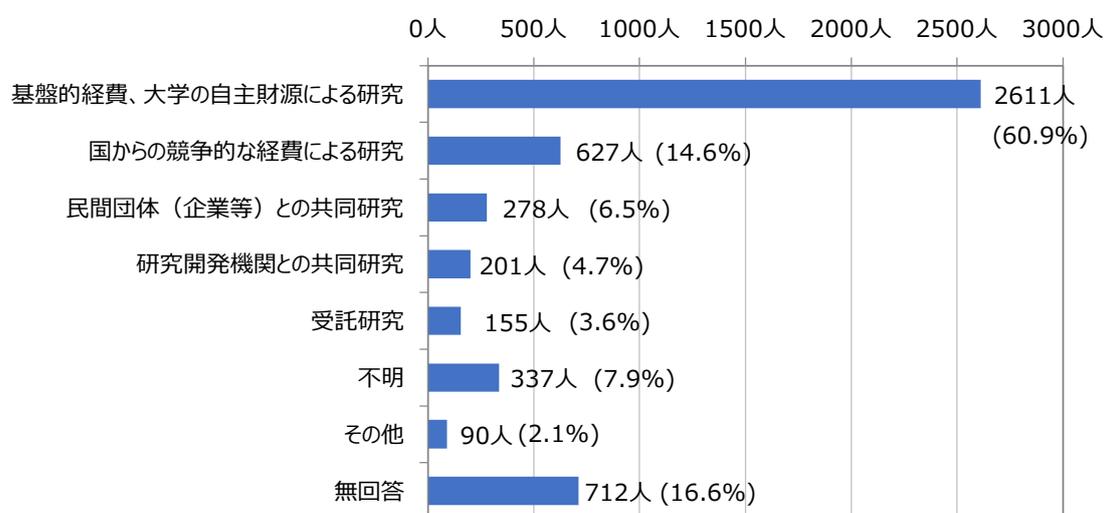
専攻分野別	全体	10万円未満	10～20万円未満	20～40万円未満	40～60万円未満	60～80万円未満	80～100万円未満	100万円以上	無回答
全体	4286 (100.0%)	368 (8.6%)	559 (13.0%)	1142 (26.6%)	692 (16.1%)	409 (9.5%)	228 (5.3%)	566 (13.2%)	322 (7.5%)
人文科学	184 (100.0%)	33 (17.9%)	32 (17.4%)	58 (31.5%)	18 (9.8%)	7 (3.8%)	11 (6.0%)	12 (6.5%)	13 (7.1%)
社会科学	301 (100.0%)	61 (20.3%)	63 (20.9%)	71 (23.6%)	17 (5.6%)	15 (5.0%)	4 (1.3%)	51 (16.9%)	19 (6.3%)
理学	693 (100.0%)	33 (4.8%)	67 (9.7%)	199 (28.7%)	88 (12.7%)	67 (9.7%)	52 (7.5%)	155 (22.4%)	32 (4.6%)
工学	1472 (100.0%)	93 (6.3%)	130 (8.8%)	351 (23.8%)	364 (24.7%)	190 (12.9%)	65 (4.4%)	198 (13.5%)	81 (5.5%)
農学	204 (100.0%)	20 (9.8%)	46 (22.5%)	70 (34.3%)	18 (8.8%)	12 (5.9%)	4 (2.0%)	15 (7.4%)	19 (9.3%)
保健	982 (100.0%)	54 (5.5%)	139 (14.2%)	268 (27.3%)	150 (15.3%)	99 (10.1%)	72 (7.3%)	91 (9.3%)	109 (11.1%)
家政	2 (100.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (50.0%)
教育	67 (100.0%)	12 (17.9%)	14 (20.9%)	25 (37.3%)	7 (10.4%)	2 (3.0%)	1 (1.5%)	3 (4.5%)	3 (4.5%)
美術	13 (100.0%)	5 (38.5%)	1 (7.7%)	2 (15.4%)	2 (15.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (15.4%)	1 (7.7%)
その他	359 (100.0%)	56 (15.6%)	67 (18.7%)	98 (27.3%)	26 (7.2%)	15 (4.2%)	16 (4.5%)	38 (10.6%)	43 (12.0%)
無回答	9 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (22.2%)	2 (22.2%)	3 (33.3%)	1 (11.1%)	1 (11.1%)

(3)RA 業務の内容

RA 業務の内容については、無回答を除くと、「基盤的経費、大学の自主財源による研究」が 60.9%と最も割合が高く、次いで「国からの競争的な経費による研究」(14.6%)となっている。

図表 2-58 RA 業務の内容 (複数回答) (全体) : n=4,286

(RA 業務従事者のみ)



図表 2-59 RA 業務の内容（複数回答）（学生種別）

（RA 業務従事者のみ）

学生種別	全体	基盤的経費、 大学の自主財 源による研究	国からの競争 的経費によ る研究	民間団体 （企業等）と の共同研究	研究開発機 関との共同研 究	受託研究	不明	その他	無回答
全体	4286 (1.17)	2611 (60.9%)	627 (14.6%)	278 (6.5%)	201 (4.7%)	155 (3.6%)	337 (7.9%)	90 (2.1%)	712 (16.6%)
課程学生	1953 (1.21)	1191 (61.0%)	373 (19.1%)	141 (7.2%)	106 (5.4%)	66 (3.4%)	170 (8.7%)	40 (2.0%)	274 (14.0%)
社会人学生	516 (1.13)	298 (57.8%)	53 (10.3%)	20 (3.9%)	18 (3.5%)	18 (3.5%)	25 (4.8%)	14 (2.7%)	139 (26.9%)
留学生	1244 (1.15)	789 (63.4%)	137 (11.0%)	91 (7.3%)	62 (5.0%)	40 (3.2%)	123 (9.9%)	23 (1.8%)	163 (13.1%)
社会人・留学生	162 (1.29)	88 (54.3%)	25 (15.4%)	18 (11.1%)	14 (8.6%)	7 (4.3%)	17 (10.5%)	5 (3.1%)	32 (19.8%)
不明	411 (1.03)	245 (59.6%)	39 (9.5%)	8 (1.9%)	1 (0.2%)	24 (5.8%)	2 (0.5%)	8 (1.9%)	104 (25.3%)

図表 2-60 RA 業務の内容（複数回答）（専攻分野別）

（RA 業務従事者のみ）

専攻分野別	全体	基盤的経費、 大学の自主財 源による研究	国からの競争 的経費によ る研究	民間団体 （企業等）と の共同研究	研究開発機 関との共同研 究	受託研究	不明	その他	無回答
全体	4286 (1.17)	2611 (60.9%)	627 (14.6%)	278 (6.5%)	201 (4.7%)	155 (3.6%)	337 (7.9%)	90 (2.1%)	712 (16.6%)
人文科学	184 (1.14)	117 (63.6%)	28 (15.2%)	2 (1.1%)	4 (2.2%)	1 (0.5%)	22 (12.0%)	10 (5.4%)	22 (12.0%)
社会科学	301 (1.17)	172 (57.1%)	44 (14.6%)	7 (2.3%)	12 (4.0%)	9 (3.0%)	21 (7.0%)	14 (4.7%)	72 (23.9%)
理学	693 (1.10)	434 (62.6%)	87 (12.6%)	19 (2.7%)	28 (4.0%)	13 (1.9%)	30 (4.3%)	9 (1.3%)	154 (22.2%)
工学	1472 (1.17)	949 (64.5%)	179 (12.2%)	138 (9.4%)	82 (5.6%)	63 (4.3%)	89 (6.0%)	17 (1.2%)	204 (13.9%)
農学	204 (1.25)	140 (68.6%)	35 (17.2%)	20 (9.8%)	9 (4.4%)	20 (9.8%)	8 (3.9%)	4 (2.0%)	21 (10.3%)
保健	982 (1.18)	555 (56.5%)	177 (18.0%)	50 (5.1%)	36 (3.7%)	21 (2.1%)	146 (14.9%)	19 (1.9%)	147 (15.0%)
家政	2 (1.00)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (50.0%)	0 (0.0%)
教育	67 (1.16)	42 (62.7%)	14 (20.9%)	3 (4.5%)	2 (3.0%)	6 (9.0%)	3 (4.5%)	3 (4.5%)	4 (6.0%)
美術	13 (1.31)	9 (69.2%)	2 (15.4%)	1 (7.7%)	1 (7.7%)	1 (7.7%)	2 (15.4%)	1 (7.7%)	0 (0.0%)
その他	359 (1.28)	185 (51.5%)	60 (16.7%)	38 (10.6%)	26 (7.2%)	20 (5.6%)	16 (4.5%)	12 (3.3%)	87 (24.2%)
無回答	9 (1.22)	8 (88.9%)	1 (11.1%)	0 (0.0%)	1 (11.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (11.1%)

2-8 経済的支援（奨学金・授業料減免等）について

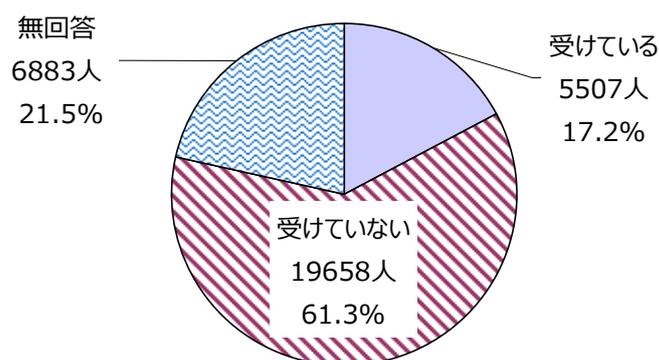
2-8-1 日本学生支援機構の奨学金制度について

※留学生、社会人・留学生は、日本学生支援機構の貸与型奨学金制度対象外のため、本節の分析では除外している。

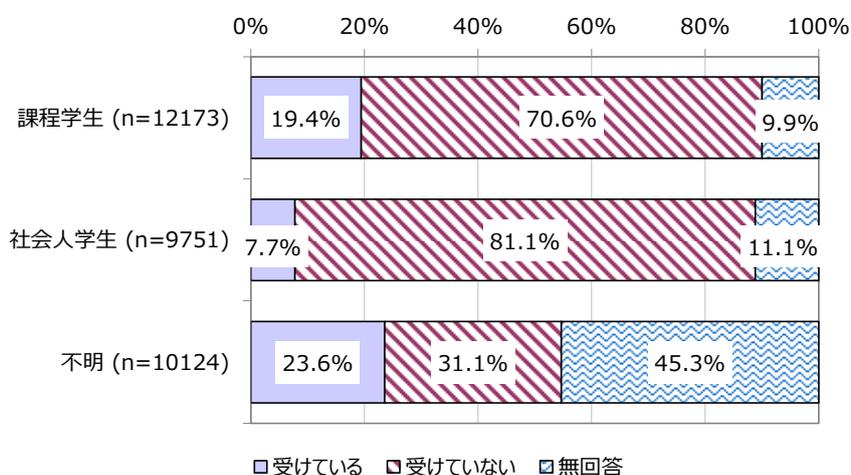
(1) 日本学生支援機構の奨学金制度の有無

平成 30 年度の日本学生支援機構の奨学金制度の有無については、「受けていない」が 61.3%で「受けている」(17.2%) を大きく上回っている。

図表 2-61 日本学生支援機構の奨学金制度の有無（全体）：n=32,048
(留学生、社会人・留学生は除く)

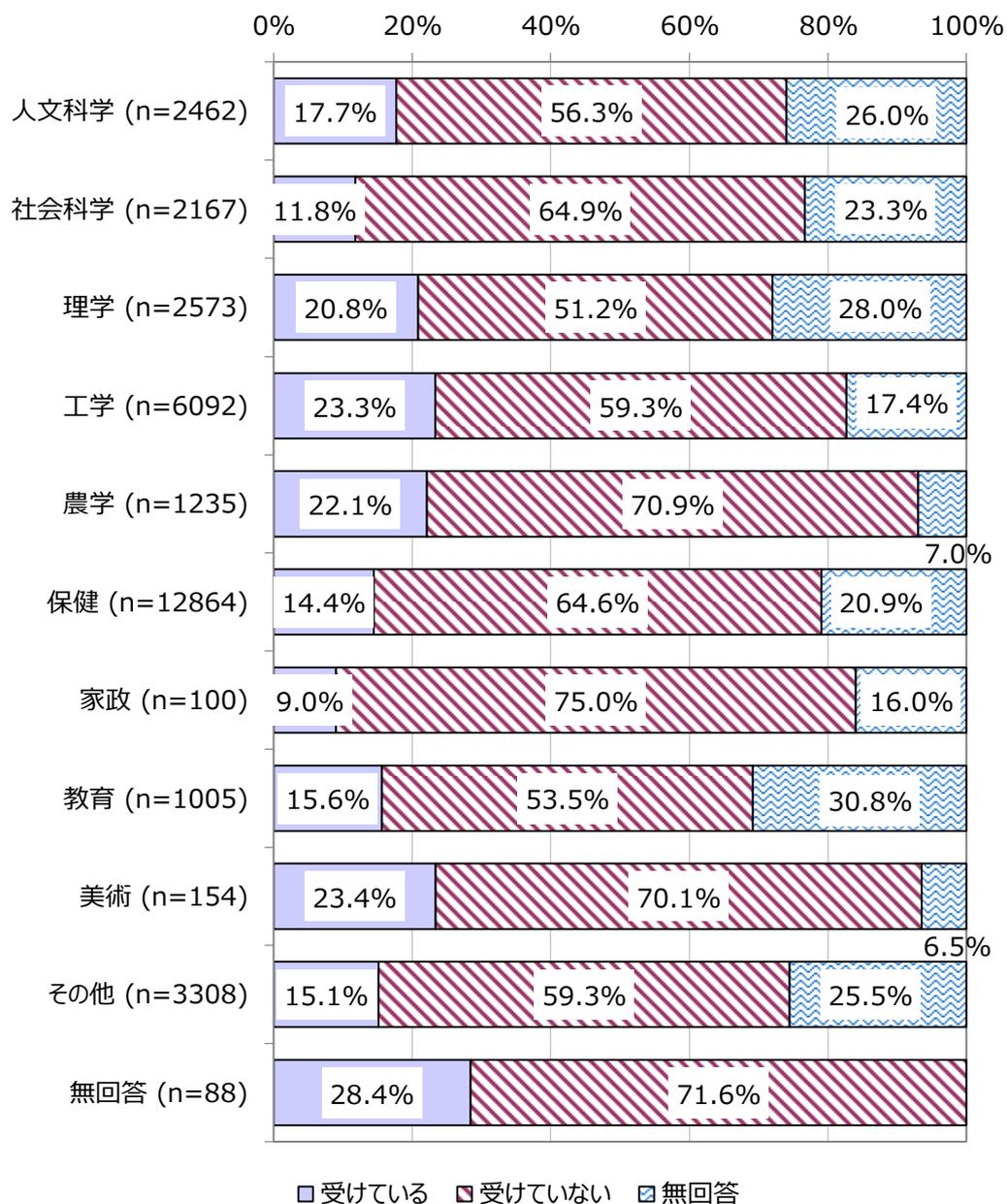


図表 2-62 日本学生支援機構の奨学金制度の有無（学生種別）
(留学生、社会人・留学生は除く)



図表 2-63 日本学生支援機構の奨学金制度の有無（専攻分野別）

（留学生、社会人・留学生は除く）

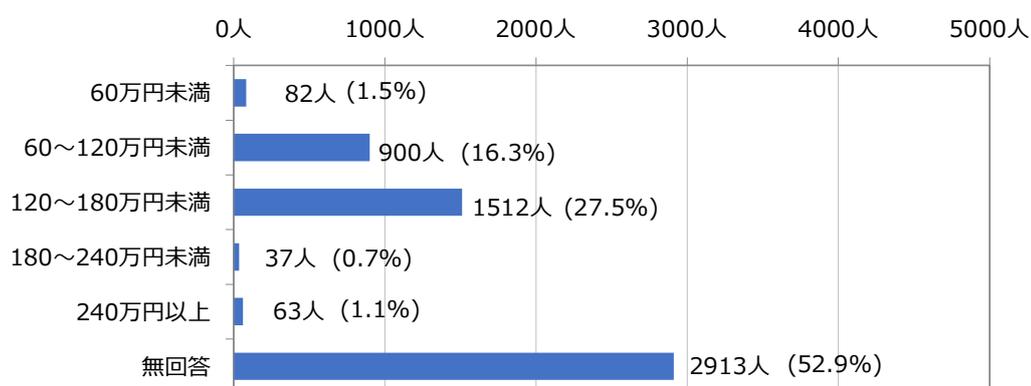


(2)日本学生支援機構の奨学金制度の金額

日本学生支援機構の奨学金制度の受給者について、年間受給額については、無回答を除くと、回答があった者では「120～180万円未満」が27.5%、次いで「60～120万円未満」が16.3%となっている。一方、180万円以上の回答は全体の0.7%となっている。

図表 2-64 日本学生支援機構の奨学金制度の年間受給額（全体）：n=5,507

（日本学生支援機構の奨学金制度の受給者のみ）



図表 2-65 日本学生支援機構の奨学金制度の年間受給額（学生種別）

（日本学生支援機構の奨学金制度の受給者のみ）

学生種別	全体	60万円未満	60～120万円未満	120～180万円未満	180～240万円未満	240万円以上	無回答
全体	5507 (100.0%)	82 (1.5%)	900 (16.3%)	1512 (27.5%)	37 (0.7%)	63 (1.1%)	2913 (52.9%)
課程学生	2365 (100.0%)	65 (2.7%)	565 (23.9%)	960 (40.6%)	20 (0.8%)	34 (1.4%)	721 (30.5%)
社会人学生	754 (100.0%)	10 (1.3%)	109 (14.5%)	157 (20.8%)	9 (1.2%)	12 (1.6%)	457 (60.6%)
不明	2388 (100.0%)	7 (0.3%)	226 (9.5%)	395 (16.5%)	8 (0.3%)	17 (0.7%)	1735 (72.7%)

図表 2-66 日本学生支援機構の奨学金制度の年間受給額（専攻分野別）

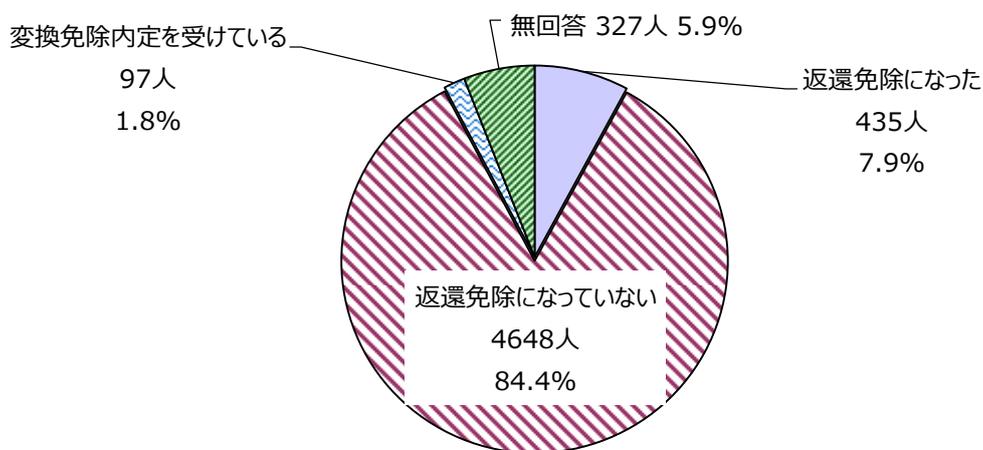
（日本学生支援機構の奨学金制度の受給者のみ）

専攻分野別	全体	60万円未満	60～120万円未満	120～180万円未満	180～240万円未満	240万円以上	無回答
全体	5507 (100.0%)	82 (1.5%)	900 (16.3%)	1512 (27.5%)	37 (0.7%)	63 (1.1%)	2913 (52.9%)
人文科学	436 (100.0%)	8 (1.8%)	88 (20.2%)	86 (19.7%)	7 (1.6%)	9 (2.1%)	238 (54.6%)
社会科学	256 (100.0%)	10 (3.9%)	50 (19.5%)	72 (28.1%)	5 (2.0%)	7 (2.7%)	112 (43.8%)
理学	536 (100.0%)	11 (2.1%)	156 (29.1%)	181 (33.8%)	3 (0.6%)	5 (0.9%)	180 (33.6%)
工学	1420 (100.0%)	16 (1.1%)	228 (16.1%)	442 (31.1%)	7 (0.5%)	8 (0.6%)	719 (50.6%)
農学	273 (100.0%)	7 (2.6%)	64 (23.4%)	101 (37.0%)	1 (0.4%)	4 (1.5%)	96 (35.2%)
保健	1858 (100.0%)	15 (0.8%)	177 (9.5%)	414 (22.3%)	9 (0.5%)	17 (0.9%)	1226 (66.0%)
家政	9 (100.0%)	0 (0.0%)	4 (44.4%)	4 (44.4%)	0 (0.0%)	1 (11.1%)	0 (0.0%)
教育	157 (100.0%)	4 (2.5%)	30 (19.1%)	32 (20.4%)	2 (1.3%)	3 (1.9%)	86 (54.8%)
美術	36 (100.0%)	0 (0.0%)	9 (25.0%)	19 (52.8%)	2 (5.6%)	1 (2.8%)	5 (13.9%)
その他	501 (100.0%)	10 (2.0%)	89 (17.8%)	146 (29.1%)	1 (0.2%)	6 (1.2%)	249 (49.7%)
無回答	25 (100.0%)	1 (4.0%)	5 (20.0%)	15 (60.0%)	0 (0.0%)	2 (8.0%)	2 (8.0%)

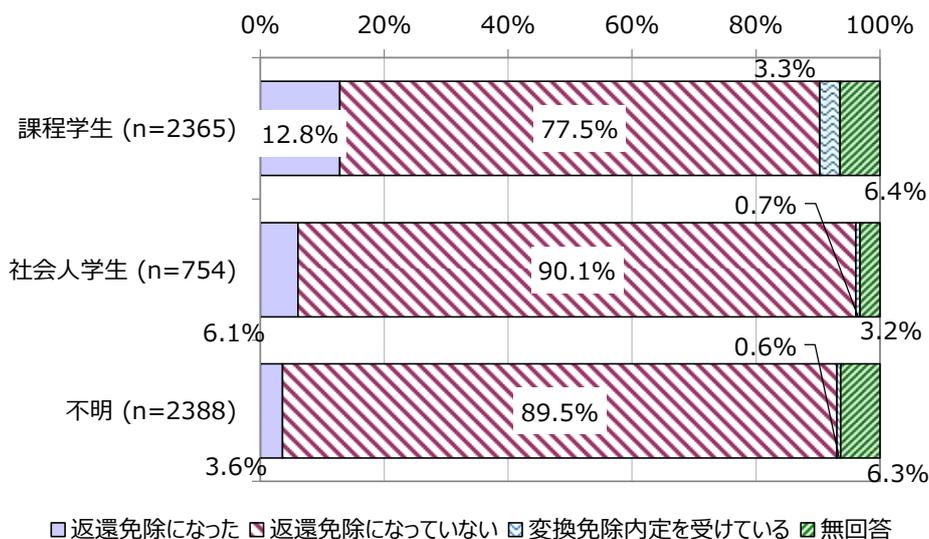
(3)日本学生支援機構の奨学金制度の返還免除有無

日本学生支援機構の奨学金制度の返還免除有無については、「返還免除になっていない」が全体の84.4%となっている。「返還免除になった」割合は7.9%、「返還免除内定を受けている」割合は1.8%である。

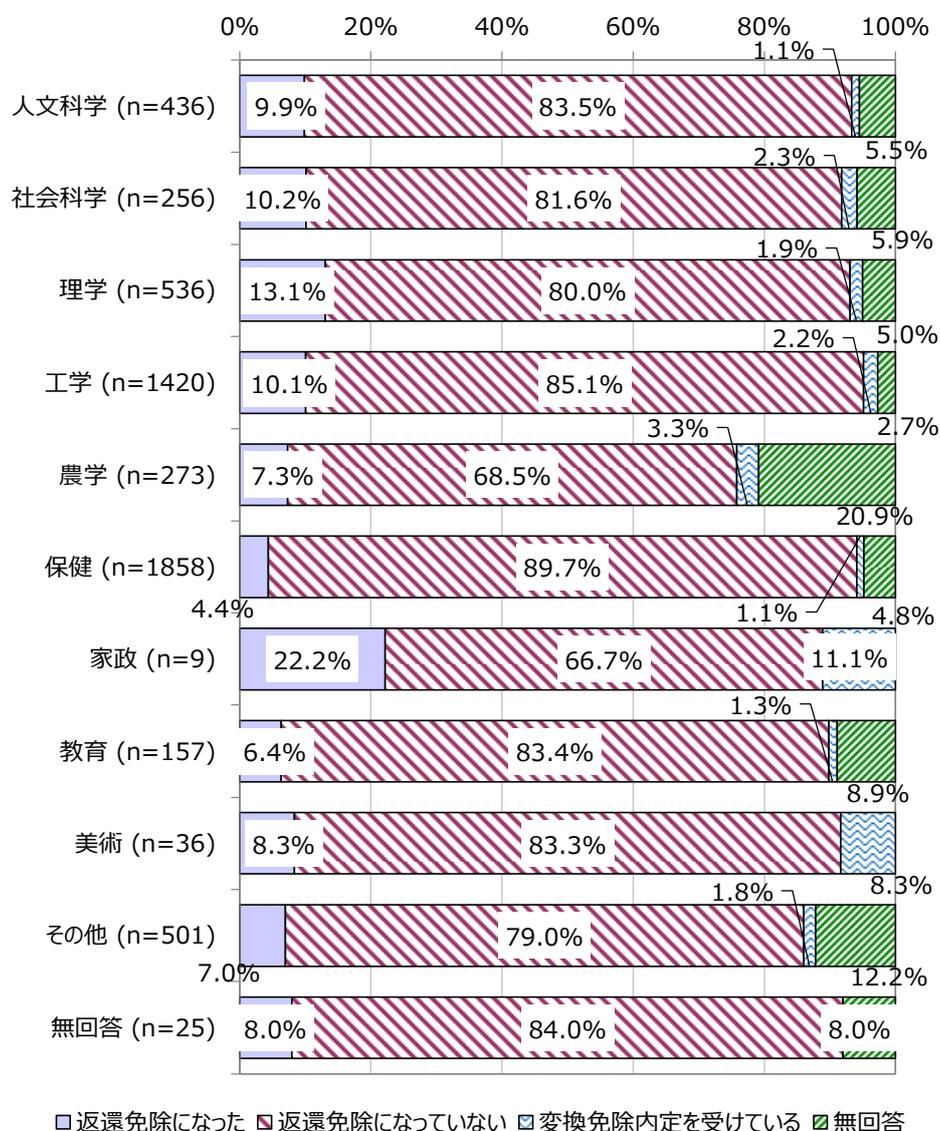
図表 2-67 日本学生支援機構の奨学金制度の免除有無（全体）：n=5,507
（日本学生支援機構の奨学金制度の受給者のみ）



図表 2-68 日本学生支援機構の奨学金制度の免除有無（学生種別）
（日本学生支援機構の奨学金制度の受給者のみ）



図表 2-69 日本学生支援機構の奨学金制度の免除有無（専攻分野別）

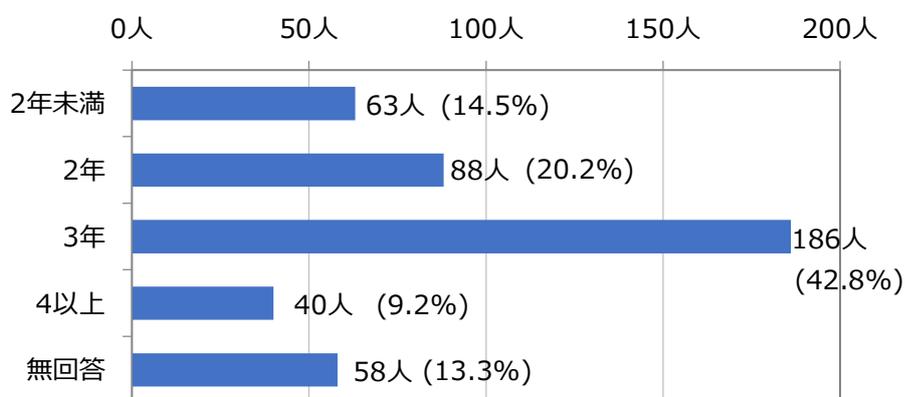


(4) 返還免除者の貸与年数、貸与総額、返還免除額

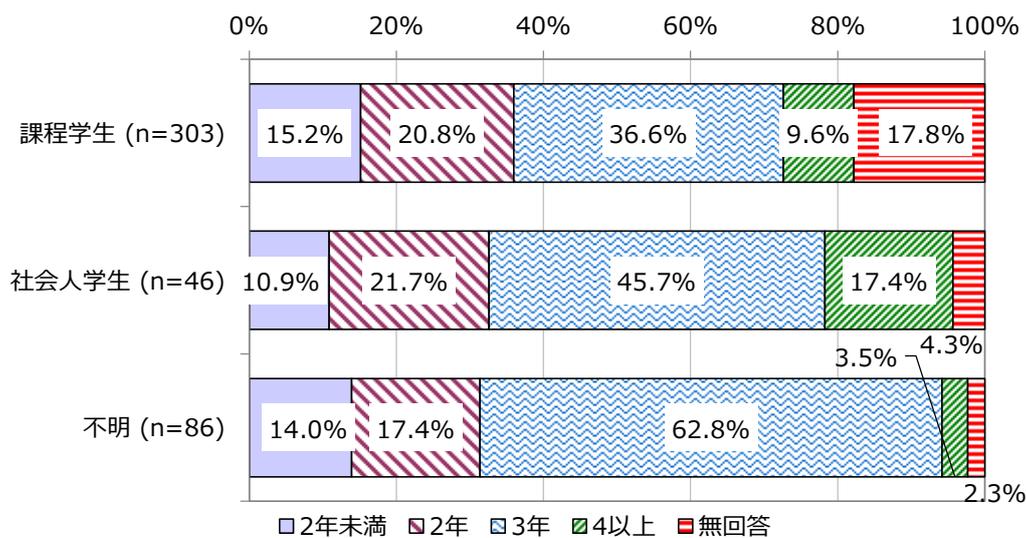
① 貸与年数

日本学生支援機構の奨学金返還免除者の貸与年数については、「3年」が42.8%、次いで「2年」(20.2%)、「2年未満」(14.5%)となっている。

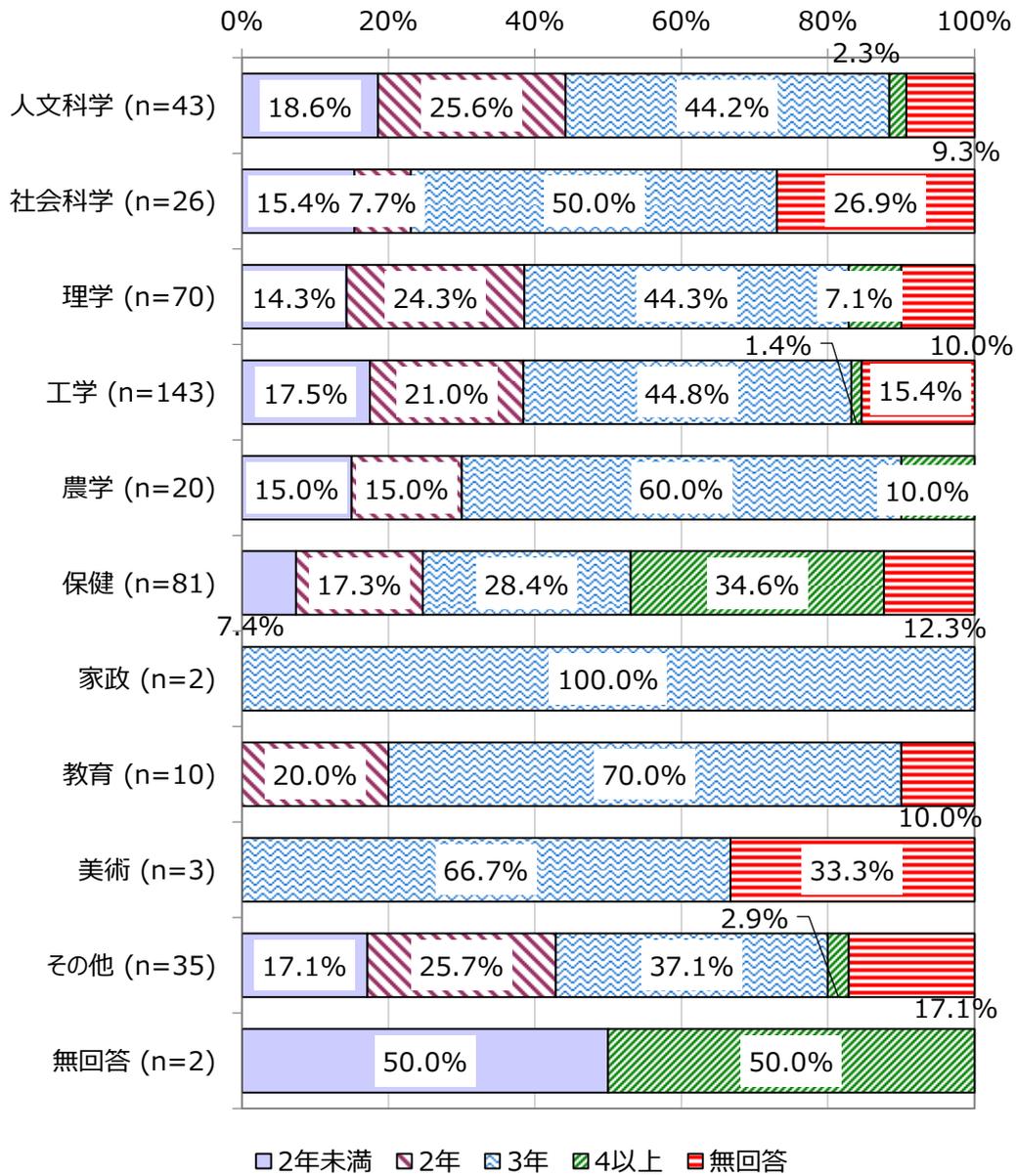
図表 2-70 貸与年数 (全体) : n=435
(日本学生支援機構の奨学金返還免除者のみ)



図表 2-71 貸与年数 (学生種別)
(日本学生支援機構の奨学金返還免除者のみ)



図表 2-72 貸与年数（専攻分野別）
 （日本学生支援機構の奨学金返還免除者のみ）

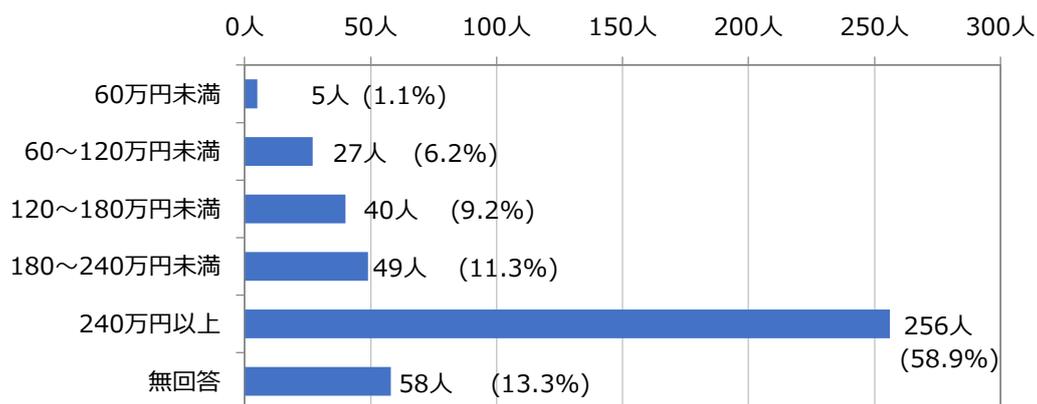


②貸与総額

日本学生支援機構の奨学金返還免除者の奨学金貸与総額については、「240万円以上」が58.9%と最も割合が高く、次いで「180～240万円未満」が11.3%となっている。

図表 2-73 貸与総額（全体）：n=435

（日本学生支援機構の奨学金返還免除者のみ）



図表 2-74 貸与総額（学生種別）

（日本学生支援機構の奨学金返還免除者のみ）

学生種別	全体	60万円未満	60～120万円未満	120～180万円未満	180～240万円未満	240万円以上	無回答
全体	435 (100.0%)	5 (1.1%)	27 (6.2%)	40 (9.2%)	49 (11.3%)	256 (58.9%)	58 (13.3%)
課程学生	303 (100.0%)	3 (1.0%)	19 (6.3%)	30 (9.9%)	36 (11.9%)	161 (53.1%)	54 (17.8%)
社会人学生	46 (100.0%)	1 (2.2%)	3 (6.5%)	2 (4.3%)	5 (10.9%)	32 (69.6%)	3 (6.5%)
不明	86 (100.0%)	1 (1.2%)	5 (5.8%)	8 (9.3%)	8 (9.3%)	63 (73.3%)	1 (1.2%)

図表 2-75 貸与総額（専攻分野別）

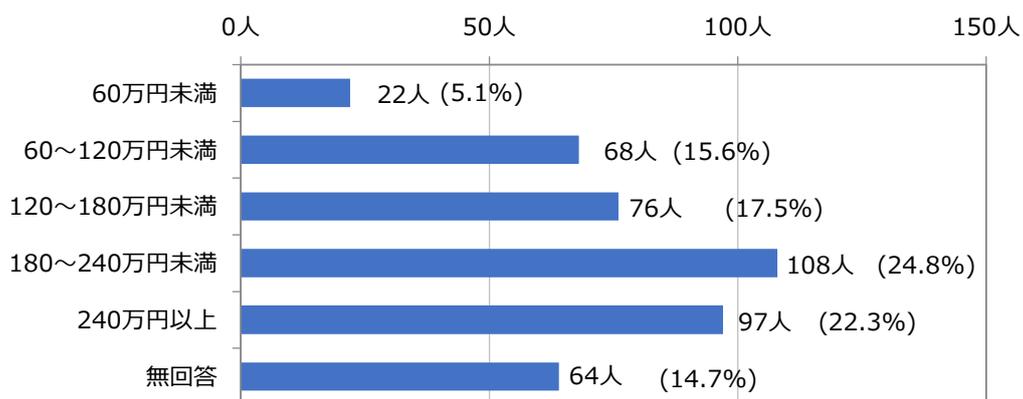
（日本学生支援機構の奨学金返還免除者のみ）

専攻分野別	全体	60万円未満	60～120万円未満	120～180万円未満	180～240万円未満	240万円以上	無回答
全体	435 (100.0%)	5 (1.1%)	27 (6.2%)	40 (9.2%)	49 (11.3%)	256 (58.9%)	58 (13.3%)
人文科学	43 (100.0%)	0 (0.0%)	7 (16.3%)	4 (9.3%)	6 (14.0%)	23 (53.5%)	3 (7.0%)
社会科学	26 (100.0%)	0 (0.0%)	2 (7.7%)	2 (7.7%)	1 (3.8%)	14 (53.8%)	7 (26.9%)
理学	70 (100.0%)	1 (1.4%)	2 (2.9%)	7 (10.0%)	11 (15.7%)	41 (58.6%)	8 (11.4%)
工学	143 (100.0%)	3 (2.1%)	9 (6.3%)	19 (13.3%)	19 (13.3%)	72 (50.3%)	21 (14.7%)
農学	20 (100.0%)	0 (0.0%)	1 (5.0%)	2 (10.0%)	1 (5.0%)	16 (80.0%)	0 (0.0%)
保健	81 (100.0%)	0 (0.0%)	1 (1.2%)	5 (6.2%)	6 (7.4%)	58 (71.6%)	11 (13.6%)
家政	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)
教育	10 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (10.0%)	8 (80.0%)	1 (10.0%)
美術	3 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (66.7%)	1 (33.3%)
その他	35 (100.0%)	1 (2.9%)	4 (11.4%)	1 (2.9%)	4 (11.4%)	19 (54.3%)	6 (17.1%)
無回答	2 (100.0%)	0 (0.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)

③返還免除額

日本学生支援機構の奨学金返還免除者の返還免除額については、「180～240万円未満」が24.8%と最も割合が高く、次いで「240万円以上」が22.3%となっている。

図表 2-76 返還免除額（全体）：n=435
（日本学生支援機構の奨学金返還免除者のみ）



図表 2-77 返還免除額（学生種別）

（日本学生支援機構の奨学金返還免除者のみ）

学生種別	全体	60万円未満	60～120万円未満	120～180万円未満	180～240万円未満	240万円以上	無回答
全体	435 (100.0%)	22 (5.1%)	68 (15.6%)	76 (17.5%)	108 (24.8%)	97 (22.3%)	64 (14.7%)
課程学生	303 (100.0%)	16 (5.3%)	49 (16.2%)	53 (17.5%)	66 (21.8%)	62 (20.5%)	57 (18.8%)
社会人学生	46 (100.0%)	4 (8.7%)	6 (13.0%)	9 (19.6%)	12 (26.1%)	9 (19.6%)	6 (13.0%)
不明	86 (100.0%)	2 (2.3%)	13 (15.1%)	14 (16.3%)	30 (34.9%)	26 (30.2%)	1 (1.2%)

図表 2-78 返還免除額（専攻分野別）

（日本学生支援機構の奨学金返還免除者のみ）

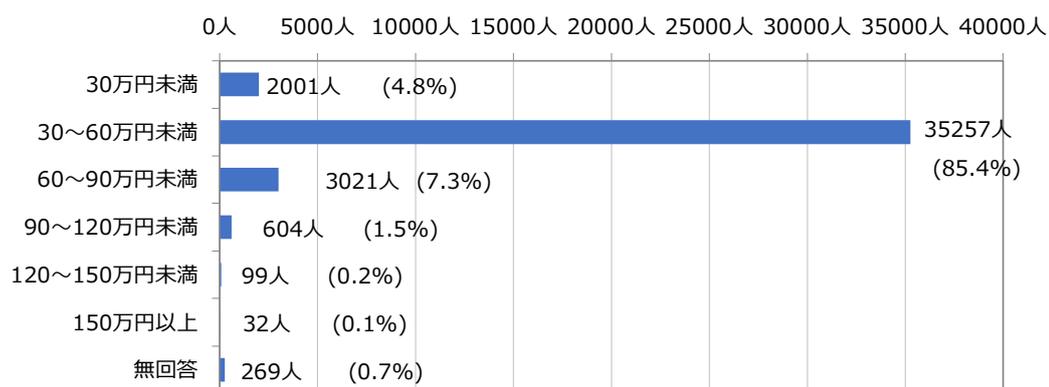
専攻分野別	全体	60万円未満	60～120万円未満	120～180万円未満	180～240万円未満	240万円以上	無回答
全体	435 (100.0%)	22 (5.1%)	68 (15.6%)	76 (17.5%)	108 (24.8%)	97 (22.3%)	64 (14.7%)
人文学	43 (100.0%)	4 (9.3%)	9 (20.9%)	10 (23.3%)	9 (20.9%)	7 (16.3%)	4 (9.3%)
社会科学	26 (100.0%)	1 (3.8%)	4 (15.4%)	5 (19.2%)	8 (30.8%)	1 (3.8%)	7 (26.9%)
理学	70 (100.0%)	3 (4.3%)	10 (14.3%)	15 (21.4%)	21 (30.0%)	13 (18.6%)	8 (11.4%)
工学	143 (100.0%)	8 (5.6%)	29 (20.3%)	26 (18.2%)	27 (18.9%)	30 (21.0%)	23 (16.1%)
農学	20 (100.0%)	0 (0.0%)	3 (15.0%)	2 (10.0%)	9 (45.0%)	6 (30.0%)	0 (0.0%)
保健	81 (100.0%)	0 (0.0%)	8 (9.9%)	10 (12.3%)	17 (21.0%)	32 (39.5%)	14 (17.3%)
家政	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)
教育	10 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (30.0%)	4 (40.0%)	2 (20.0%)	1 (10.0%)
美術	3 (100.0%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)
その他	35 (100.0%)	4 (11.4%)	5 (14.3%)	4 (11.4%)	11 (31.4%)	5 (14.3%)	6 (17.1%)
無回答	2 (100.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

2-8-2 授業料の減免について

(1)年間授業料

年間授業料については、全体の8割超(85.4%)が「30～60万円未満」との回答である。学生種別でみると、「150万円以上」の回答は社会人学生に集中している。

図表 2-79 年間授業料（全体）：n=41,283



図表 2-80 年間授業料（学生種別）

学生種別	全体	30万円未満	30～60万円未満	60～90万円未満	90～120万円未満	120～150万円未満	150万円以上	無回答
全体	41283 (100.0%)	2001 (4.8%)	35257 (85.4%)	3021 (7.3%)	604 (1.5%)	99 (0.2%)	32 (0.1%)	269 (0.7%)
課程学生	12173 (100.0%)	520 (4.3%)	10350 (85.0%)	989 (8.1%)	220 (1.8%)	24 (0.2%)	0 (0.0%)	70 (0.6%)
社会人学生	9751 (100.0%)	713 (7.3%)	7561 (77.5%)	1167 (12.0%)	203 (2.1%)	46 (0.5%)	31 (0.3%)	30 (0.3%)
留学生	8225 (100.0%)	495 (6.0%)	7095 (86.3%)	358 (4.4%)	100 (1.2%)	15 (0.2%)	0 (0.0%)	162 (2.0%)
社会人・留学生	1010 (100.0%)	85 (8.4%)	849 (84.1%)	46 (4.6%)	18 (1.8%)	6 (0.6%)	1 (0.1%)	5 (0.5%)
不明	10124 (100.0%)	188 (1.9%)	9402 (92.9%)	461 (4.6%)	63 (0.6%)	8 (0.1%)	0 (0.0%)	2 (0.0%)

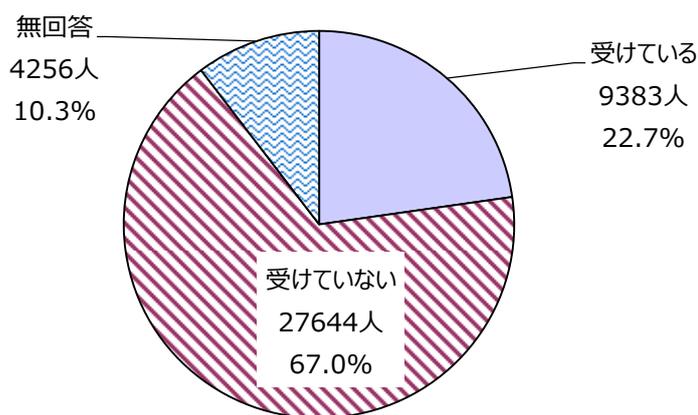
図表 2-81 年間授業料（専攻分野別）

専攻分野別	全体	30万円未満	30～60万円未満	60～90万円未満	90～120万円未満	120～150万円未満	150万円以上	無回答
全体	41283 (100.0%)	2001 (4.8%)	35257 (85.4%)	3021 (7.3%)	604 (1.5%)	99 (0.2%)	32 (0.1%)	269 (0.7%)
人文科学	3278 (100.0%)	214 (6.5%)	2617 (79.8%)	434 (13.2%)	11 (0.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (0.1%)
社会科学	3035 (100.0%)	232 (7.6%)	2301 (75.8%)	395 (13.0%)	73 (2.4%)	22 (0.7%)	0 (0.0%)	12 (0.4%)
理学	3341 (100.0%)	322 (9.6%)	2818 (84.3%)	132 (4.0%)	45 (1.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	24 (0.7%)
工学	9434 (100.0%)	307 (3.3%)	8500 (90.1%)	334 (3.5%)	186 (2.0%)	8 (0.1%)	0 (0.0%)	99 (1.0%)
農学	1708 (100.0%)	128 (7.5%)	1437 (84.1%)	121 (7.1%)	7 (0.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	15 (0.9%)
保健	14343 (100.0%)	473 (3.3%)	12389 (86.4%)	1196 (8.3%)	209 (1.5%)	51 (0.4%)	0 (0.0%)	25 (0.2%)
家政	109 (100.0%)	2 (1.8%)	32 (29.4%)	72 (66.1%)	3 (2.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
教育	1144 (100.0%)	74 (6.5%)	978 (85.5%)	84 (7.3%)	3 (0.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (0.4%)
美術	217 (100.0%)	15 (6.9%)	103 (47.5%)	19 (8.8%)	66 (30.4%)	12 (5.5%)	0 (0.0%)	2 (0.9%)
その他	4583 (100.0%)	234 (5.1%)	4073 (88.9%)	234 (5.1%)	1 (0.0%)	6 (0.1%)	32 (0.7%)	3 (0.1%)
無回答	91 (100.0%)	0 (0.0%)	9 (9.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	82 (90.1%)

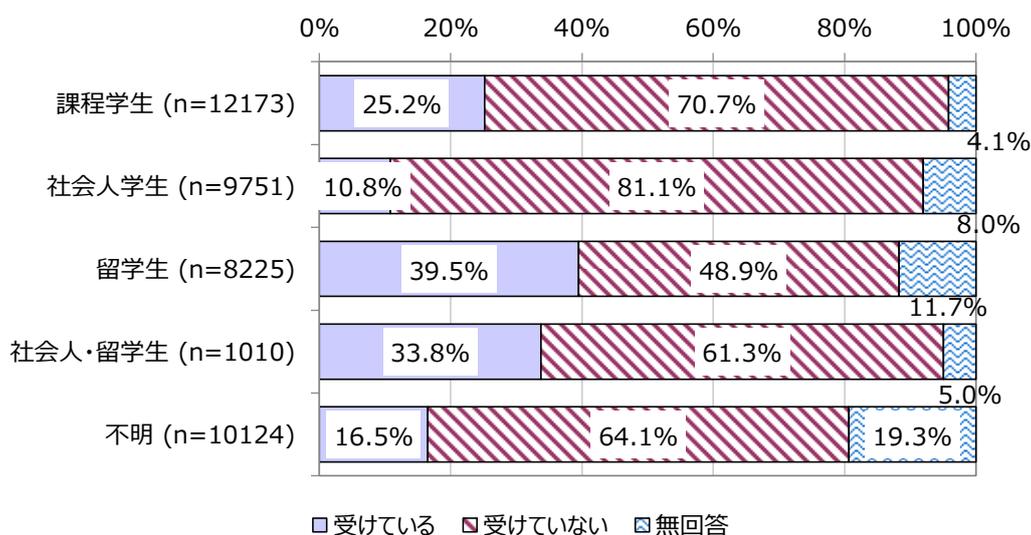
(2)授業料等の減免の有無

平成30年度の授業料等の減免の有無については、「受けていない」が67.0%で、「受けている」(22.7%)より割合が高い。

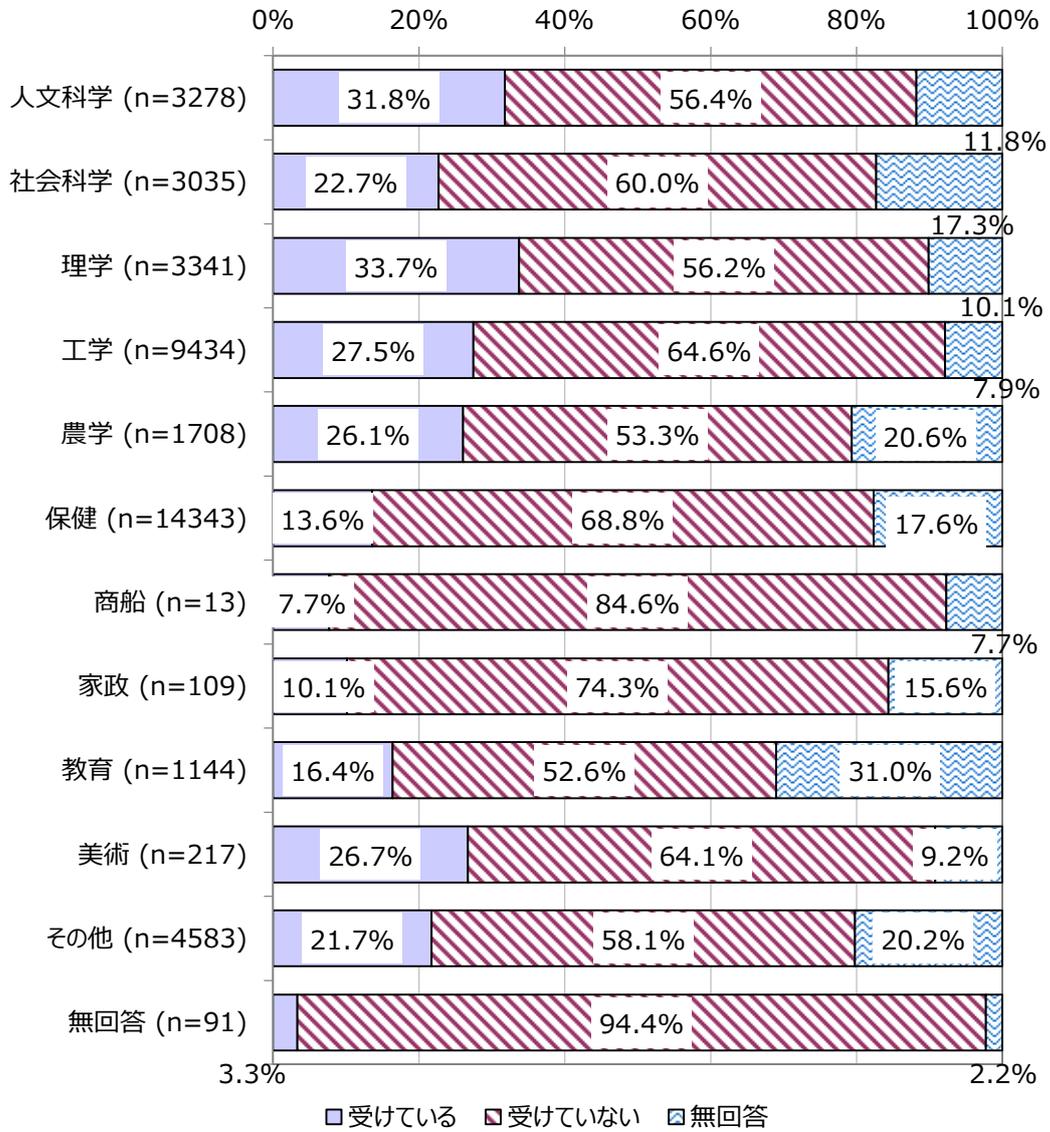
図表 2-82 授業料等の減免の有無 (全体) : n=41,283



図表 2-83 授業料等の減免の有無 (学生種別)



図表 2-84 授業料等の減免の有無（専攻分野別）

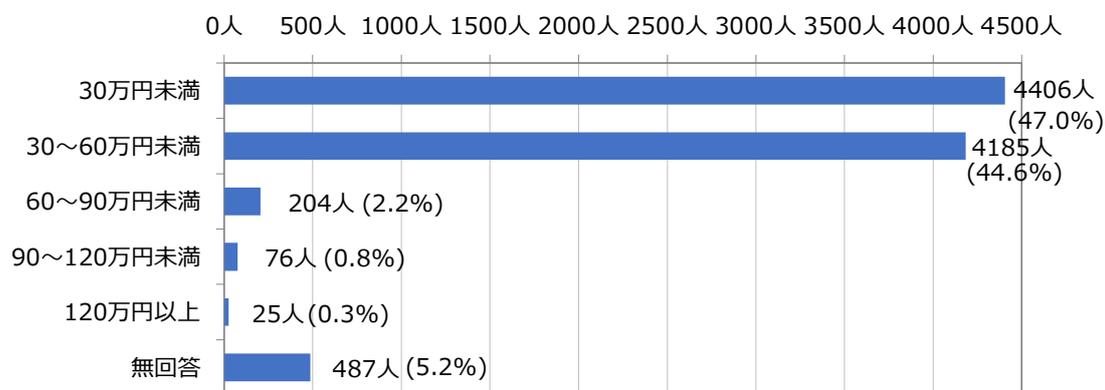


(3) 1年間の授業料等の減免額

1年間の授業料等の減免額については、「30～60万円未満」が約半数（44.6%）であり、次いで「30万円未満」が47.0%となっている。一方、「120万円以上」の回答は全体の0.3%にとどまっている。

図表 2-85 1年間の授業料等の減免額（全体）：n=9,383

（授業料減免を受けている人のみ）



図表 2-86 1年間の授業料等の減免額（学生種別）

（授業料減免を受けている人のみ）

学生種別	全体	30万円未満	30～60万円未満	60～90万円未満	90～120万円未満	120万円以上	無回答
全体	9383 (100.0%)	4406 (47.0%)	4185 (44.6%)	204 (2.2%)	76 (0.8%)	25 (0.3%)	487 (5.2%)
課程学生	3064 (100.0%)	1132 (36.9%)	1597 (52.1%)	76 (2.5%)	37 (1.2%)	11 (0.4%)	211 (6.9%)
社会人学生	1057 (100.0%)	352 (33.3%)	593 (56.1%)	37 (3.5%)	22 (2.1%)	3 (0.3%)	50 (4.7%)
留学生	3246 (100.0%)	1805 (55.6%)	1166 (35.9%)	57 (1.8%)	10 (0.3%)	11 (0.3%)	197 (6.1%)
社会人・留学生	341 (100.0%)	192 (56.3%)	100 (29.3%)	16 (4.7%)	5 (1.5%)	0 (0.0%)	28 (8.2%)
不明	1675 (100.0%)	925 (55.2%)	729 (43.5%)	18 (1.1%)	2 (0.1%)	0 (0.0%)	1 (0.1%)

図表 2-87 1年間の授業料等の減免額（専攻分野別）

（授業料減免を受けている人のみ）

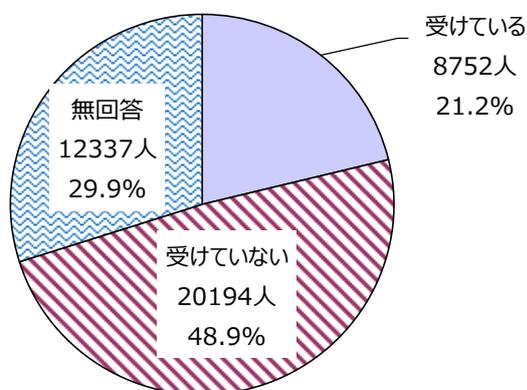
専攻分野別	全体	30万円未満	30～60万円未満	60～90万円未満	90～120万円未満	120万円以上	無回答
全体	9383 (100.0%)	4406 (39.7%)	4185 (48.4%)	204 (2.9%)	76 (1.2%)	25 (0.4%)	487 (7.4%)
人文科学	967 (100.0%)	480 (45.0%)	443 (48.8%)	21 (2.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	23 (3.3%)
社会科学	728 (100.0%)	348 (40.6%)	323 (48.9%)	30 (5.3%)	7 (1.7%)	9 (1.7%)	11 (1.7%)
理学	1144 (100.0%)	535 (34.9%)	514 (53.8%)	14 (1.6%)	6 (0.7%)	1 (0.1%)	74 (8.9%)
工学	2791 (100.0%)	1380 (44.6%)	1249 (46.7%)	49 (2.6%)	36 (2.0%)	9 (0.5%)	68 (3.7%)
農学	455 (100.0%)	242 (40.6%)	182 (49.5%)	8 (2.6%)	8 (2.6%)	4 (1.3%)	11 (3.5%)
保健	1940 (100.0%)	749 (35.2%)	885 (45.2%)	58 (3.2%)	7 (0.5%)	2 (0.1%)	239 (15.7%)
家政	11 (100.0%)	8 (72.7%)	3 (27.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
教育	199 (100.0%)	98 (34.9%)	85 (52.7%)	7 (5.4%)	3 (2.3%)	0 (0.0%)	6 (4.7%)
美術	58 (100.0%)	19 (32.8%)	29 (50.0%)	1 (1.7%)	3 (5.2%)	0 (0.0%)	6 (10.3%)
その他	1087 (100.0%)	545 (36.8%)	472 (52.1%)	15 (2.4%)	6 (1.0%)	0 (0.0%)	49 (7.8%)
無回答	3 (100.0%)	2 (66.7%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

2-8-3 その他の経済的支援について

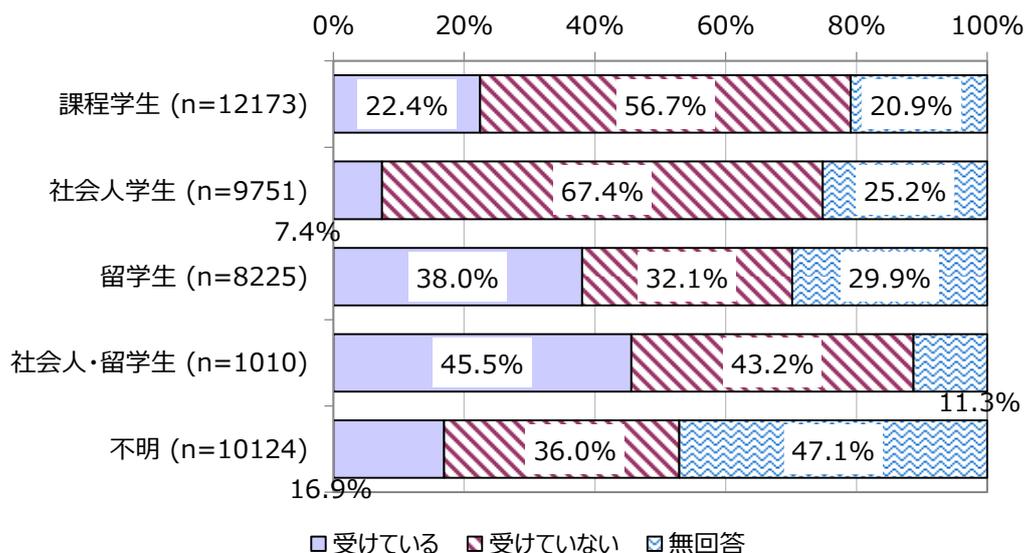
(1) 「給与・謝金の受給」、「日本学生支援機構の奨学金」、「授業料等の減免」以外の経済的支援の有無

平成 30 年度における「給与・謝金の受給」、「日本学生支援機構の奨学金」、「授業料等の減免」以外の経済的支援（以下、その他の経済的支援）の有無については、「受けている」が 21.2%、「受けていない」が 48.9%であり、受けていない者の方が割合が高い。

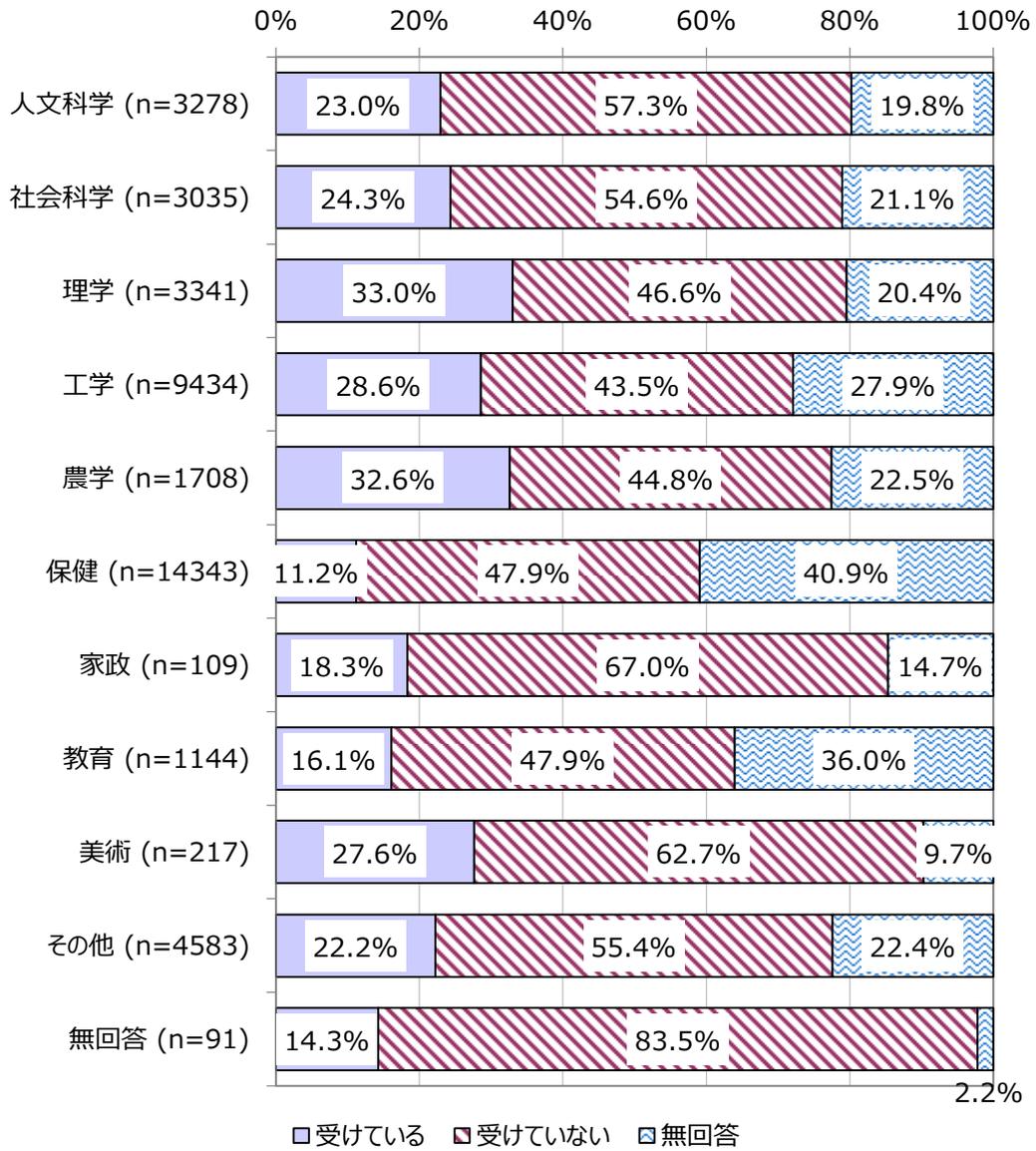
図表 2-88 その他の経済的支援の有無（全体）：n=41,283



図表 2-89 その他の経済的支援の有無（学生種別）



図表 2-90 その他の経済的支援の有無（専攻分野別）



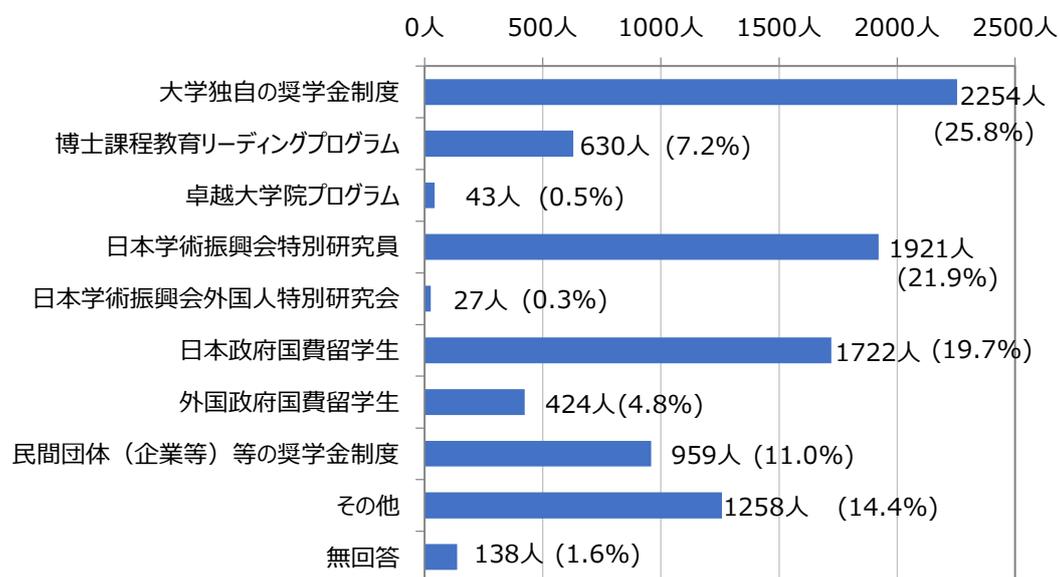
(2)受けていた経済的支援の内容

①受けていた経済的支援の種類

受けていた経済的支援の種類は、「大学独自の奨学金制度」が 25.8%と最も割合が高く、次いで「日本政府国費留学生」が 19.7%となっている。

図表 2-91 その他の経済的支援の種類（複数回答）（全体）：n=8,752

（その他の経済的支援を受けた人のみ）



図表 2-92 受けていた経済的支援（複数回答）（学生種別）

（その他の経済的支援を受けた人のみ）

学生種別	全体	大学独自の奨学金制度	博士課程教育リーディングプログラム	卓越大学院プログラム	日本学術振興会特別研究員	日本学術振興会外国人特別研究会	日本政府国費留学生	外国政府国費留学生	民間団体（企業等）等の奨学金制度	その他	無回答
全体	8752 (1.07)	2254 (25.8%)	630 (7.2%)	43 (0.5%)	1921 (21.9%)	27 (0.3%)	1722 (19.7%)	424 (4.8%)	959 (11.0%)	1258 (14.4%)	138 (1.6%)
課程学生	2731 (1.11)	792 (29.0%)	310 (11.4%)	11 (0.4%)	1087 (39.8%)	9 (0.3%)	9 (0.3%)	10 (0.4%)	280 (10.3%)	446 (16.3%)	65 (2.4%)
社会人学生	722 (1.07)	364 (50.4%)	23 (3.2%)	1 (0.1%)	109 (15.1%)	1 (0.1%)	3 (0.4%)	1 (0.1%)	72 (10.0%)	186 (25.8%)	10 (1.4%)
留学生	3126 (1.07)	661 (21.1%)	169 (5.4%)	14 (0.4%)	81 (2.6%)	12 (0.4%)	1231 (39.4%)	349 (11.2%)	499 (16.0%)	287 (9.2%)	49 (1.6%)
社会人・留学生	460 (1.04)	62 (13.5%)	14 (3.0%)	1 (0.2%)	9 (2.0%)	4 (0.9%)	236 (51.3%)	58 (12.6%)	36 (7.8%)	46 (10.0%)	11 (2.4%)
不明	1713 (1.03)	375 (21.9%)	114 (6.7%)	16 (0.9%)	635 (37.1%)	1 (0.1%)	243 (14.2%)	6 (0.4%)	72 (4.2%)	293 (17.1%)	3 (0.2%)

図表 2-93 受けていた経済的支援（複数回答）（専攻分野別）

（その他の経済的支援を受けた人のみ）

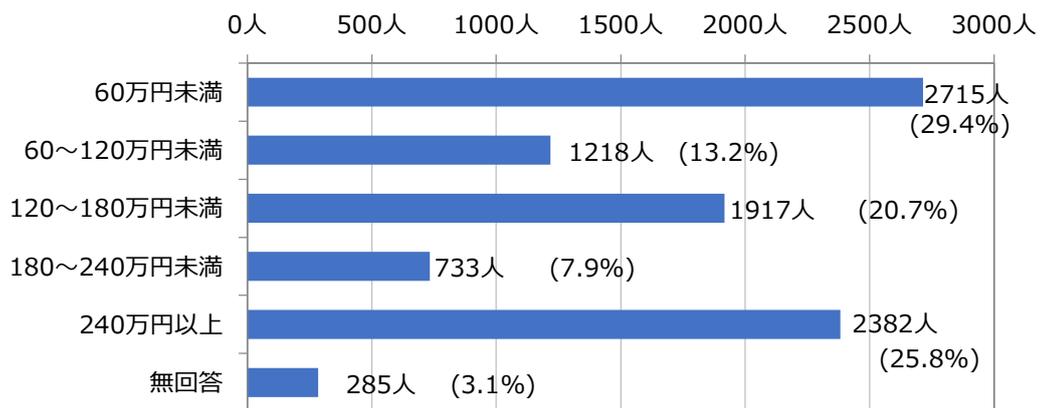
専攻分野別	全体	大学独自の奨学金制度	博士課程教育リーディングプログラム	卓越大学院プログラム	日本学術振興会特別研究員	日本学術振興会外国人特別研究会	日本政府国費留学生	外国政府国費留学生	民間団体（企業等）等の奨学金制度	その他	無回答
全体	8752 (1.07)	2254 (25.8%)	630 (7.2%)	43 (0.5%)	1921 (21.9%)	27 (0.3%)	1722 (19.7%)	424 (4.8%)	959 (11.0%)	1258 (14.4%)	138 (1.6%)
人文科学	753 (1.07)	305 (40.5%)	16 (2.1%)	0 (0.0%)	153 (20.3%)	1 (0.1%)	88 (11.7%)	26 (3.5%)	109 (14.5%)	94 (12.5%)	13 (1.7%)
社会科学	739 (1.09)	302 (40.9%)	28 (3.8%)	1 (0.1%)	121 (16.4%)	2 (0.3%)	116 (15.7%)	29 (3.9%)	104 (14.1%)	98 (13.3%)	7 (0.9%)
理学	1103 (1.06)	271 (24.6%)	106 (9.6%)	2 (0.2%)	436 (39.5%)	1 (0.1%)	132 (12.0%)	22 (2.0%)	82 (7.4%)	64 (5.8%)	49 (4.4%)
工学	2700 (1.07)	586 (21.7%)	237 (8.8%)	27 (1.0%)	574 (21.3%)	17 (0.6%)	778 (28.8%)	147 (5.4%)	267 (9.9%)	245 (9.1%)	17 (0.6%)
農学	557 (1.06)	57 (10.2%)	17 (3.1%)	0 (0.0%)	120 (21.5%)	4 (0.7%)	162 (29.1%)	28 (5.0%)	59 (10.6%)	140 (25.1%)	5 (0.9%)
保健	1605 (1.08)	472 (29.4%)	133 (8.3%)	10 (0.6%)	245 (15.3%)	1 (0.1%)	204 (12.7%)	57 (3.6%)	176 (11.0%)	408 (25.4%)	24 (1.5%)
家政	20 (1.00)	14 (70.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (5.0%)	0 (0.0%)	3 (15.0%)	1 (5.0%)	1 (5.0%)
教育	184 (1.11)	26 (14.1%)	22 (12.0%)	0 (0.0%)	62 (33.7%)	0 (0.0%)	10 (5.4%)	6 (3.3%)	18 (9.8%)	54 (29.3%)	7 (3.8%)
美術	60 (1.08)	21 (35.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (5.0%)	0 (0.0%)	3 (5.0%)	2 (3.3%)	24 (40.0%)	11 (18.3%)	1 (1.7%)
その他	1018 (1.06)	192 (18.9%)	70 (6.9%)	3 (0.3%)	205 (20.1%)	1 (0.1%)	227 (22.3%)	106 (10.4%)	114 (11.2%)	143 (14.0%)	14 (1.4%)
無回答	13 (1.23)	8 (61.5%)	1 (7.7%)	0 (0.0%)	2 (15.4%)	0 (0.0%)	1 (7.7%)	1 (7.7%)	3 (23.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

②年間受給額（制度別）

制度別の年間受給額については、最も多い回答が「60万円未満」の29.4%、次いで「120～180万円未満」の20.7%となっている。

図表 2-94 年間受給額（全体）：n=9,250（延べ数）

（その他の経済的支援を受けた人のみ）



図表 2-95 年間受給額（学生種別）（延べ数）

（その他の経済的支援を受けた人のみ）

学生種別	全体	60万円未満	60～120万円未満	120～180万円未満	180～240万円未満	240万円以上	無回答
全体	9250 (100.0%)	2715 (29.4%)	1218 (13.2%)	1917 (20.7%)	733 (7.9%)	2382 (25.8%)	285 (3.1%)
課程学生	2956 (100.0%)	957 (32.4%)	393 (13.3%)	142 (4.8%)	172 (5.8%)	1236 (41.8%)	56 (1.9%)
社会人学生	762 (100.0%)	463 (60.8%)	98 (12.9%)	37 (4.9%)	12 (1.6%)	120 (15.7%)	32 (4.2%)
留学生	3309 (100.0%)	719 (21.7%)	502 (15.2%)	1236 (37.4%)	431 (13.0%)	241 (7.3%)	180 (5.4%)
社会人・留学生	468 (100.0%)	63 (13.5%)	58 (12.4%)	238 (50.9%)	60 (12.8%)	37 (7.9%)	12 (2.6%)
不明	1755 (100.0%)	513 (29.2%)	167 (9.5%)	264 (15.0%)	58 (3.3%)	748 (42.6%)	5 (0.3%)

図表 2-96 年間受給額（専攻分野別）（延べ数）

（その他の経済的支援を受けた人のみ）

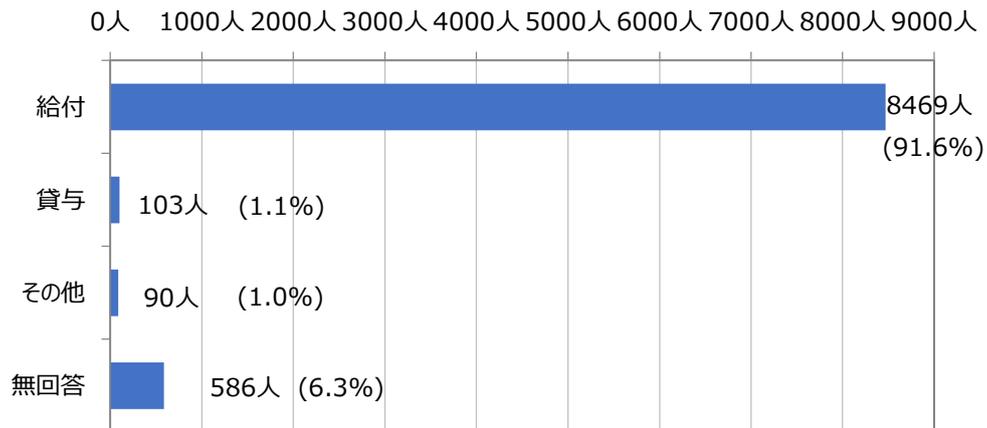
専攻分野別	全体	60万円未満	60～120万円未満	120～180万円未満	180～240万円未満	240万円以上	無回答
全体	9250 (100.0%)	2715 (29.4%)	1218 (13.2%)	1917 (20.7%)	733 (7.9%)	2382 (25.8%)	285 (3.1%)
人文科学	792 (100.0%)	332 (41.9%)	83 (10.5%)	143 (18.1%)	56 (7.1%)	163 (20.6%)	15 (1.9%)
社会科学	803 (100.0%)	316 (39.4%)	101 (12.6%)	160 (19.9%)	42 (5.2%)	157 (19.6%)	27 (3.4%)
理学	1116 (100.0%)	248 (22.2%)	92 (8.2%)	154 (13.8%)	90 (8.1%)	524 (47.0%)	8 (0.7%)
工学	2882 (100.0%)	635 (22.0%)	407 (14.1%)	762 (26.4%)	249 (8.6%)	762 (26.4%)	67 (2.3%)
農学	588 (100.0%)	177 (30.1%)	56 (9.5%)	174 (29.6%)	32 (5.4%)	129 (21.9%)	20 (3.4%)
保健	1709 (100.0%)	655 (38.3%)	268 (15.7%)	260 (15.2%)	168 (9.8%)	295 (17.3%)	63 (3.7%)
家政	20 (100.0%)	6 (30.0%)	7 (35.0%)	4 (20.0%)	1 (5.0%)	0 (0.0%)	2 (10.0%)
教育	198 (100.0%)	68 (34.3%)	23 (11.6%)	15 (7.6%)	11 (5.6%)	76 (38.4%)	5 (2.5%)
美術	64 (100.0%)	26 (40.6%)	16 (25.0%)	12 (18.8%)	2 (3.1%)	6 (9.4%)	2 (3.1%)
その他	1062 (100.0%)	245 (23.1%)	163 (15.3%)	232 (21.8%)	80 (7.5%)	269 (25.3%)	73 (6.9%)
無回答	16 (100.0%)	7 (43.8%)	2 (12.5%)	1 (6.3%)	2 (12.5%)	1 (6.3%)	3 (18.8%)

③給付・貸与の区別（制度別）

制度別の給付・貸与の区別については「給付」が91.6%となっており、「貸与」（1.1%）、「その他」（1.0%）を大幅に上回っている。

図表 2-97 給付・貸与（全体）：n=9,248（延べ数）

（その他の経済的支援を受けた人のみ）



図表 2-98 給付・貸与（学生種別）（延べ数）

（その他の経済的支援を受けた人のみ）

学生種別	全体	給付	貸与	その他	無回答
全体	9248 (100.0%)	8469 (91.6%)	103 (1.1%)	90 (1.0%)	586 (6.3%)
課程学生	2956 (100.0%)	2821 (95.4%)	56 (1.9%)	25 (0.8%)	54 (1.8%)
社会人学生	762 (100.0%)	671 (88.1%)	36 (4.7%)	22 (2.9%)	33 (4.3%)
留学生	3308 (100.0%)	2886 (87.2%)	7 (0.2%)	27 (0.8%)	388 (11.7%)
社会人・留学生	467 (100.0%)	342 (73.2%)	3 (0.6%)	15 (3.2%)	107 (22.9%)
不明	1755 (100.0%)	1749 (99.7%)	1 (0.1%)	1 (0.1%)	4 (0.2%)

図表 2-99 給付・貸与（専攻分野別）（延べ数）

（その他の経済的支援を受けた人のみ）

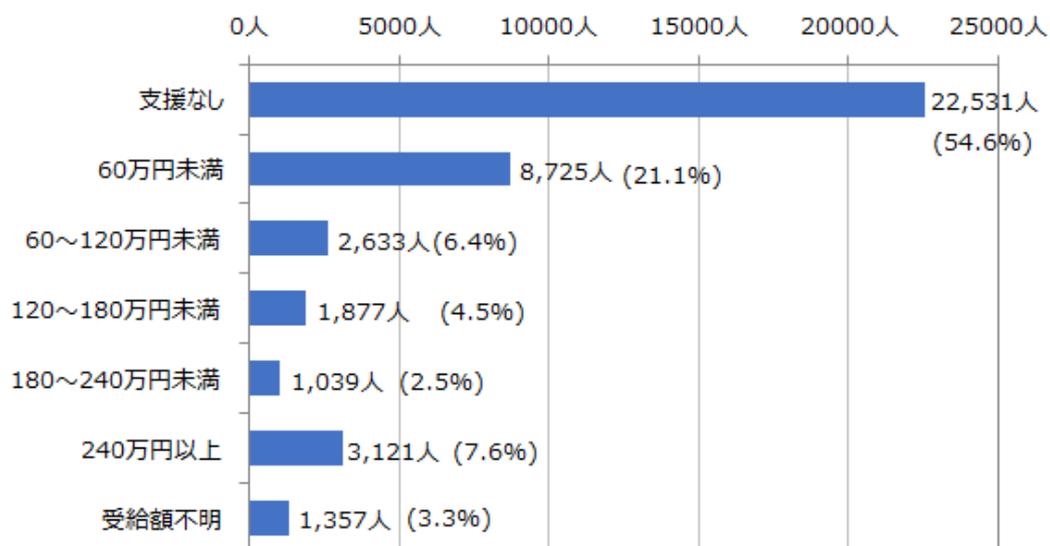
専攻分野別	全体	給付	貸与	その他	無回答
全体	9248 (100.0%)	8469 (91.6%)	103 (1.1%)	90 (1.0%)	586 (6.3%)
人文科学	794 (100.0%)	749 (94.3%)	4 (0.5%)	6 (0.8%)	35 (4.4%)
社会科学	802 (100.0%)	748 (93.3%)	4 (0.5%)	7 (0.9%)	43 (5.4%)
理学	1116 (100.0%)	1067 (95.6%)	8 (0.7%)	4 (0.4%)	37 (3.3%)
工学	2883 (100.0%)	2671 (92.6%)	22 (0.8%)	29 (1.0%)	161 (5.6%)
農学	588 (100.0%)	525 (89.3%)	4 (0.7%)	7 (1.2%)	52 (8.8%)
保健	1706 (100.0%)	1505 (88.2%)	53 (3.1%)	20 (1.2%)	128 (7.5%)
家政	19 (100.0%)	17 (89.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (10.5%)
教育	198 (100.0%)	191 (96.5%)	1 (0.5%)	1 (0.5%)	5 (2.5%)
美術	64 (100.0%)	58 (90.6%)	2 (3.1%)	1 (1.6%)	3 (4.7%)
その他	1062 (100.0%)	926 (87.2%)	5 (0.5%)	14 (1.3%)	117 (11.0%)
無回答	16 (100.0%)	12 (75.0%)	0 (0.0%)	1 (6.3%)	3 (18.8%)

2-9 一人当たりの総受給額（貸与型奨学金除く）

TA・RA、授業料減免、その他経済的支援（給付型）の経済的支援の一人当たりの総受給額についてみる。ここでは貸与型奨学金は除き、日本学生支援機構の奨学金返還免除額（1年あたり）は含まれる。

その結果、「支援なし」が54.6%と最も割合が高く、次いで「60万円未満」が21.1%となっている。

図表 2-100 経済的支援（貸与型奨学金除く。日本学生支援機構の奨学金返還免除額は含む）の一人当たりの総受給額（全体）：n=41,283



※回答から漏れていた特別研究員（DC）の受給者が「受給なし」に分類されていたため、実際は年間240万円を受給しているものと仮定して、回収率を考慮しつつ補正している。

※日本学生支援機構の奨学金返還免除額は、返還免除額を貸与年数で除して年額換算している。

図表 2-1001 経済的支援（貸与型奨学金除く。日本学生支援機構の奨学金返還免除額は含む）の一人当たりの総受給額（学生種別）

学生種別	全体	支援なし	60万円未満	60～120万円未満	120～180万円未満	180～240万円未満	240万円以上	受給額不明
全体	41283 (100.0%)	22837 (55.3%)	8725 (21.1%)	2633 (6.4%)	1877 (4.5%)	1039 (2.5%)	2815 (6.8%)	1357 (3.3%)
課程学生	12173 (100.0%)	5613 (46.1%)	3021 (24.8%)	1043 (8.6%)	414 (3.4%)	236 (1.9%)	1367 (11.2%)	479 (3.9%)
社会人学生	9751 (100.0%)	7375 (75.6%)	1492 (15.3%)	321 (3.3%)	80 (0.8%)	34 (0.3%)	137 (1.4%)	312 (3.2%)
留学生	8225 (100.0%)	2880 (35.0%)	2160 (26.3%)	812 (9.9%)	909 (11.1%)	602 (7.3%)	485 (5.9%)	377 (4.6%)
社会人・留学生	1010 (100.0%)	349 (34.6%)	246 (24.4%)	91 (9.0%)	161 (15.9%)	76 (7.5%)	45 (4.5%)	42 (4.2%)
不明	10124 (100.0%)	6620 (65.4%)	1806 (17.8%)	366 (3.6%)	313 (3.1%)	91 (0.9%)	781 (7.7%)	147 (1.5%)

※日本学生支援機構の奨学金返還免除額は、返還免除額を貸与年数で除して年額換算している。

図表 2-1012 経済的支援（貸与型奨学金除く。日本学生支援機構の奨学金返還免除額は含む）の一人当たりの総受給額（専攻分野種別）

専攻分野別	全体	支援なし	60万円未満	60～120万円未満	120～180万円未満	180～240万円未満	240万円以上	受給額不明
全体	41283 (100.0%)	22837 (55.3%)	8725 (21.1%)	2633 (6.4%)	1877 (4.5%)	1039 (2.5%)	2815 (6.8%)	1357 (3.3%)
人文科学	3278 (100.0%)	1571 (47.9%)	1027 (31.3%)	191 (5.8%)	131 (4.0%)	87 (2.7%)	173 (5.3%)	98 (3.0%)
社会科学	3035 (100.0%)	1568 (51.7%)	756 (24.9%)	219 (7.2%)	145 (4.8%)	70 (2.3%)	196 (6.5%)	81 (2.7%)
理学	3341 (100.0%)	1140 (34.1%)	779 (23.3%)	300 (9.0%)	191 (5.7%)	133 (4.0%)	647 (19.4%)	151 (4.5%)
工学	9434 (100.0%)	4337 (46.0%)	2046 (21.7%)	855 (9.1%)	782 (8.3%)	355 (3.8%)	898 (9.5%)	161 (1.7%)
農学	1708 (100.0%)	670 (39.2%)	483 (28.3%)	170 (10.0%)	129 (7.6%)	69 (4.0%)	142 (8.3%)	45 (2.6%)
保健	14343 (100.0%)	10036 (70.0%)	2301 (16.0%)	562 (3.9%)	276 (1.9%)	186 (1.3%)	376 (2.6%)	606 (4.2%)
家政	109 (100.0%)	65 (59.6%)	20 (18.3%)	10 (9.2%)	3 (2.8%)	2 (1.8%)	0 (0.0%)	9 (8.3%)
教育	1144 (100.0%)	749 (65.5%)	205 (17.9%)	47 (4.1%)	20 (1.7%)	16 (1.4%)	81 (7.1%)	26 (2.3%)
美術	217 (100.0%)	85 (39.2%)	71 (32.7%)	25 (11.5%)	10 (4.6%)	7 (3.2%)	5 (2.3%)	14 (6.5%)
その他	4583 (100.0%)	2583 (56.4%)	994 (21.7%)	247 (5.4%)	186 (4.1%)	112 (2.4%)	296 (6.5%)	165 (3.6%)
無回答	91 (100.0%)	33 (36.3%)	43 (47.3%)	7 (7.7%)	4 (4.4%)	2 (2.2%)	1 (1.1%)	1 (1.1%)

※日本学生支援機構の奨学金返還免除額は、返還免除額を貸与年数で除して年額換算している。

参考資料

- ・ 調査実施の手引き
- ・ 学校調査票
- ・ 学生調査票

令和元年度
博士課程学生の経済的支援状況に係る調査研究
調査実施の手引き

【目次】

0. はじめに	1
1. 調査の目的と概要	2
2. 調査方法	3
3. Q&A	8

令和元年 12 月



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

※本調査は文部科学省から委託を受け、株式会社リベルタス・コンサルティングが実施します。

0. はじめに

1. 本メールから調査票等のファイルを取得されましたら、受領確認のメールをお送りください。

調査票等のファイルを取得されましたら、直ちに、受領確認の電子メールをお送りください。

送信先メールアドレス : **doctoral@libertas.co.jp**
送信メールの件名 : **(大学番号)【受領確認】〇〇大学** (※)
(※)メール件名の「大学番号」は、回答票のシート「番号」により記載してください。
送信メールの本文 : 以下の内容を明記してください。
大学名、担当部署、担当者氏名、連絡先(電話番号、メールアドレス)
送信期限 : **令和2年1月10日(金) 17時** (※)
(※)期限までに御連絡いただけない場合は、確認のため、御連絡させていただきます。

2. 回答票は、令和2年2月14日(金)までに、電子メールにて御提出ください。

回答は、以下の要領により御提出ください。

提出先メールアドレス : **doctoral@libertas.co.jp**
提出メールの件名 : **(大学番号)【回答】〇〇大学** (※)
提出ファイル名 : **(大学番号)〇〇大学** (※)
(※)メール件名、提出ファイル名の「大学番号」は、回答票のシート「番号」により記載してください。
提出期限 : **令和2年2月14日(金) 17時** (※)
(※)期限までに御連絡いただけない場合は、確認のため、御連絡させていただきます。

3. お問い合わせは電子メールでお願いします。

本調査に関するお問い合わせは、以下のメールアドレスまで御連絡ください。1週間以内に御回答いたします。

質問用メールアドレス : **doctoral@libertas.co.jp**
質問メールの件名 : **(大学番号)【質問】〇〇大学** (※)
(※)メール件名の「大学番号」は、回答票のシート「番号」により記載してください。

1. 調査の目的と概要

(1) 調査背景

大学院教育の実質化、国際的な通用性・信頼性の向上、グローバルに活躍する博士の養成等に取り組むため、文部科学省は「大学院教育振興施策要綱」を平成18年度に、「第2次大学院教育振興施策要綱」を平成23年度に、「第3次大学院教育振興施策要綱」を平成28年度に策定し、各種制度改革や優れた取組への財政的支援等を行ってきました。

また、平成31年1月には、中央教育審議会大学分科会において「2040年を見据えた大学院教育のあるべき姿～社会を先導する人材の育成に向けた体質改善の方策～」(審議まとめ)が取りまとめられました。本審議まとめにおいて示されているとおり、「知のプロフェッショナル」を育成するためには、大学院(とりわけ博士後期課程)を志望する優秀な人材を増やすことが重要です。中でも、「第5期科学技術基本計画」(平成28年1月閣議決定)においても「博士課程(後期)在籍者の2割程度が生活費相当程度を受給できることを目指す。」とされているとおり、優秀な学生が適切な経済的支援を受けられるようにするため、様々な手法を通じた支援が必要となっています。

そこで、本調査では、博士課程学生の経済的支援状況を調査し把握します。データの集計に加え、我が国における博士課程学生の経済的支援策につなげていくため、現状及び要因の分析を得ることを目的としています。

なお、本調査研究の成果については、中央教育審議会大学分科会大学院部会等における議論の材料として活用する予定です。

(2) 調査概要

博士課程学生が受給する経済的支援について、個人の財源別受給額及び総額、大学からの支給額、TA・RA雇用の状況などを調査します。平成25年度、平成28年度に各大学に対し、「博士課程学生の経済的支援状況と進路実態に係る調査研究」を行っており、本調査はその継続調査になります。過去調査において、財源別の経済的支援の状況等について把握されていますが、本調査では最新の状況を把握します。

(3) 実施主体

本調査は、文部科学省高等教育局大学振興課からの委託を受け、先導的・大学改革推進委託事業[※]による調査研究の1テーマとして、株式会社リベルタス・コンサルティングに調査委託を行い、実施します。

※ http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/itaku/index.htm 参照

2. 調査方法

(1) 調査対象

博士課程を設置する国公立大学において、平成 30 年度に在籍していた全ての博士課程の学生(現時点で既に博士課程を修了している/いわゆる「満期退学」した方も含みます)を対象とします。

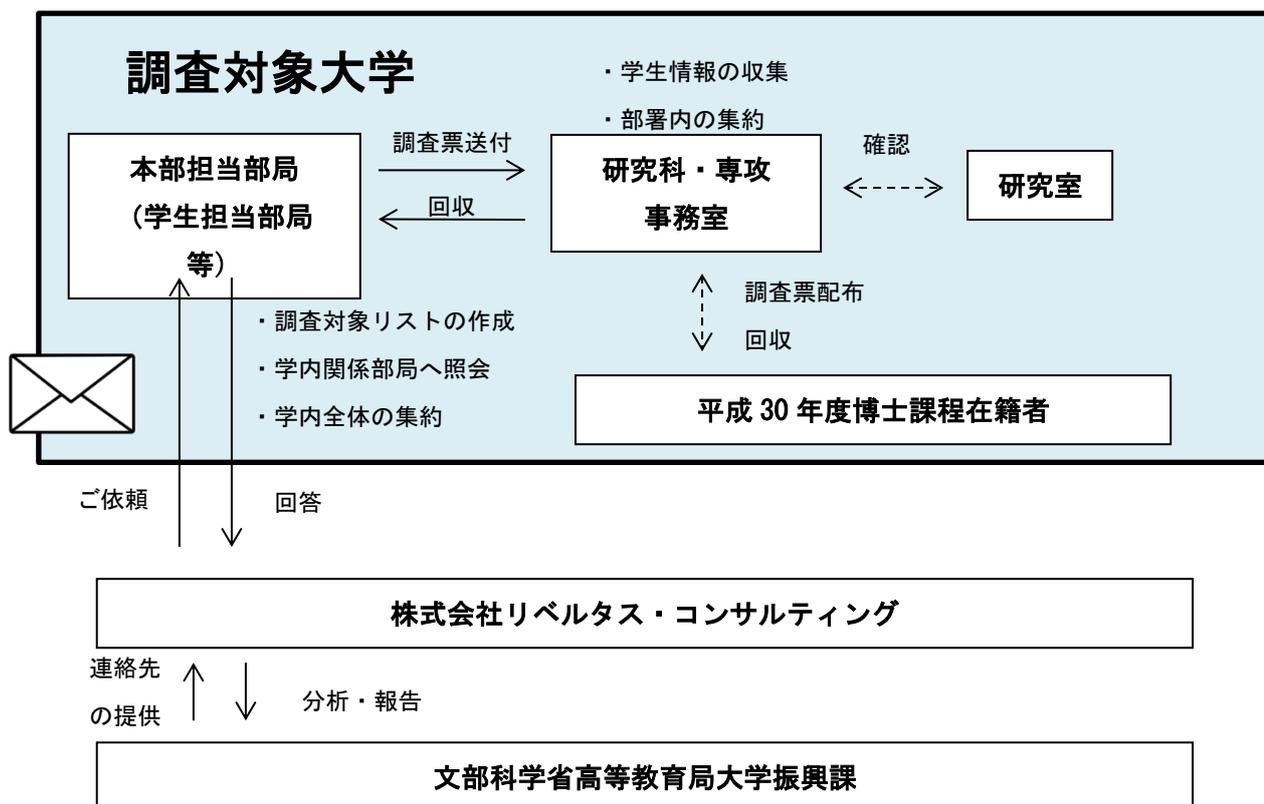
なお、博士課程とは、前期・後期に区分する博士課程の後期の課程(前期・後期の区分を設けない博士課程についてはこれに相当する3年間、医歯薬獣医学についてはこれに相当する4年間とする)をいいます。従って、修士課程の学生は調査の対象としません。

(2) 実施体制

本調査は、文部科学省の委託を受け、株式会社リベルタス・コンサルティングが調査対象大学に対して調査を依頼しております。各大学の学生担当部局が、対象学生(平成 30 年度博士課程在籍者)等と連絡を取り調査項目を把握し、同社に対して回答ください。

基本的な実施体制・フローは、下記の通りを想定していますが、学内における情報の把握・整理は、各大学の実情に合わせて行っていただくようお願いいたします。

<調査の実施フロー(イメージ)>



(3) 本調査の配布物

- 1) 調査の手引き(PDF ファイル ※本ファイルです)
- 2) 大学用調査ファイル(Excel ファイル)
- 3) 学生用調査ファイル(Excel ファイル)

- ・ 3) 学生用調査ファイルを平成 30 年度の博士課程の学生に配布し、回答してもらいます。
- ・ その結果を大学学生担当部局が集約・確認し、アンケート事務局（株式会社リベルタス・コンサルティング）に送付します。

(4) 調査の流れ

①学生用調査ファイル送付の準備

調査票の 1 ページ目に、「提出方法」、「提出期限」、「問い合わせ先」を入力してください（各学校の状況に合わせて、記載をお願いします）。

②調査票の送付

学生用調査票を、対象者（平成 30 年度に在籍していた全ての博士課程の学生（現時点で既に博士課程を修了している／いわゆる「満期退学」した方も含む））に配布してください。

なお、調査票は、メール等によりエクセルファイルを送付・回収することを想定しています。必要に応じて、印刷し紙での回収を行ってください。

③調査票の回収

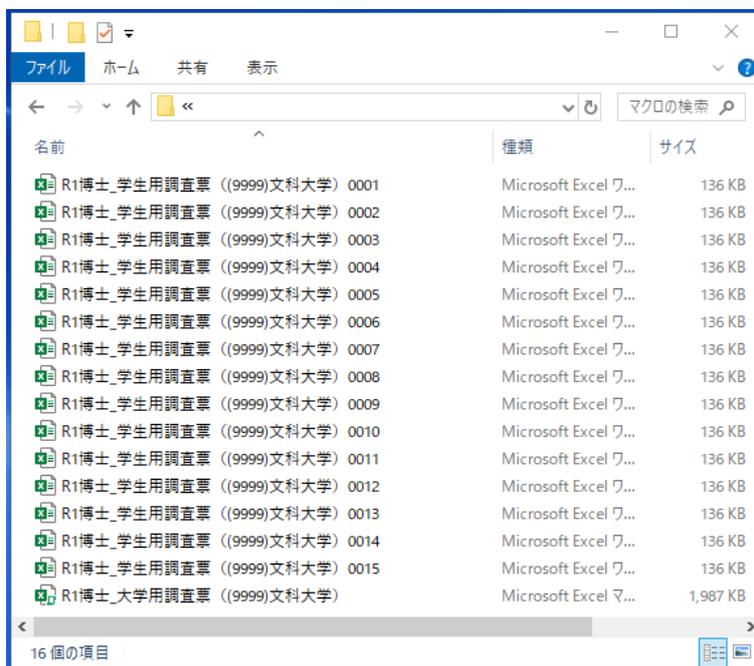
学生用調査票を、①で指定した提出期限までに大学学生担当部局で集めてください。

④学生の回答の集約

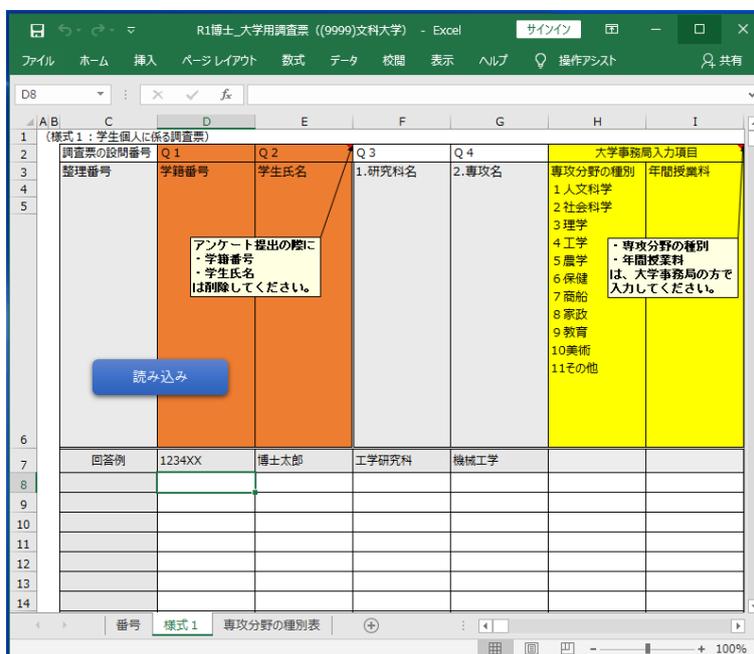
「学生用調査票」の回答を、「大学用調査票」に張り付けます。次ページの方法を用いて自動的に貼り付けることができます（全ての学生調査票の回収が終わってから、実施してください。）

■ 「学生の回答」を「大学全体の調査票」に張り付ける方法

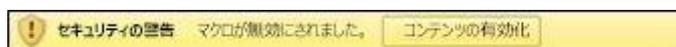
- 1) 学生から回収したすべての「学生用調査票」と、「大学用調査票」を同じフォルダに保存してください。(他の種類のファイルは一緒に保存しないでください。)



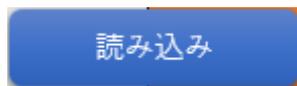
- 2) 「大学用調査票」を開きます（「様式 1」シートを表示します）。



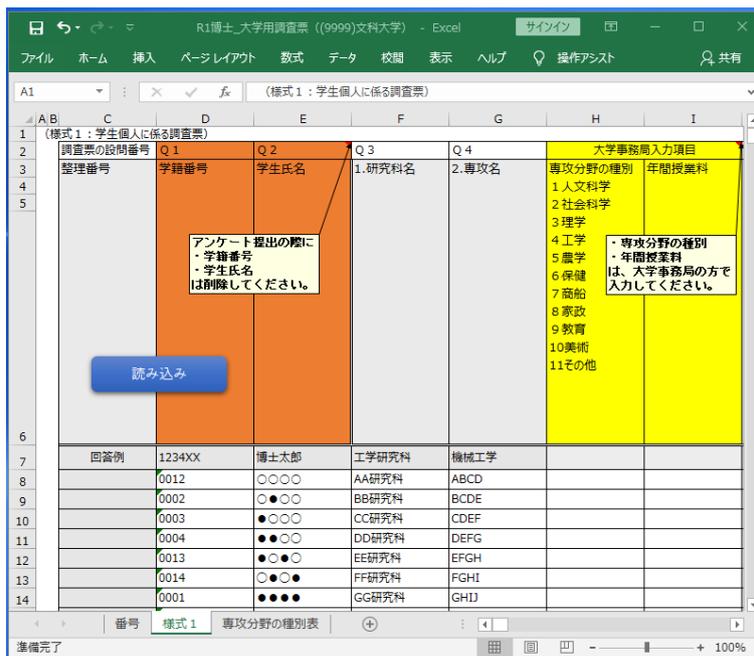
※黄色のメッセージバーが表示される場合は、「コンテンツの有効化」をクリックしてください。



3) 「読み込み」ボタンを押すと、「学生向け調査票」の読み込みが開始されます。



4) 全ての調査票の読み込みが終わると自動で停止します。



※ 2度以上に分けて調査票を読み込む場合

1度読み込んだ調査票は、「大学用調査票」と違うフォルダに移してください。

同じフォルダにある状態で、再度読み込んでしまうと、同じデータが2度読み込まれます。

⑤学生の回答内容に追記

集約した学生の回答（大学用調査票の様式1）に、下記の情報をご記入ください。

- ・H列：専攻分野の大分類種別（シート「専攻分野の種別」を参考にしてください）
- ・I列：平成30年度の1年間の授業料（減免等を含まない満額をご記入ください）

⑥学生の回答内容の確認

様式1に集約された学生の回答について、記載ミスがないかご確認をお願いします。特に、「TA・RAの実施状況（Q17～）」「経済的支援（奨学金、授業料減免等）（Q22～）」以降の質問について確認してください。

記載ミスがあった場合は、大学用調査票の様式1の回答を修正してください（学生用調査票の修正は不要です）。

⑦提出

- ・様式1の学籍番号、氏名を必ず消去してください。
- ・大学用調査票のファイル名を「(大学番号)【回答】〇〇大学」としてください。
※「大学番号」は、大学用調査票のシート「番号」により記載してください。
- ・御回答は、令和2年2月14日（金）17時までに下記メールアドレス宛てご返信ください。

調査票回答用紙ファイル御返信先 E-Mail アドレス: doctoral@libertas.co.jp

3. Q&A

(1) 調査対象について

①平成 30 年度より前に満期退学となり、その後平成 30 年度中に論文を提出して博士号を取得した場合は、平成 30 年度の「修了者」、あるいは「満期退学者」として扱うのでしょうか。

➤ 本調査は平成 30 年度に在籍していた全ての博士課程学生を対象とするものですので、平成 30 年度より前の満期退学等により平成 30 年度中に在籍関係のない学生については、平成 30 年度中の学位取得の有無に関わらず本調査の対象としません。

②博士課程に在籍せず博士号を取得する者（論文博士等）は、本調査の対象となりますか。

➤ 博士課程に在籍せず博士号を取得する者は、本調査の対象としません。

③専門職大学院に在籍する学生も、本調査の対象になりますか。

➤ 本調査の対象としません。

④当大学には博士課程がないのですが、この場合は、どのように対応したらよろしいのでしょうか。

➤ その場合には、メールにてその旨記載して返信をお願いします。

(2) 調査方法について

⑤学生用調査票で全ての項目を聴取しなければならないのでしょうか。

➤ すでに大学においてすべての項目を把握している場合は学生用調査票を使って聴取する必要はございません。各大学の必要に応じてお使いください。

⑥様式 0 の問い合わせ先に、アンケート事務局（㈱リベルタス・コンサルティング）の連絡先を書いてもよろしいでしょうか。

➤ 各大学での回収方法や期限、聴取項目等を把握できないため、原則として、学生からの問い合わせには各大学でご対応をお願いします。大学から一括でアンケート事務局（㈱リベルタス・コンサルティング）までお問い合わせをお願いいたします。

⑦データで調査票を提出しましたが、紙の調査票も提出しないとイケないのでしょうか。

➤ 紙の調査票を提出する必要はありません。

(3) 調査項目について

⑧ Q5 平成31年3月より後に、博士号を取得した場合は、どちらを選べばよろしいのでしょうか。

➤ 平成31年3月までに、学位を取得していなかった場合には、「学位なし」をお選びください。

⑨ Q7 博士課程在籍年数に休学期間は含まれますか。

➤ 休学期間は在籍年数に含めず、休学期間を除いた年数をご回答ください。

(4) その他

⑩集めた調査票の利用方法について教えてください。

➤ 調査票は原則として結果の集計・分析以外には使用しません。いただいた調査票を一般に公開することはありません。

以上

	1	2	3	4	5
調査票の設問番号 整理番号	Q 1 学籍番号	Q 2 学生氏名	Q 3 1.研究科名	Q 4 2.専攻名	Q 5 【平成30年度修了生のみ】 博士課程の学位の 取得有無《平成31 年度3月末時点》 1 学位あり 2 学位なし
				専攻分野の種別 1 人文科学 2 社会科学 3 理学 4 工学 5 農学 6 保健 7 商船 8 家政 9 教育 10 美術 11 その他	大学事務局入力項目 年間授業料
回答例	1234XX	博士太郎	工学研究科	機械工学	700000

読み込み

令和元年度博士課程学生の 経済的支援状況に係る調査研究



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

*****調査の目的と概要*****

本調査は、「第5期科学技術基本計画」(平成28年1月閣議決定)において「博士課程(後期)在籍者の2割程度が生活費相当程度を受給できることを目指す。」とされていることを受け、博士課程の学生の経済的支援の受給状況を把握すべく実施するものです。本調査により得られるデータは、今後の大学院支援策を検討するための基礎データとして活用していく予定です。

つきましては、ご多用中とは存じますが、調査票をご記入、ご提出いただきますようお願いいたします。

■ 提出方法

(各大学で提出方法を入力してください。)

■ 提出期限

(各大学で期限を設けて、入力してください。)

■ 問合せ先

(各大学での問合せ窓口を入力してください。)

■ 回答の仕方

回答欄に、回答を入力してください。選択式の設問では、回答をプルダウンで選んでください。設問番号及び、回答欄が灰色の設問は回答する必要はありません。

■ 個人情報の取り扱いについて

(1) 利用について

調査票は原則として結果の集計・分析以外には使用しません。収集したデータは統計的に処理され、個人が特定されるような情報は一切公開されません。

学籍番号、氏名は大学で調査票のとりまとめを行った後に削除しますので、事業者や文部科学省に伝わることはありません。

(2) 安全のための措置

文部科学省は、個人情報について、行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律、その他関係する法令に基づき、適切に取り扱うものとし、個人情報の漏えい、滅失又はき損の防止その他の個人情報の適切な管理のために必要な措置を講じるものとします。

※この調査は、文部科学省より委託を受けて株式会社リベルタス・コンサルティングが実施しております。

あなたについて、おたずねします。

Q1 あなたの学籍番号をお答えください。

Q2 あなたのお名前をお答えください。

Q3 あなたの研究科名をお答えください。

Q4 あなたの専攻名をお答えください。

Q5 平成30年度に博士課程を修了された方におたずねします。
あなたは、**平成31年3月末時点**で博士号を取得していましたか。該当する番号をお選びください。

1 学位あり	2 学位なし
--------	--------

回答はこちらに入力してください

Q6 平成30年度に博士課程を修了された方におたずねします。
あなたが学位を取得した月(満期退学者の方は、退学した月)をお答えください。

月

Q7 平成30年度末時点(修了者の方は修了時点)の博士課程(後期)の在籍期間は標準修業年限以内ですか。
※例えば、標準修業年限が3年の課程で、平成28年度入学の場合、平成30年度は在籍3年目のため、

1 標準修業年限以内	2 標準修業年限を超える
------------	--------------

回答はこちらに入力してください。

Q8 あなたは、留学生ですか。該当する番号をお選びください。
※「留学生」とは、日本の大学に留学する目的を持って入国した外国人学生のことです。すなわち、出入国管理及び難民認定法第2条の2別表第1条の4に定める「留学」による在留資格によって入国した者のことです。なお、同法における他の在留資格によって入国し、その後所定の手続きを経て上記に定める資格に変更することを許された者も「留学生である」をお選びください。

1 留学生である	2 留学生でない
----------	----------

回答はこちらに入力してください。

あなたの社会人経験や就業状況について、おたずねします。

Q9 あなたは、**平成30年5月1日時点**、社会人ですか。該当する番号をお選びください。

※この設問における「社会人」は、平成30年5月1日時点で、①職に就いている者（給料、賃金、その他の経常的な収入を得る仕事に現に就いている者）、②給料、賃金、その他の経常的な仕事を得る仕事から既に退職した者、③主婦・主夫を指します。なお、臨時的な収入を得る仕事であり、雇用期間が1年未満又は雇用期間の長さに関わらず短時間の勤務（アルバイト・パート等）については、「社会人就業」に該

1 社会人である

2 社会人でない → Q12をお答えください

回答はこちらに入力してください。

Q10 平成30年5月1日時点、社会人で職に就いている方におたずねします。

平成30年度における、あなたの雇用先におけるサービスの扱いについて、該当する番号をお選びください。

1 有給休暇

5 通常と変わらない（裁量労働、または夜間や休日に通学）

2 研修扱い

6 休職

3 無給休暇

7 その他

4 時間短縮勤務

回答はこちらに入力してください。

Q11 平成30年5月1日時点、社会人で職に就いている方におたずねします。

博士課程在学を契機とした雇用先からの基本給の取り扱いの状況について、下記の選択肢から該当する番号をお選びください。

1 変化なし

3 全く支給されない

2 減額され支給

回答はこちらに入力してください。

TA・RAの実施状況について、おたずねします。

Q17 あなたは、平成30年度に大学、公的機関、民間団体から、給与・謝金の受給を受けていましたか。
 ※「給与」とは、労働等(TA業務・RA業務等(＊))に対して支払われる対価報酬を指します。Q9でお聞きした社会人としての職業での給与やQ21でお聞きしたアルバイトによる給与は除きます。
 (＊)TA(ティーチング・アシスタント)とは、学部学生に対するチュータリング(助言)や実験、実習、演習等の教育補助業務(具体的には、演習のディスカッションリーダー、レポート・試験等の採点など)を行い、これに対する手当を支給される大学院学生を指します。
 RA(リサーチ・アシスタント)とは、大学等が行う研究プロジェクト等の研究補助業務を行い、これに対する手当を支給される大学院学生を指します。

1 受けている 2 受けていない → Q22をお答えください

回答はこちらに入力してください。

Q18 Q17で「受けている」とお答えになった方におたずねします。
 給与・謝金の受給にあたり、あなたが義務付けられている業務の内容について、該当する全ての番号に○を入力してください。

1 TA業務 3 その他(具体的に)
 2 RA業務

回答はこちらに入力してください。

1	2	3

その他 具体的に:

Q19 Q18で「TA業務」または「RA業務」とお答えになった方におたずねします。
 あなたの1年間のTA業務・RA業務の従事時間および受給額を整数で入力してください。
 裁量労働制の場合等には「-(ハイフン)」を入力してください。

TA業務 従事時間: 時間 受給額: 円

RA業務 従事時間: 時間 受給額: 円

Q20 Q18で「TA業務」とお答えになった方におたずねします。
 あなたのTA業務の内容について下記の選択肢から該当する全ての番号に○を入力してください。
 「その他」に○を入力した場合は、その内容を具体的に記入してください。

1 実験・実習の準備	5 レポートや課題・試験などの採点・評価
2 実験・実習時の学生への指導・助言	6 授業等への出席の記録
3 学生への講義の実施	7 学生からの質問対応
4 セミナーや演習などのコメント・指導	8 その他(具体的に)

回答はこちらに入力してください。

1	2	3	4	5	6	7	8

その他 具体的に:

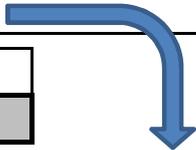
Q21 Q18で「RA業務」とお答えになった方におたずねします。
 あなたのRA業務の内容について下記の選択肢から該当する全ての番号に○を入力してください。
 「その他」に○を入力した場合は、その内容を具体的に記入してください。

1 基盤的経費、大学の自主財源による研究	4 研究開発機関との共同研究
2 国からの競争的な経費による研究	5 受託研究
3 民間団体(企業等)との共同研究	6 不明
	7 その他(具体的に)

回答はこちらに入力してください

1	2	3	4	5	6	7

その他 具体的に:



あなたが受けていた経済的支援(奨学金、授業料減免等)について、おたずねします。

●日本学生支援機構の奨学金制度について、おたずねします。

Q22 あなたは、平成30年度に日本学生支援機構の奨学金制度を受けていましたか。

1 受けている	2 受けていない → Q26をお答えください
---------	------------------------

回答はこちらに入力してください

Q23 日本学生支援機構の奨学金制度からの年間受給額をお答えください。

円

Q24 日本学生支援機構の奨学金制度の奨学金は特に優れた業績により返還免除に認定されましたか。
 または返還免除内定を受けていますか。

1 返還免除になった	2 返還免除になっていない	} → Q26をお答えください
	3 返還免除内定を受けている	

回答はこちらに入力してください

Q25 Q24で「返還免除になった」とお答えいただいた方におたずねします。
 貸与年数、貸与総額、返還免除額を、それぞれお答えください。

貸与年数 年 貸与総額 円 返還免除額 円

●授業料等の減免について、おたずねします。

Q26 あなたは、平成30年度に授業料等の減免を受けていましたか。

1 受けている	2 受けていない → Q28をお答えください
---------	------------------------

回答はこちらに入力してください

Q27 1年間の授業料等の減免額をお答えください。

円

●その他の経済的支援について、おたずねします。

Q28 あなたは、平成30年度に上記の「給与・謝金の受給」、「日本学生支援機構の奨学金」、「授業料等の減免」以外の経済的支援(奨学金等)を受けていましたか。

1 受けている	2 受けていない
---------	----------

回答はこちらに入力してください

Q29 受けていた経済的支援について、該当する番号をお選びの上、a.1年間の受給額、b.給付・貸与の区別、c.名称等(その他等の場合)をお答えください。
※主なものを5つまでお答えください。

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1 大学独自の奨学金制度 | 6 日本政府国費留学生 |
| 2 博士課程教育リーディングプログラム | 7 外国政府国費留学生 |
| 3 卓越大学院プログラム | 8 民間団体(企業等)等の奨学金制度 |
| 4 日本学術振興会特別研究員 | 9 その他(内容を記入) |
| 5 日本学術振興会外国人特別研究員 | |

	番号を選択	a.年間受給額	b.給付・貸与	c.名称等(その他等の場合)
①	<input type="text"/>	<input type="text"/> 円	<input type="text"/>	<input type="text"/>
②	<input type="text"/>	<input type="text"/> 円	<input type="text"/>	<input type="text"/>
③	<input type="text"/>	<input type="text"/> 円	<input type="text"/>	<input type="text"/>
④	<input type="text"/>	<input type="text"/> 円	<input type="text"/>	<input type="text"/>
⑤	<input type="text"/>	<input type="text"/> 円	<input type="text"/>	<input type="text"/>

ご回答ありがとうございました。